

# 平成23年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査

## 集計結果の概要

平成24年9月

日本私立短期大学協会  
就職問題委員会



# 目 次

	頁
調査の概要	1
就職決定率の推移	3
卒業生の進路状況	4
就職決定者の状況	5
正規雇用率の推移	6
平成23年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査 集計結果	
1 地域別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数	8
2 分野別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数	10
3 地域別・分野別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数	12
4 地域別の就職以外の進路者数	15
5 分野別の就職以外の進路者数	15
6 地域別・分野別の就職以外の進路者数	16
<b>* 平成23年度の求人件数の増減傾向</b>	
・企業・団体&専門職別／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	19
<b>* 企業・団体における地域別雇用形態の状況</b>	22
・企業・団体の正規雇用率の推移	23
・企業・団体／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	24
・前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容(意見のまとめ)	27
<b>* 幼稚園教諭の地域別雇用形態の状況</b>	30
・幼稚園教諭の正規雇用率の推移	32
・幼稚園教諭／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	33
・前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容(意見のまとめ)	36
<b>* 保育士の地域別雇用形態の状況</b>	38
・保育士の正規雇用率の推移	40
・保育士／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	41
・前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容(意見のまとめ)	44

* 栄養士の地域別雇用形態の状況	46
・栄養士の正規雇用率の推移	48
・栄養士／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	49
・前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容(意見のまとめ)	52
* 介護福祉士の地域別雇用形態の状況	54
・介護福祉士の正規雇用率の推移	56
・介護福祉士／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	57
・前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容(意見のまとめ)	60
* その他の国家資格を必要とする専門職の雇用形態の状況	62
* 公務員の地域別雇用形態の状況	63
* 企業における広報活動開始時期の変更に伴う短期大学生の就職活動に対する影響	
・まとめ	64
* 成果をあげている就職支援の取組み	
・まとめ	66
付・調査紙(縮小版)	68
・就職問題委員会委員一覧	

## 調査の概要

### 1) 調査の目的

毎年度、日本私立短期大学協会に加盟の全会員短大を対象に卒業後の状況調査を実施することにより、地域別および分野別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数・就職以外の進路者数等について把握し、今後の私立短期大学におけるよりよい就職支援を模索するための基礎資料とする。

なお、短期大学卒業生の雇用形態の状況を把握するため、就職決定者の正規雇用、非正規雇用の具体的人数を調査し、その結果から、近年特に問題視されている労働条件、処遇等に対する喫緊の課題に取り組む資料とする。

また、今回の調査から自県内就職者数を調査することにより、地域に密着した短期大学の状況をより正確に把握するための資料としたい。

### 2) 調査対象

日本私立短期大学協会加盟の337短大のうち、第2部(夜間部)のみ設置の4短大および新設短大・調査対象外の2校を除く331短大の第1部(昼間部)。

### 3) 調査方法

郵送法。事務局より、調査用紙(表題「平成23年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査」)を各短大学長あて調査依頼状とともに発送し、回答を求めた。

### 4) 調査時期

平成24年5月1日～5月28日

### 5) 集計回答校数

集計回答校数は、331短大中、331短大。(回答率 100.0%)

(参考)	平成元年度卒業生	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
調査対象校	464	471	481	484	489
回答校数	405	410	431	454	467
回答率(%)	87.3	87.0	89.6	93.8	95.5
	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
調査対象校	491	488	490	485	484
回答校数	454	458	458	460	449
回答率(%)	92.5	93.9	93.5	94.8	92.8
	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
調査対象校	470	457	442	428	405
回答校数	447	435	414	406	402
回答率(%)	95.1	95.2	93.7	95.0	99.3
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
調査対象校	391	376	366	357	350
回答校数	386	368	360	327	326
回答率(%)	98.7	97.9	98.4	91.6	93.1
	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
調査対象校	342	336	331		
回答校数	333	327	331		
回答率(%)	97.4	97.3	100.0		

## 6) 集計件数

就職決定者の各集計件数は、下記の通り。

	企業・団体	公務員	幼稚園教諭	保育士	栄養士	介護福祉士	その他の 専門職
北海道	34	17	10	11	5	2	7
東北	33	17	17	17	8	8	7
関東	77	27	39	39	10	7	25
東京	66	15	14	11	11	3	12
中部	84	23	31	31	17	14	29
近畿	61	13	25	28	9	11	9
大阪	47	11	21	20	5	5	11
中国	39	9	17	16	9	3	8
四国	25	11	9	9	6	5	5
九州	79	26	29	30	16	13	15

## 7) 地域の分類

地域の表記については、本協会の支部の区分による下記 9 ブロックとする。

なお、各地域の当該県は次の通り。

### 北海道

東北・・・青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島

関東・・・茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨

### 東京

中部・・・富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重

近畿・・・滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山

### 大阪

中四国（中国）・・・鳥取、岡山、広島、山口（四国）・・・徳島、香川、愛媛、高知

九州・・・福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

## 8) 報告書作成にあたって

回答のあった調査票1および調査票2の集計について、調査票1は、コンピュータ集計により得られた結果を基に作表した。また、調査票2については、就職問題委員会委員により、各項目ごとに分担して記述内容を一覧にしたうえで、まとめを行った。

## 平成元年度～平成23年度における就職決定率の推移

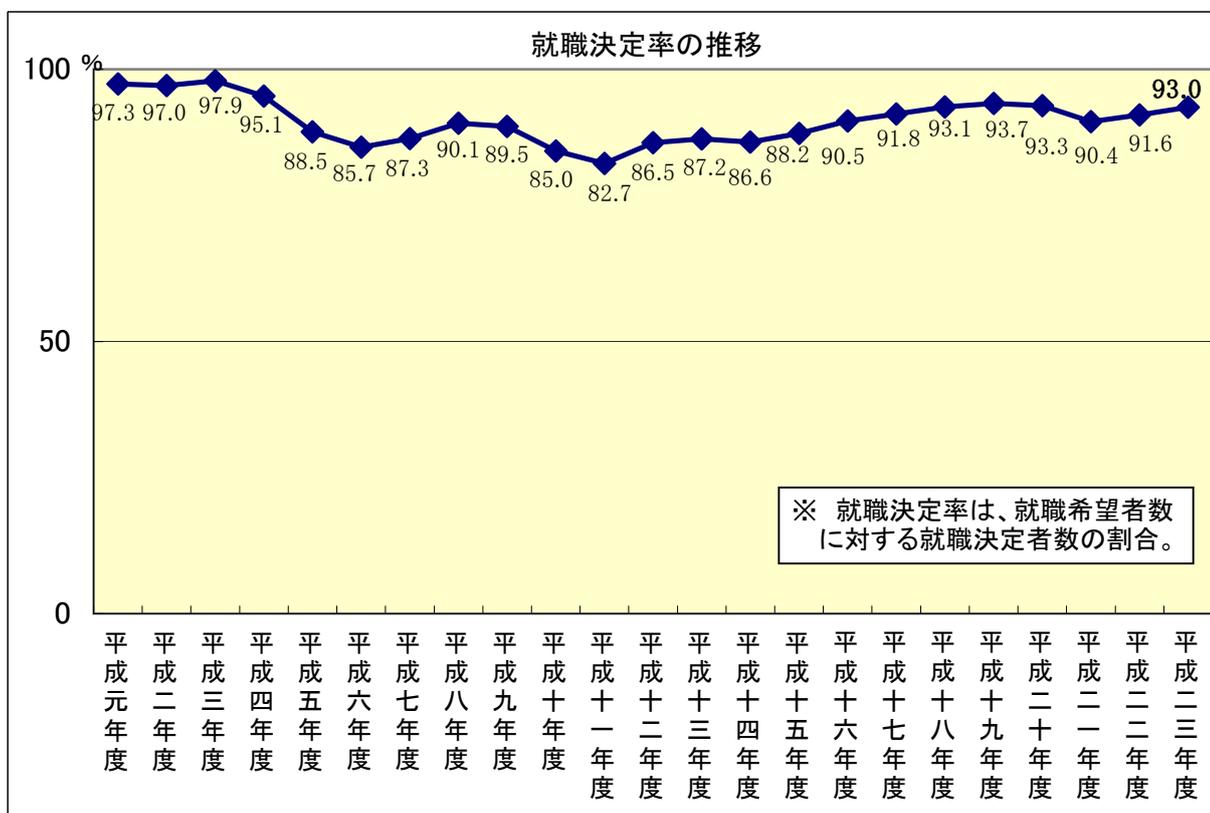
当該年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
	平成2年3月卒	平成3年3月卒	平成4年3月卒	平成5年3月卒	平成6年3月卒
就職決定率	97.3	97.0	97.9	95.1	88.5

当該年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
	平成7年3月卒	平成8年3月卒	平成9年3月卒	平成10年3月卒	平成11年3月卒
就職決定率	85.7	87.3	90.1	89.5	85.0

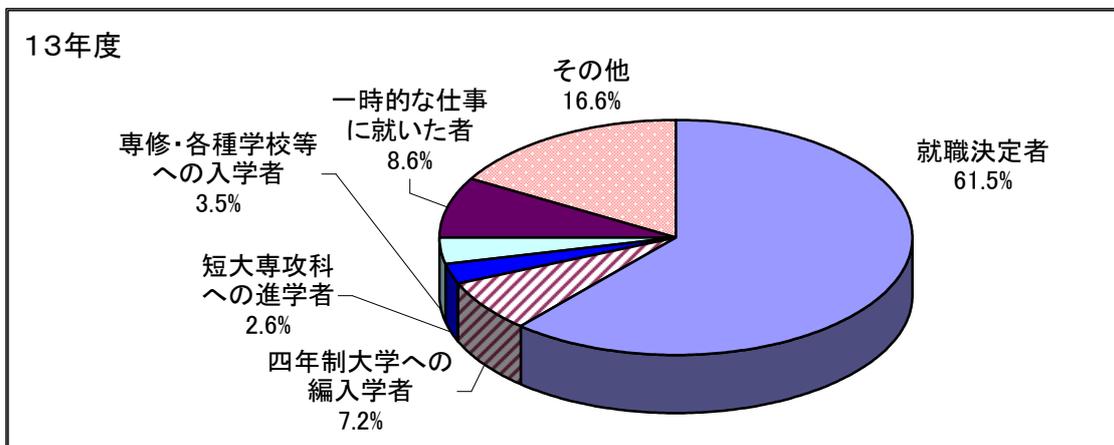
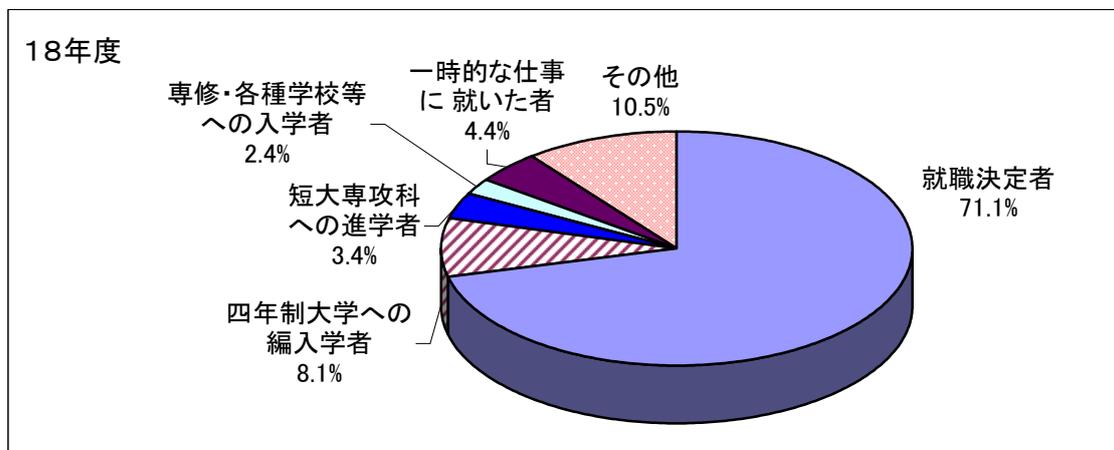
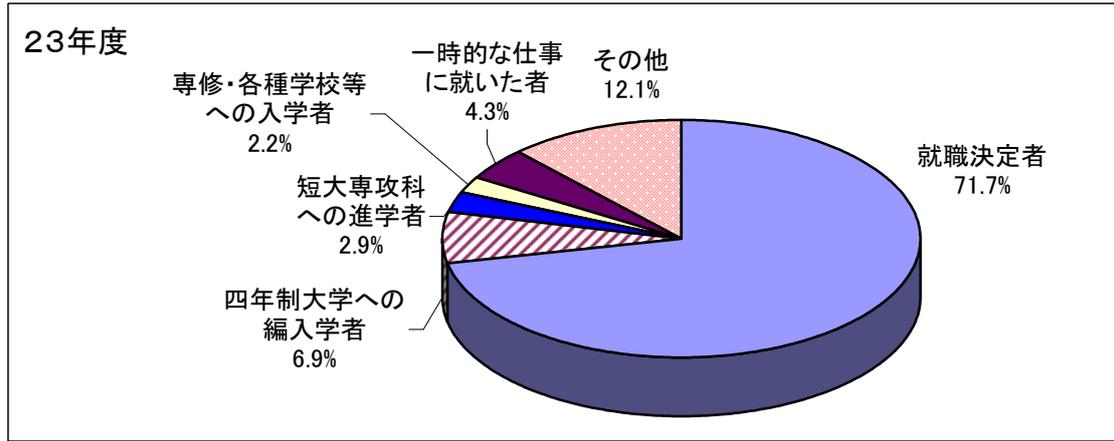
当該年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
	平成12年3月卒	平成13年3月卒	平成14年3月卒	平成15年3月卒	平成16年3月卒
就職決定率	82.7	86.5	87.2	86.6	88.2

当該年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	平成17年3月卒	平成18年3月卒	平成19年3月卒	平成20年3月卒	平成21年3月卒
就職決定率	90.5	91.8	93.1	93.7	93.3

当該年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	平成22年3月卒	平成23年3月卒	平成24年3月卒
就職決定率	90.4	91.6	93.0



## 卒業生の進路状況

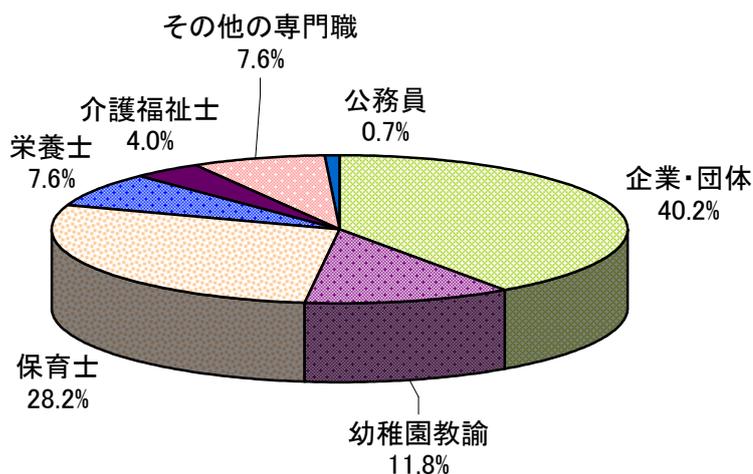


	卒業生数	就職決定者	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他
23年度	59,830	42,876	4,144	1,722	1,317	2,558	7,213
18年度	82,342	58,557	6,680	2,834	1,994	3,592	8,685
13年度	109,391	67,273	7,895	2,880	3,844	9,379	18,120

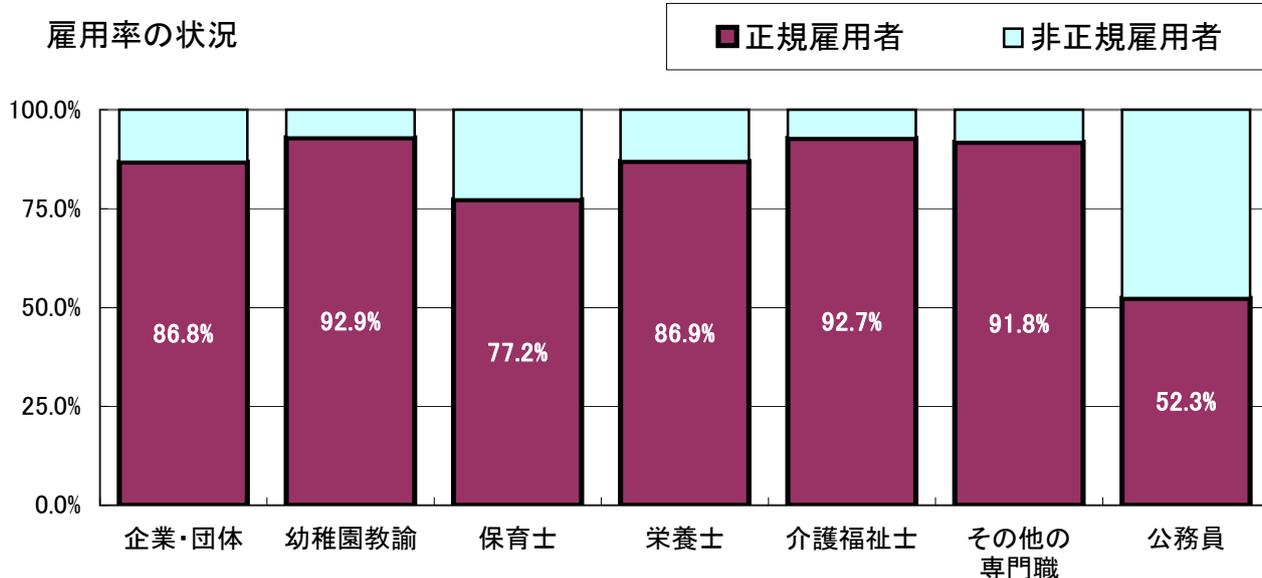
## 就職決定者の状況

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
企業・団体	17,244	14,975	2,269	86.8%
幼稚園教諭	5,048	4,690	358	92.9%
保育士	12,091	9,329	2,762	77.2%
栄養士	3,241	2,817	424	86.9%
介護福祉士	1,708	1,583	125	92.7%
その他の専門職	3,238	2,971	267	91.8%
公務員	306	160	146	52.3%
計	42,876	36,525	6,351	85.2%

### 就職決定者の内訳

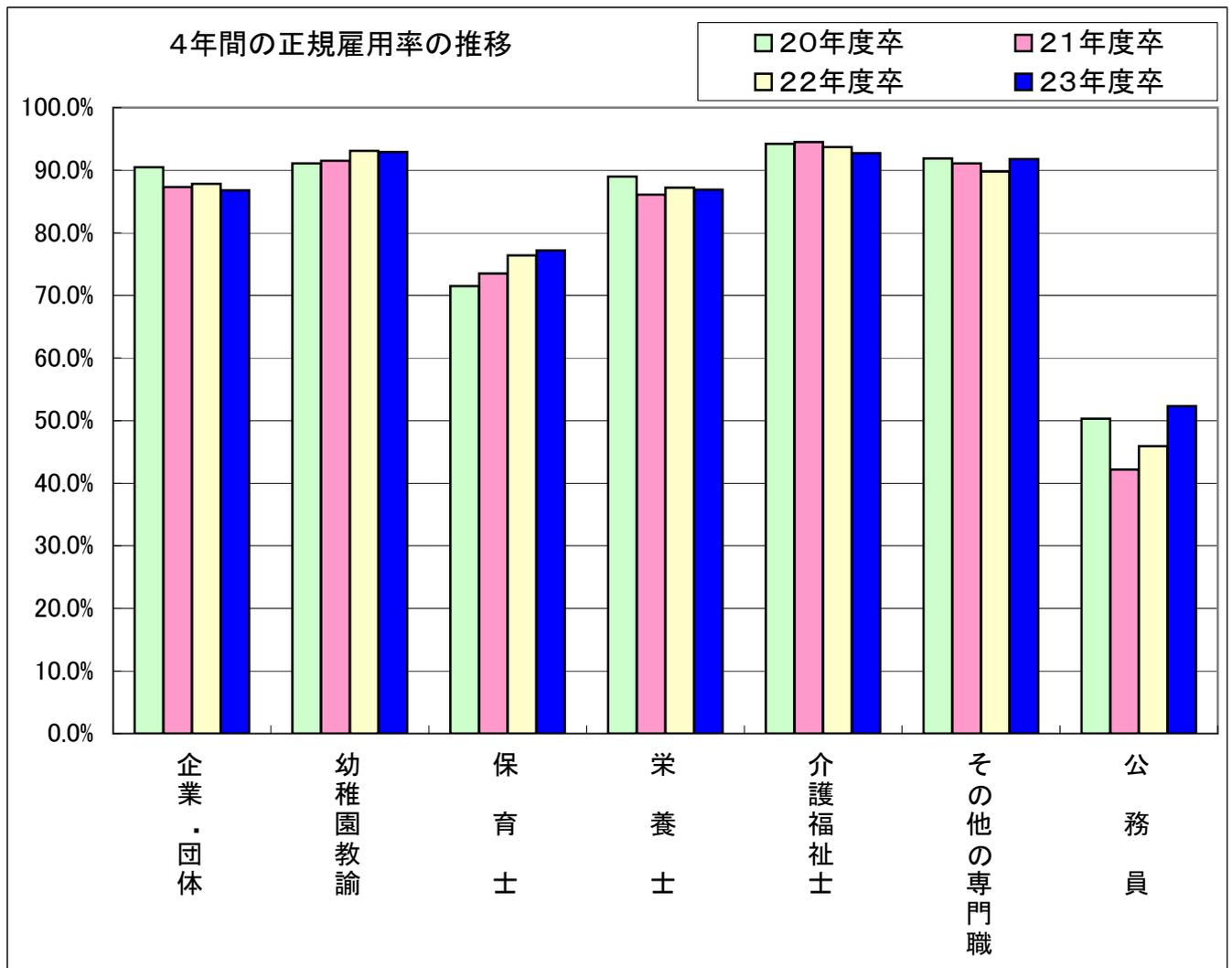


### 雇用率の状況



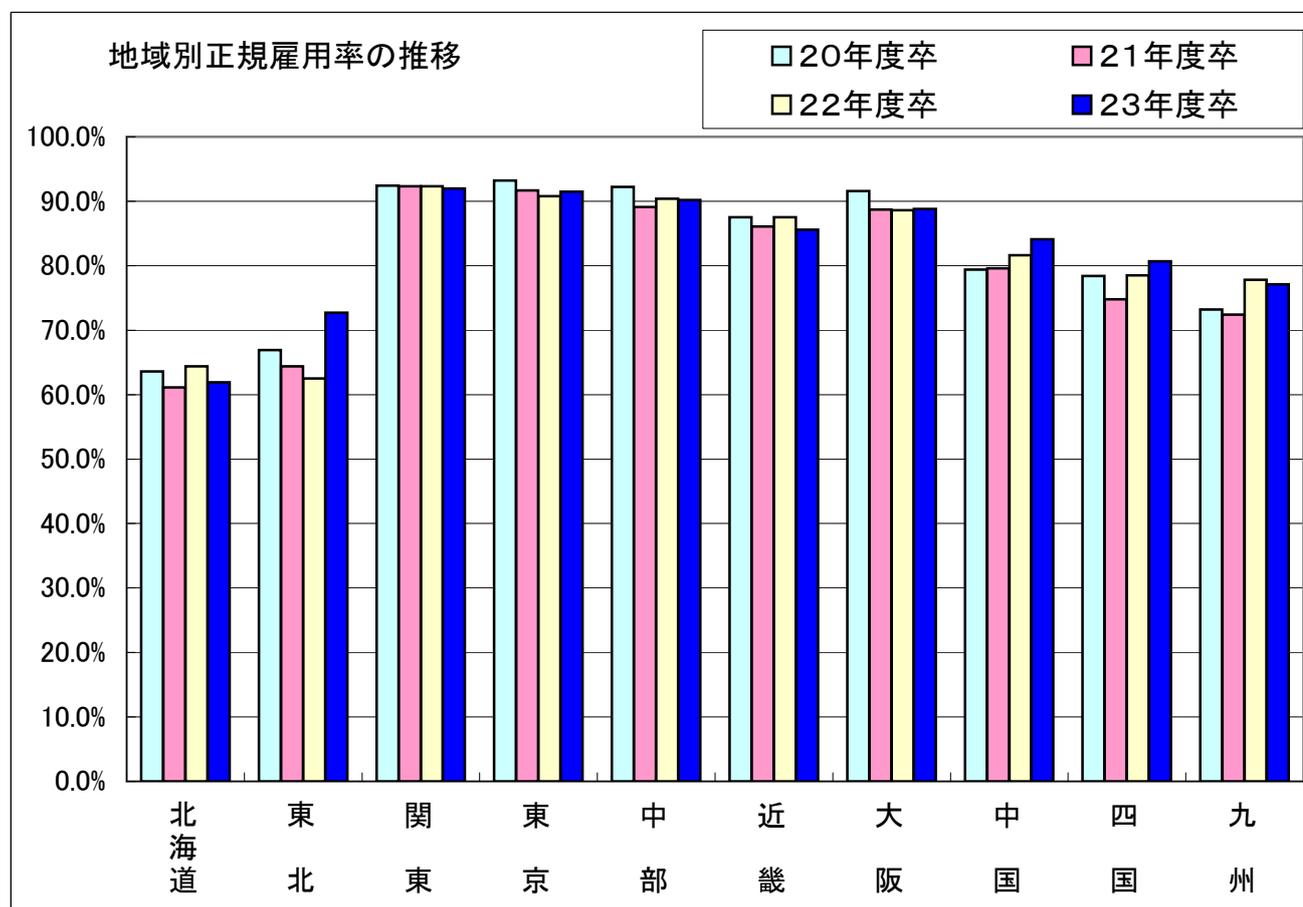
## 正規雇用率の推移

	就職決定者数				正規雇用率			
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒
企業・団体	21,598	16,751	17,134	17,244	90.5%	87.3%	87.8%	86.8%
幼稚園教諭	5,195	4,891	4,729	5,048	91.1%	91.5%	93.1%	92.9%
保育士	11,972	12,201	11,183	12,091	71.5%	73.5%	76.4%	77.2%
栄養士	3,373	3,091	3,002	3,241	89.0%	86.1%	87.2%	86.9%
介護福祉士	2,160	1,590	1,460	1,708	94.2%	94.5%	93.7%	92.7%
その他の専門職	3,103	3,429	2,878	3,238	91.9%	91.1%	89.8%	91.8%
公務員	388	431	379	306	50.3%	42.2%	45.9%	52.3%
計	47,789	42,384	40,765	42,876	85.6%	83.9%	85.2%	85.2%



## 地域別正規雇用率の推移

	就職決定者数				正規雇用率			
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒
北海道	2,008	1,832	1,774	1,954	63.6%	61.1%	64.4%	61.9%
東北	2,938	2,545	2,173	2,848	66.9%	64.4%	62.5%	72.7%
関東	8,630	8,077	7,564	7,781	92.4%	92.3%	92.3%	92.0%
東京	6,427	5,050	4,778	4,893	93.2%	91.7%	90.8%	91.5%
中部	8,281	7,631	7,274	7,539	92.2%	89.1%	90.4%	90.2%
近畿	4,809	4,427	4,289	4,406	87.5%	86.1%	87.5%	85.6%
大阪	4,641	3,653	3,963	3,784	91.6%	88.7%	88.6%	88.8%
中国	2,996	2,531	2,480	2,487	79.4%	79.6%	81.6%	84.1%
四国	1,488	1,192	1,044	1,393	78.4%	74.8%	78.5%	80.7%
九州	5,571	5,446	5,426	5,791	73.2%	72.4%	77.8%	77.1%
<b>全国</b>	<b>47,789</b>	<b>42,384</b>	<b>40,765</b>	<b>42,876</b>	<b>85.6%</b>	<b>83.9%</b>	<b>85.2%</b>	<b>85.2%</b>



## 平成23年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査 集計結果

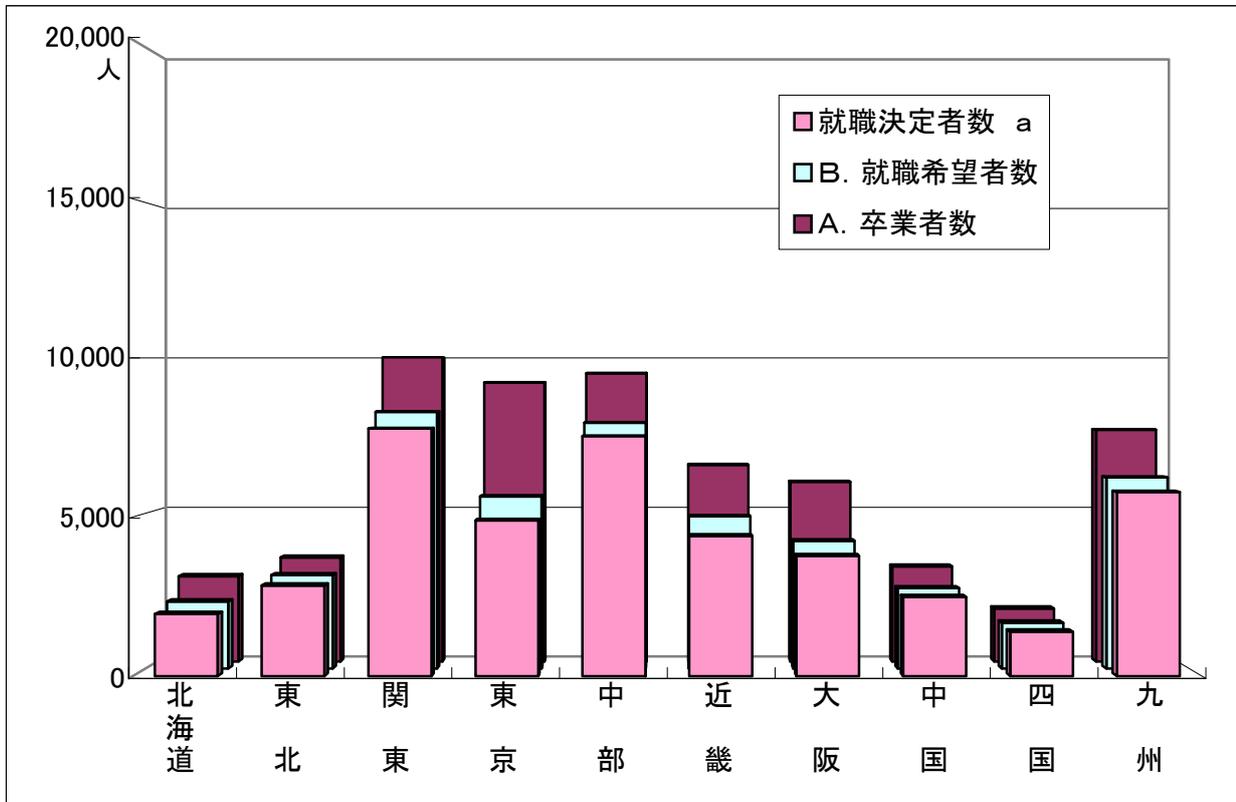
### 1 地域別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数

	卒業者数 A	就職 希望者数 B	就職 決定者数 a	自県内 就職者数 c	就職希望率 B/A (%)	就職決定率 a/B (%)	就職率 a/A (%)	自県内 就職率 c/a (%)
全国	59,830	46,116	42,876	32,394	77.1	93.0	71.7	75.6
北海道	2,808	2,160	1,954	1,875	76.9	90.5	69.6	96.0
東北	3,423	3,011	2,848	2,143	88.0	94.6	83.2	75.2
関東	10,016	8,268	7,781	5,711	82.5	94.1	77.7	73.4
東京	9,188	5,539	4,893	2,928	60.3	88.3	53.3	59.8
中部	9,500	7,917	7,539	6,309	83.3	95.2	79.4	83.7
近畿	6,475	4,899	4,406	2,545	75.7	89.9	68.0	57.8
大阪	5,917	4,110	3,784	3,009	69.5	92.1	64.0	79.5
中四国	4,874	4,059	3,880	3,094	83.3	95.6	79.6	79.7
中国	3,131	2,589	2,487	1,896	82.7	96.1	79.4	76.2
四国	1,743	1,470	1,393	1,198	84.3	94.8	79.9	86.0
九州	7,629	6,153	5,791	4,780	80.7	94.1	75.9	82.5

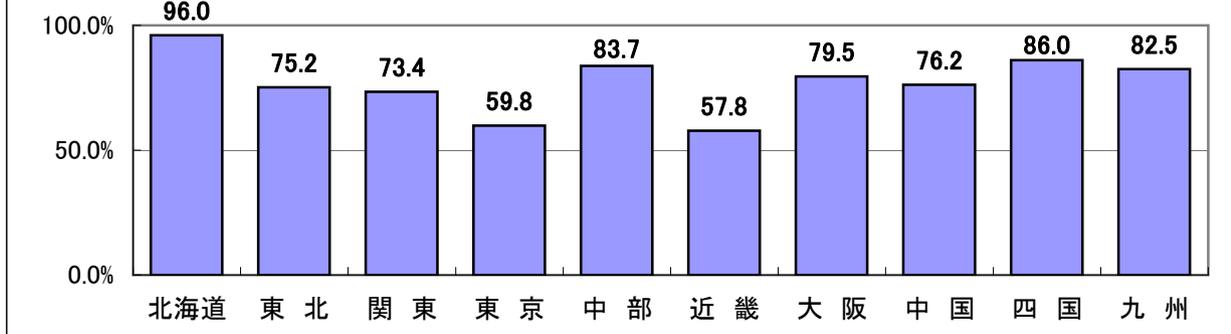
地域別就職決定者の雇用形態別内訳

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規雇用 率
全国	42,876	36,525	6,351	85.2%
北海道	1,954	1,209	745	61.9%
東北	2,848	2,070	778	72.7%
関東	7,781	7,160	621	92.0%
東京	4,893	4,475	418	91.5%
中部	7,539	6,798	741	90.2%
近畿	4,406	3,773	633	85.6%
大阪	3,784	3,359	425	88.8%
中四国	3,880	3,215	665	82.9%
中国	2,487	2,091	396	84.1%
四国	1,393	1,124	269	80.7%
九州	5,791	4,466	1,325	77.1%

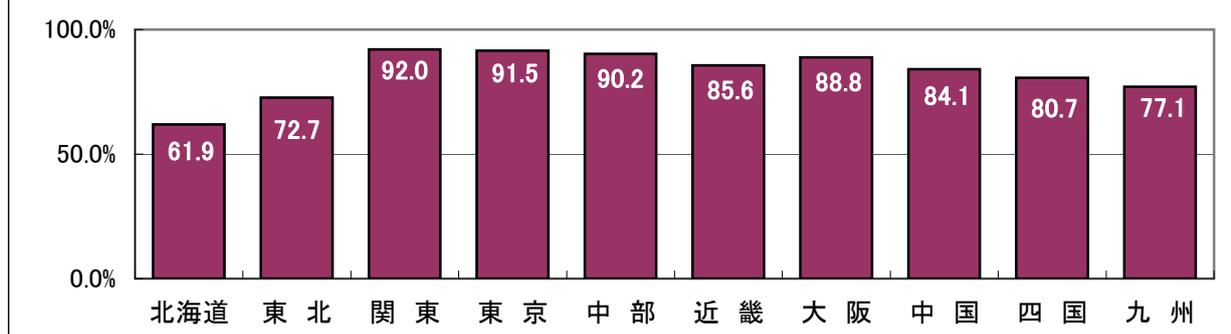
地域別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数



自県内就職率



地域別就職決定者の正規雇用率



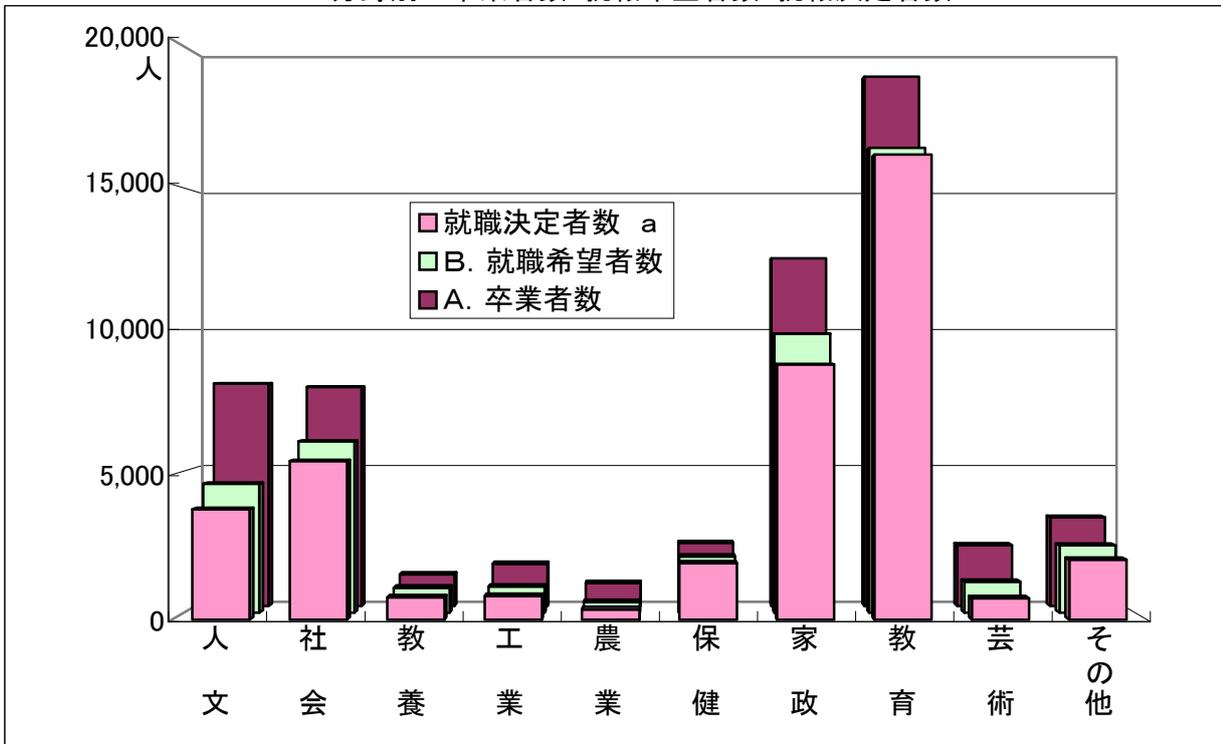
## 2 分野別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数

	卒業者数 A	就職 希望者数 B	就職 決定者数 a	自県内 就職者数 c	就職希望率 B/A (%)	就職決定率 a/B (%)	就職率 a/A (%)	自県内 就職率 c/a (%)
全国	59,830	46,116	42,876	32,394	77.1	93.0	71.7	75.6
人文	6,925	3,774	3,251	2,154	54.5	86.1	46.9	66.3
社会	7,452	5,685	5,249	4,022	76.3	92.3	70.4	76.6
教養	1,143	881	786	708	77.1	89.2	68.8	90.1
工業	1,573	954	886	570	60.6	92.9	56.3	64.3
農業	614	247	221	125	40.2	89.5	36.0	56.6
保健	2,979	2,634	2,540	1,777	88.4	96.4	85.3	70.0
家政	13,138	10,496	9,505	7,019	79.9	90.6	72.3	73.8
教育	20,634	17,960	17,534	13,871	87.0	97.6	85.0	79.1
芸術	2,268	1,102	761	488	48.6	69.1	33.6	64.1
その他	3,104	2,383	2,143	1,660	76.8	89.9	69.0	77.5

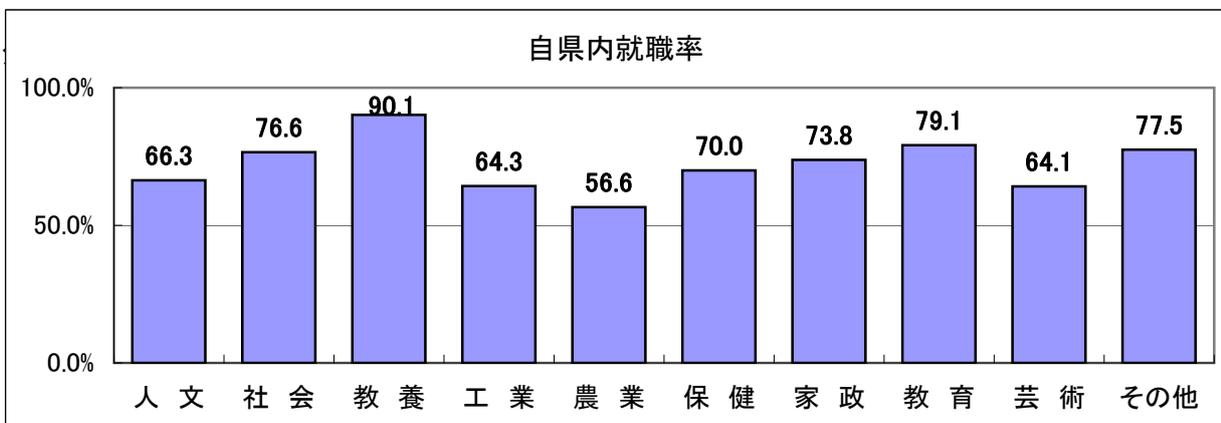
分野別就職決定者の雇用形態別内訳

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規雇用 率
全国	42,876	36,525	6,351	85.2%
人文	3,251	2,708	543	83.3%
社会	5,249	4,814	435	91.7%
教養	786	659	127	83.8%
工業	886	876	10	98.9%
農業	221	206	15	93.2%
保健	2,540	2,473	67	97.4%
家政	9,505	8,124	1,381	85.5%
教育	17,534	14,190	3,344	80.9%
芸術	761	611	150	80.3%
その他	2,143	1,864	279	87.0%

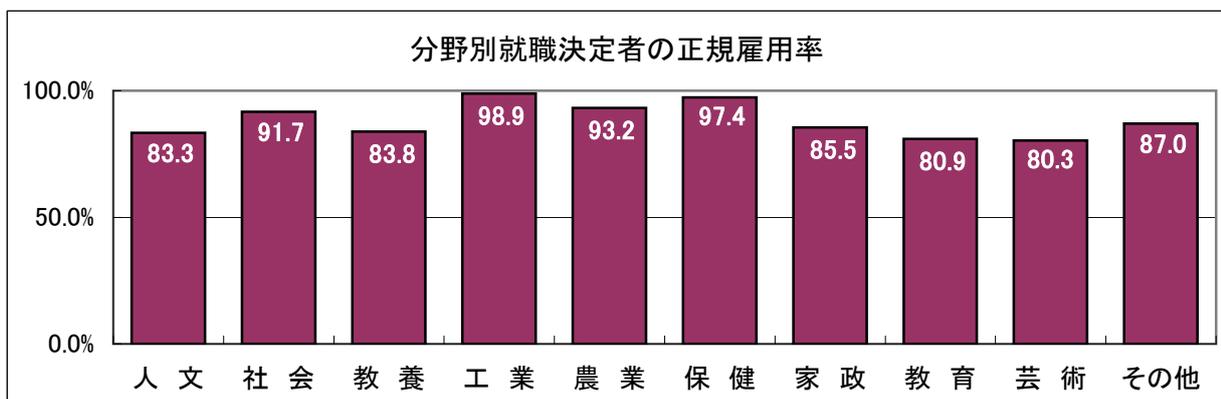
分野別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数



自県内就職率



分野別就職決定者の正規雇用率



### 3 地域別・分野別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数

地域	分野	A. 卒業者数	B. 就職希望者数	就職決定者数 a	就職希望率 B/A	就職決定率 a/B	就職率 a/A (%)
北海道	人文	454	271	230	59.7	84.9	50.7
	社会	310	197	177	63.5	89.8	57.1
	教養	277	210	180	75.8	85.7	65.0
	工業	121	101	97	83.5	96.0	80.2
	農業	50	34	34	68.0	100.0	68.0
	家政	554	483	408	87.2	84.5	73.6
	教育	905	803	790	88.7	98.4	87.3
	芸術	111	41	24	36.9	58.5	21.6
	その他	26	20	14	76.9	70.0	53.8
	小計	2,808	2,160	1,954	76.9	90.5	69.6
東北	人文	214	146	127	68.2	87.0	59.3
	社会	326	295	279	90.5	94.6	85.6
	保健	260	221	220	85.0	99.5	84.6
	家政	950	856	795	90.1	92.9	83.7
	教育	1,488	1,330	1,272	89.4	95.6	85.5
	芸術	23	18	14	78.3	77.8	60.9
	その他	162	145	141	89.5	97.2	87.0
	小計	3,423	3,011	2,848	88.0	94.6	83.2
関東	人文	922	512	430	55.5	84.0	46.6
	社会	1,716	1,375	1,256	80.1	91.3	73.2
	教養	144	134	116	93.1	86.6	80.6
	工業	242	197	181	81.4	91.9	74.8
	保健	817	758	736	92.8	97.1	90.1
	家政	1,049	849	769	80.9	90.6	73.3
	教育	4,107	3,727	3,669	90.7	98.4	89.3
	芸術	242	97	51	40.1	52.6	21.1
	その他	777	619	573	79.7	92.6	73.7
	小計	10,016	8,268	7,781	82.5	94.1	77.7

地域	分野	A. 卒業者数	B. 就職希望者数	就職決定者数 <sup>a</sup>	就職希望率 B/A	就職決定率 a/B	就職率 a/A (%)
東京	人文	1,927	1,039	830	53.9	79.9	43.1
	社会	1,464	969	865	66.2	89.3	59.1
	教養	188	91	82	48.4	90.1	43.6
	工業	169	25	11	14.8	44.0	6.5
	農業	458	129	105	28.2	81.4	22.9
	保健	403	332	331	82.4	99.7	82.1
	家政	2,343	1,592	1,401	67.9	88.0	59.8
	教育	1,663	1,124	1,092	67.6	97.2	65.7
	芸術	573	238	176	41.5	73.9	30.7
	小計	9,188	5,539	4,893	60.3	88.3	53.3
	中部	人文	681	453	390	66.5	86.1
社会		1,490	1,256	1,216	84.3	96.8	81.6
教養		104	88	82	84.6	93.2	78.8
工業		433	295	288	68.1	97.6	66.5
保健		489	451	411	92.2	91.1	84.0
家政		1,997	1,706	1,593	85.4	93.4	79.8
教育		3,115	2,771	2,756	89.0	99.5	88.5
芸術		220	146	105	66.4	71.9	47.7
その他		971	751	698	77.3	92.9	71.9
小計		9,500	7,917	7,539	83.3	95.2	79.4
近畿		人文	801	487	464	60.8	95.3
	社会	582	338	332	58.1	98.2	57.0
	工業	169	99	86	58.6	86.9	50.9
	農業	30	30	28	100.0	93.3	93.3
	保健	54	54	53	100.0	98.1	98.1
	家政	1,934	1,513	1,296	78.2	85.7	67.0
	教育	2,239	1,923	1,810	85.9	94.1	80.8
	芸術	320	202	124	63.1	61.4	38.8
	その他	346	253	213	73.1	84.2	61.6
	小計	6,475	4,899	4,406	75.7	89.9	68.0

地域	分野	A. 卒業者数	B. 就職希望者数	就職決定者数 a	就職希望率 B/A	就職決定率 a/B	就職率 a/A (%)
大阪	人文	1,217	445	400	36.6	89.9	32.9
	社会	488	399	344	81.8	86.2	70.5
	教養	77	55	51	71.4	92.7	66.2
	工業	123	66	66	53.7	100.0	53.7
	保健	410	371	360	90.5	97.0	87.8
	家政	1,118	841	757	75.2	90.0	67.7
	教育	1,851	1,603	1,573	86.6	98.1	85.0
	芸術	389	167	103	42.9	61.7	26.5
	その他	244	163	130	66.8	79.8	53.3
	小計	<b>5,917</b>	<b>4,110</b>	<b>3,784</b>	<b>69.5</b>	<b>92.1</b>	<b>64.0</b>
中 四 国	人文	150	107	99	71.3	92.5	66.0
	社会	494	431	398	87.2	92.3	80.6
	工業	181	118	109	65.2	92.4	60.2
	保健	454	375	369	82.6	98.4	81.3
	家政	1,321	1,043	972	79.0	93.2	73.6
	教育	2,011	1,831	1,797	91.0	98.1	89.4
	芸術	174	83	77	47.7	92.8	44.3
	その他	89	71	59	79.8	83.1	66.3
	小計	<b>4,874</b>	<b>4,059</b>	<b>3,880</b>	<b>83.3</b>	<b>95.6</b>	<b>79.6</b>
九 州	人文	559	314	281	56.2	89.5	50.3
	社会	582	425	382	73.0	89.9	65.6
	教養	353	303	275	85.8	90.8	77.9
	工業	135	53	48	39.3	90.6	35.6
	農業	76	54	54	71.1	100.0	71.1
	保健	92	72	60	78.3	83.3	65.2
	家政	1,872	1,613	1,514	86.2	93.9	80.9
	教育	3,255	2,848	2,775	87.5	97.4	85.3
	芸術	216	110	87	50.9	79.1	40.3
	その他	489	361	315	73.8	87.3	64.4
	小計	<b>7,629</b>	<b>6,153</b>	<b>5,791</b>	<b>80.7</b>	<b>94.1</b>	<b>75.9</b>
合 計	<b>59,830</b>	<b>46,116</b>	<b>42,876</b>	<b>77.1</b>	<b>93.0</b>	<b>71.7</b>	

#### 4 地域別の就職以外の進路者数

	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
全 国	4,144	1,722	1,317	2,558	7,213	16,954
北海道	353	42	37	46	376	854
東 北	76	143	31	119	206	575
関 東	466	125	196	360	1,088	2,235
東 京	1,294	573	359	624	1,445	4,295
中 部	314	288	148	323	888	1,961
近 畿	479	186	153	424	827	2,069
大 阪	609	55	164	287	1,018	2,133
中四国	178	134	61	128	493	994
九 州	375	176	168	247	872	1,838

#### 5 分野別の就職以外の進路者数

	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
全 国	4,144	1,722	1,317	2,558	7,213	16,954
人 文	1,320	140	364	477	1,373	3,674
社 会	623	51	185	354	990	2,203
教 養	113	22	23	56	143	357
工 業	288	75	35	22	267	687
農 業	231	0	24	37	101	393
保 健	53	154	14	29	189	439
家 政	543	187	315	725	1,863	3,633
教 育	525	865	170	397	1,143	3,100
芸 術	286	225	101	221	674	1,507
その他	162	3	86	240	470	961

6 地域別・分野別の就職以外の進路者数

地域	分野	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
北海道	人文	101	0	13	20	90	224
	社会	77	0	2	2	52	133
	教養	56	0	3	3	35	97
	工業	0	10	2	4	8	24
	農業	9	0	1	0	6	16
	家政	20	0	10	3	113	146
	教育	32	32	5	5	41	115
	芸術	58	0	1	6	22	87
	その他	0	0	0	3	9	12
	小計	353	42	37	46	376	854
東北	人文	16	3	5	19	44	87
	社会	4	2	3	5	33	47
	保健	8	27	1	0	4	40
	家政	24	17	9	34	71	155
	教育	18	94	8	51	45	216
	芸術	3	0	0	1	5	9
	その他	3	0	5	9	4	21
	小計	76	143	31	119	206	575
関東	人文	207	0	42	55	188	492
	社会	77	23	37	83	240	460
	教養	0	0	0	3	25	28
	工業	2	8	1	4	46	61
	保健	15	25	6	10	25	81
	家政	30	5	29	101	115	280
	教育	44	63	34	62	235	438
	芸術	46	0	32	4	109	191
	その他	45	1	15	38	105	204
	小計	466	125	196	360	1,088	2,235

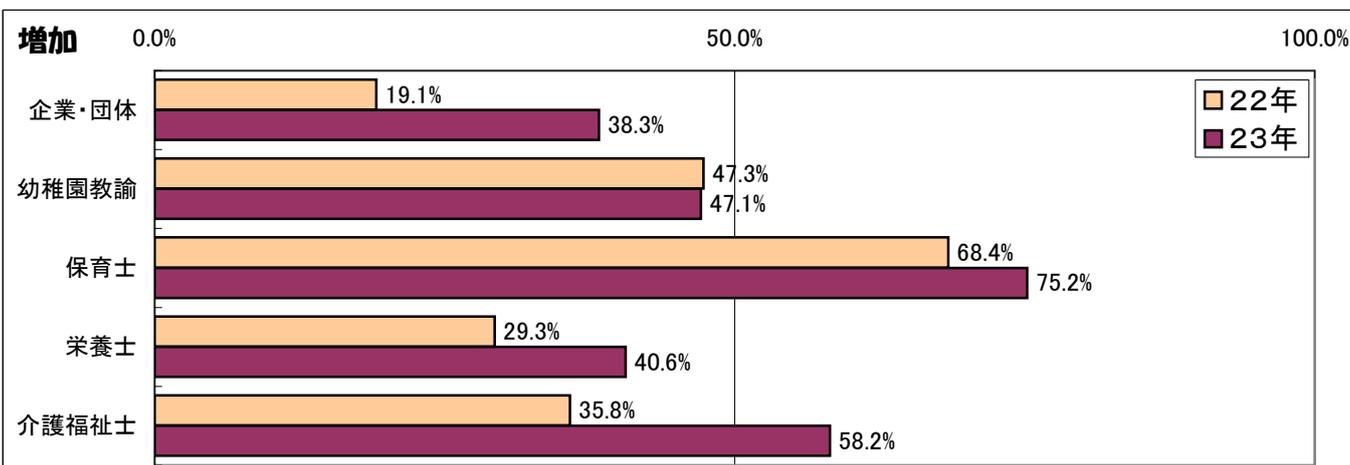
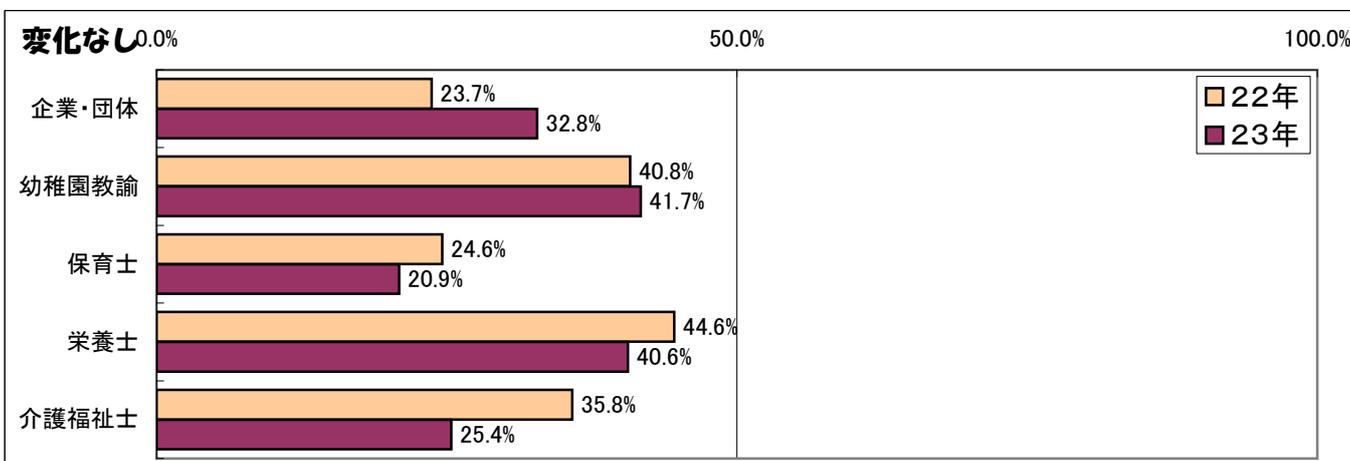
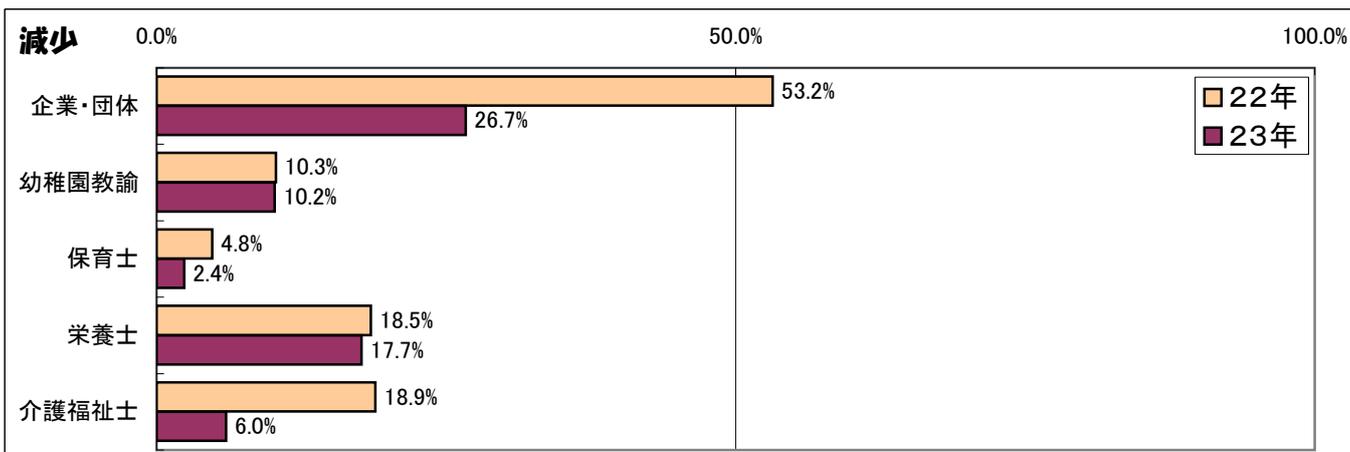
地域	分野	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
東京	人文	318	83	131	144	421	1,097
	社会	209	0	57	121	212	599
	教養	41	22	5	13	25	106
	工業	105	0	2	9	42	158
	農業	212	0	14	36	91	353
	保健	2	44	4	2	20	72
	家政	192	91	101	199	359	942
	教育	155	253	18	30	115	571
	芸術	60	80	27	70	160	397
	小計	1,294	573	359	624	1,445	4,295
中部	人文	78	12	28	59	114	291
	社会	40	21	23	33	157	274
	教養	5	0	1	9	7	22
	工業	43	50	4	1	47	145
	保健	8	11	2	10	47	78
	家政	35	27	31	81	230	404
	教育	64	142	18	35	100	359
	芸術	2	24	9	12	68	115
	その他	39	1	32	83	118	273
	小計	314	288	148	323	888	1,961
近畿	人文	109	35	29	44	120	337
	社会	136	2	26	54	32	250
	工業	30	2	2	0	49	83
	農業	0	0	1	0	1	2
	保健	0	0	0	0	1	1
	家政	91	7	51	153	336	638
	教育	86	85	25	85	148	429
	芸術	14	54	9	48	71	196
	その他	13	1	10	40	69	133
	小計	479	186	153	424	827	2,069

地域	分野	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
大阪	人文	414	1	82	63	257	817
	社会	17	2	12	22	91	144
	教養	0	0	10	7	9	26
	工業	41	0	1	0	15	57
	保健	3	2	0	2	43	50
	家政	26	7	24	43	261	361
	教育	32	13	16	55	162	278
	芸術	66	30	13	56	121	286
	その他	10	0	6	39	59	114
	小計	609	55	164	287	1,018	2,133
	中 四 国	人文	7	5	1	5	33
社会		17	0	6	14	59	96
工業		11	5	18	2	36	72
保健		16	26	1	5	37	85
家政		56	27	17	64	185	349
教育		44	44	9	24	93	214
芸術		25	27	7	14	24	97
その他		2	0	2	0	26	30
小計		178	134	61	128	493	994
九 州		人文	70	1	33	68	106
	社会	46	1	19	20	114	200
	教養	11	0	4	21	42	78
	工業	56	0	5	2	24	87
	農業	10	0	8	1	3	22
	保健	1	19	0	0	12	32
	家政	69	6	43	47	193	358
	教育	50	139	37	50	204	480
	芸術	12	10	3	10	94	129
	その他	50	0	16	28	80	174
	小計	375	176	168	247	872	1,838
合計	4,144	1,722	1,317	2,558	7,213	16,954	

《平成23年度の求人件数の増減傾向について前年度(22年度)と比較しての変化》

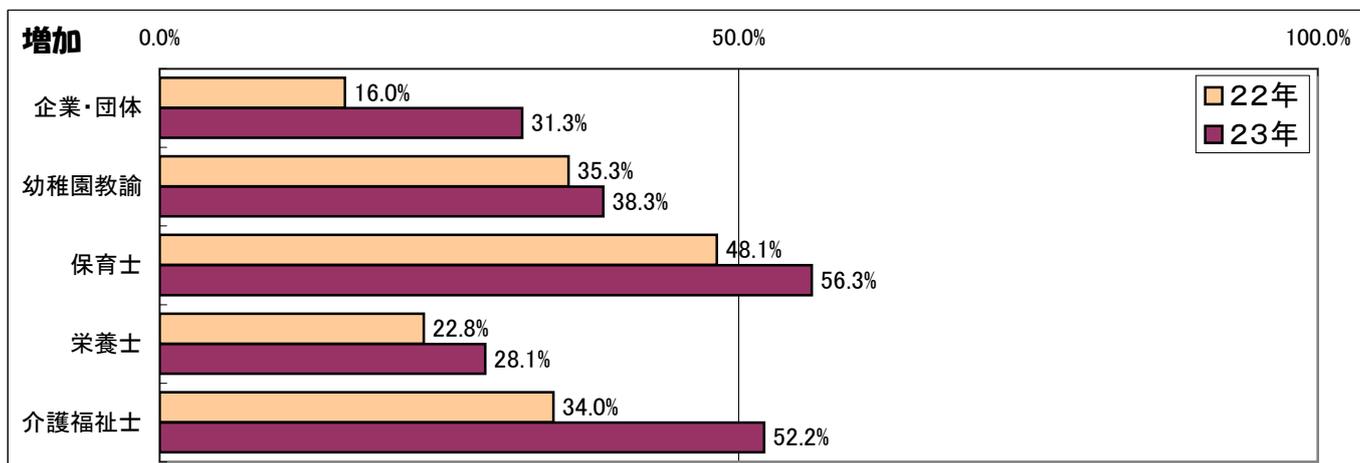
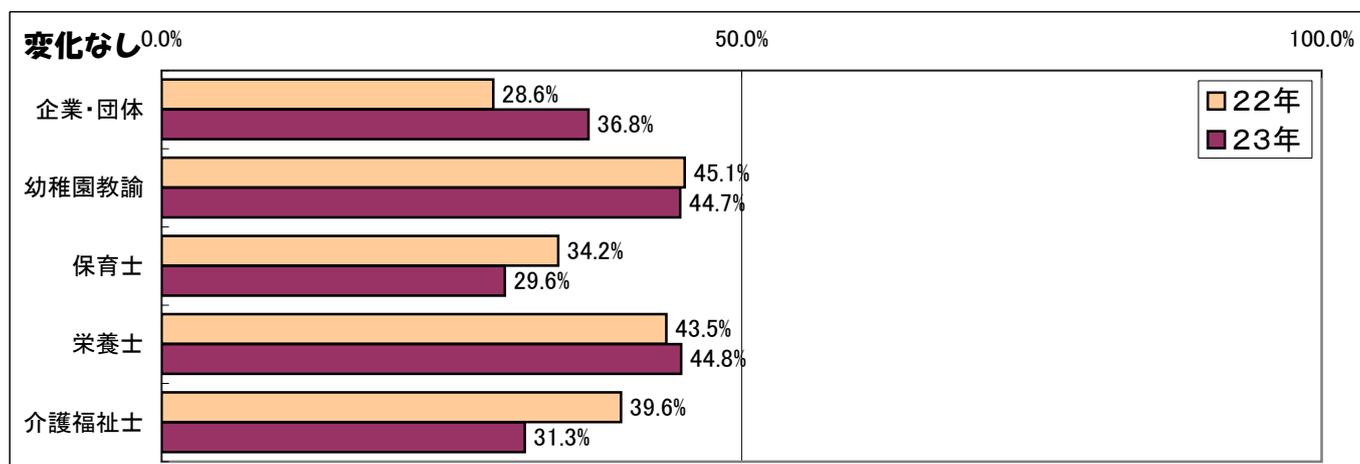
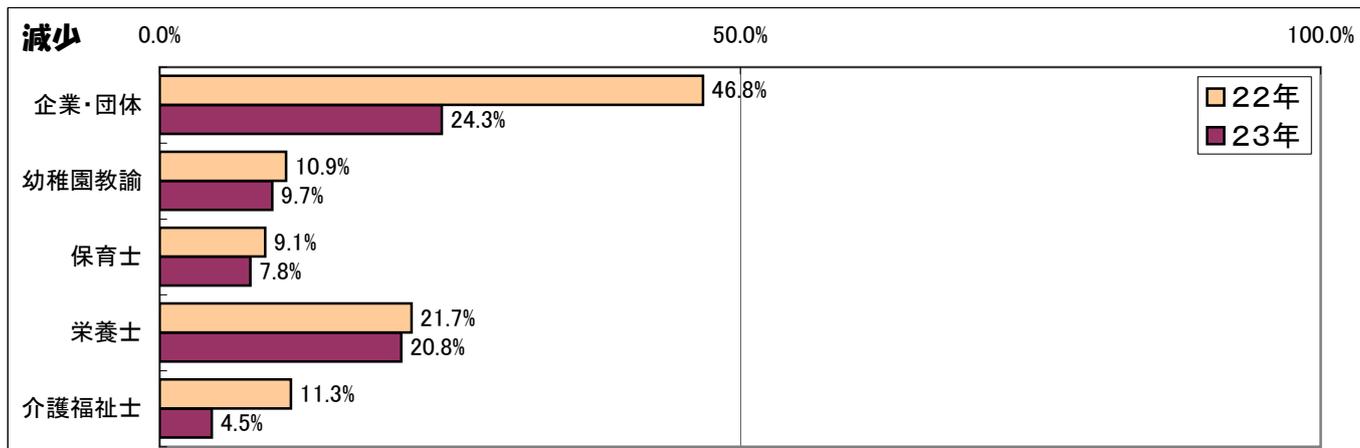
【企業・団体&専門職別】／ 求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
企業・団体	53.2%	26.7%	23.7%	32.8%	19.1%	38.3%	2.1%	329
幼稚園教諭	10.3%	10.2%	40.8%	41.7%	47.3%	47.1%	1.0%	206
保育士	4.8%	2.4%	24.6%	20.9%	68.4%	75.2%	1.5%	206
栄養士	18.5%	17.7%	44.6%	40.6%	29.3%	40.6%	1.0%	96
介護福祉士	18.9%	6.0%	35.8%	25.4%	35.8%	58.2%	10.4%	67



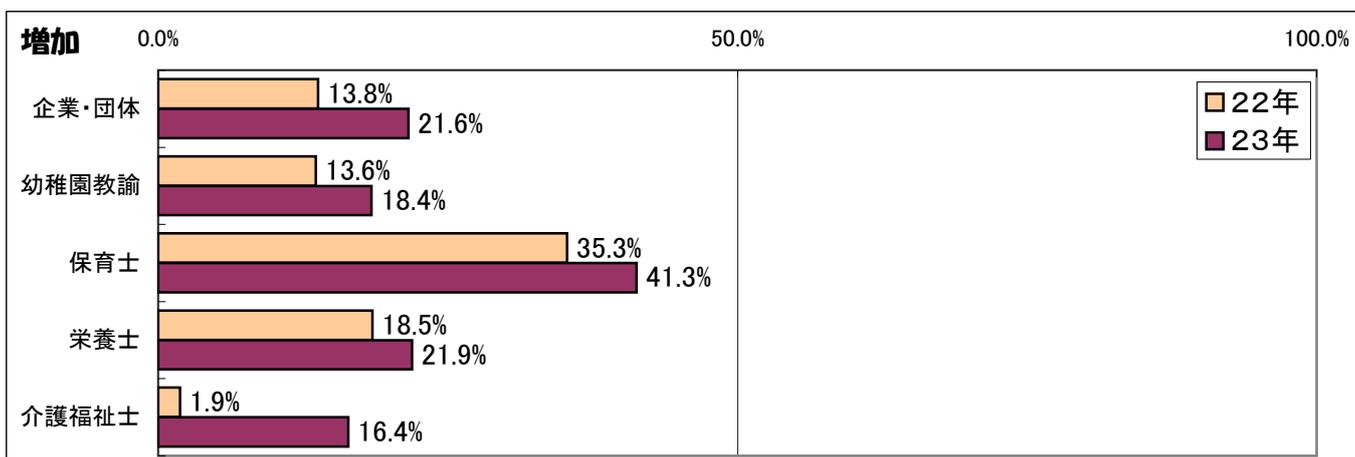
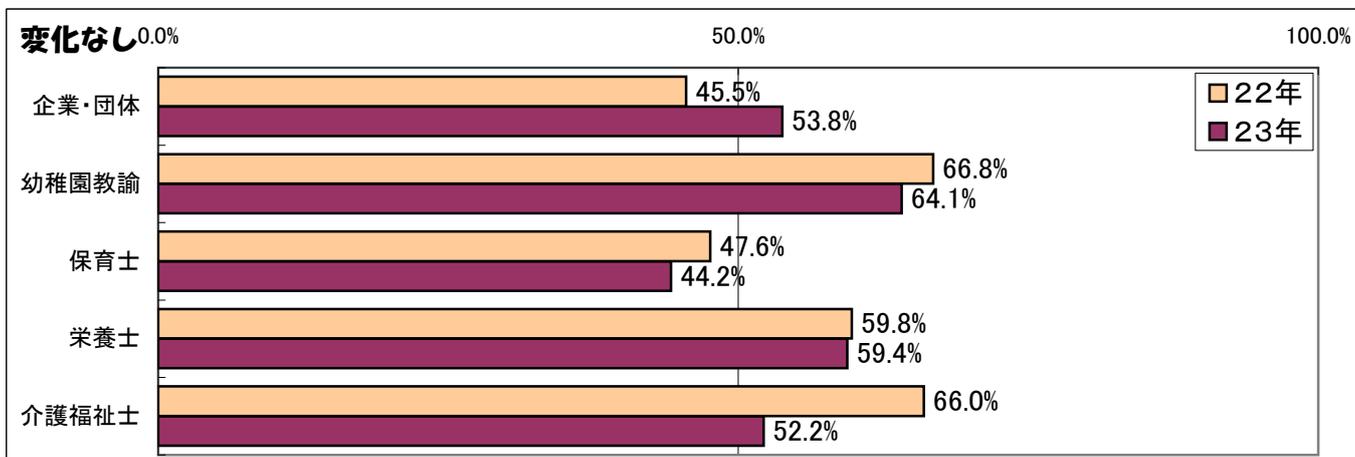
【企業・団体&専門職別】／ 正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
企業・団体	46.8%	<b>24.3%</b>	28.6%	<b>36.8%</b>	16.0%	<b>31.3%</b>	7.6%	329
幼稚園教諭	10.9%	<b>9.7%</b>	45.1%	<b>44.7%</b>	35.3%	<b>38.3%</b>	7.3%	206
保育士	9.1%	<b>7.8%</b>	34.2%	<b>29.6%</b>	48.1%	<b>56.3%</b>	6.3%	206
栄養士	21.7%	<b>20.8%</b>	43.5%	<b>44.8%</b>	22.8%	<b>28.1%</b>	6.3%	96
介護福祉士	11.3%	<b>4.5%</b>	39.6%	<b>31.3%</b>	34.0%	<b>52.2%</b>	11.9%	67



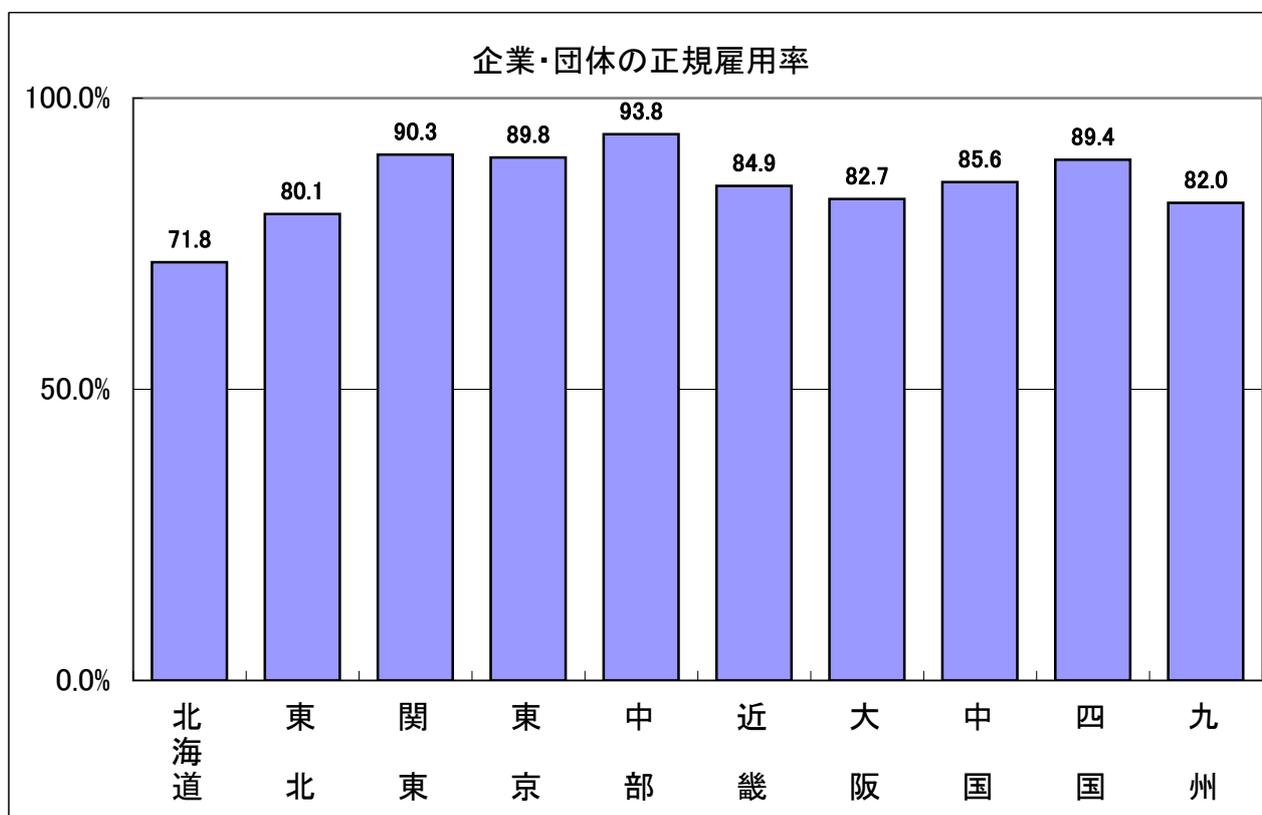
【企業・団体&専門職別】／非正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
企業・団体	22.8%	11.2%	45.5%	53.8%	13.8%	21.6%	13.4%	329
幼稚園教諭	6.0%	4.9%	66.8%	64.1%	13.6%	18.4%	12.6%	206
保育士	3.2%	4.9%	47.6%	44.2%	35.3%	41.3%	9.7%	206
栄養士	6.5%	9.4%	59.8%	59.4%	18.5%	21.9%	9.4%	96
介護福祉士	7.5%	11.9%	66.0%	52.2%	1.9%	16.4%	19.4%	67



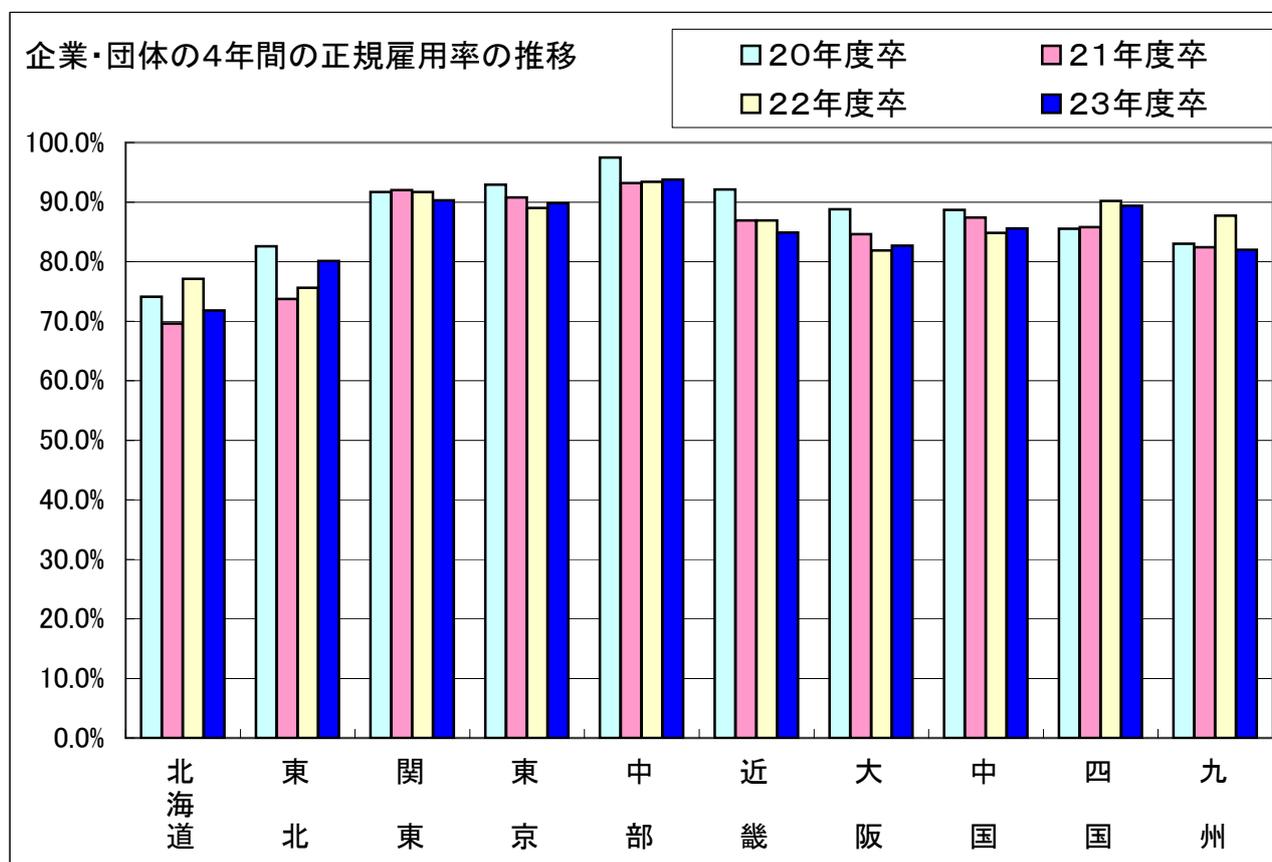
企業・団体における地域別雇用形態の状況

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	17,244	14,975	2,269	86.8%
北海道	866	622	244	71.8%
東 北	782	626	156	80.1%
関 東	2,243	2,026	217	90.3%
東 京	2,968	2,664	304	89.8%
中 部	3,282	3,078	204	93.8%
近 畿	1,953	1,659	294	84.9%
大 阪	1,649	1,364	285	82.7%
中 国	805	689	116	85.6%
四 国	490	438	52	89.4%
九 州	2,206	1,809	397	82.0%



## 企業・団体の正規雇用率の推移

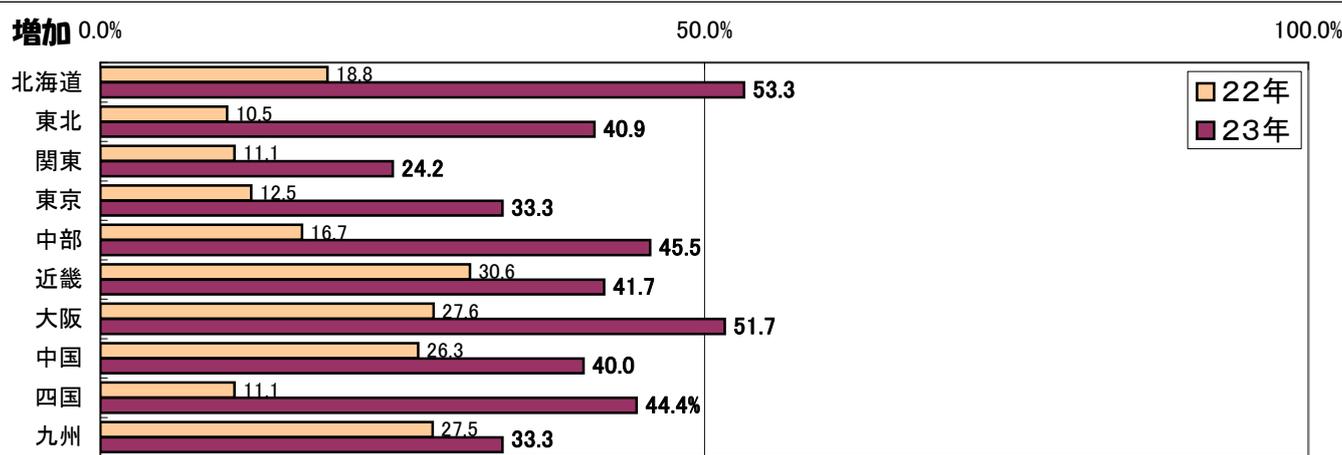
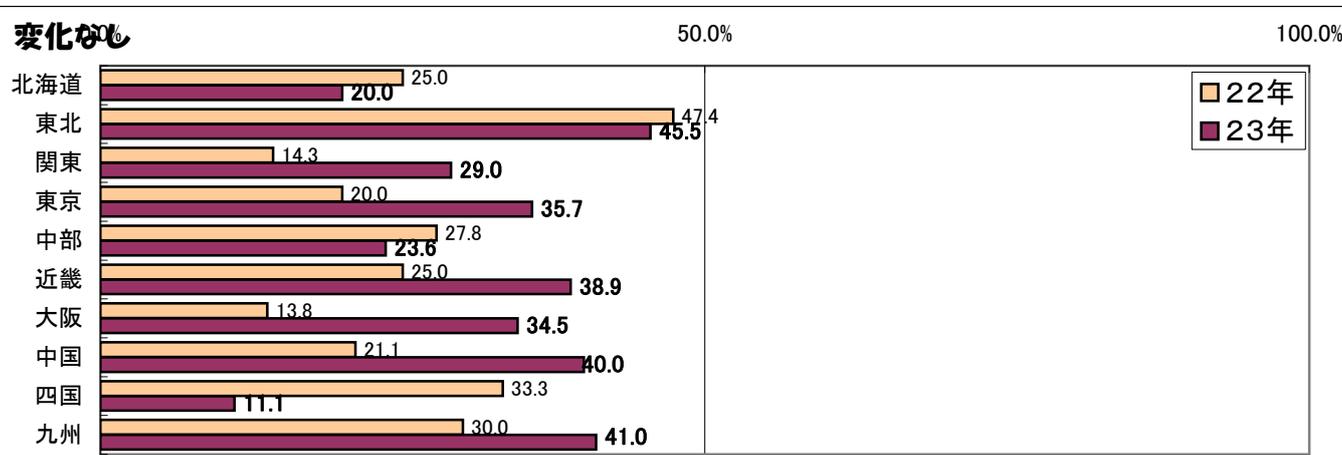
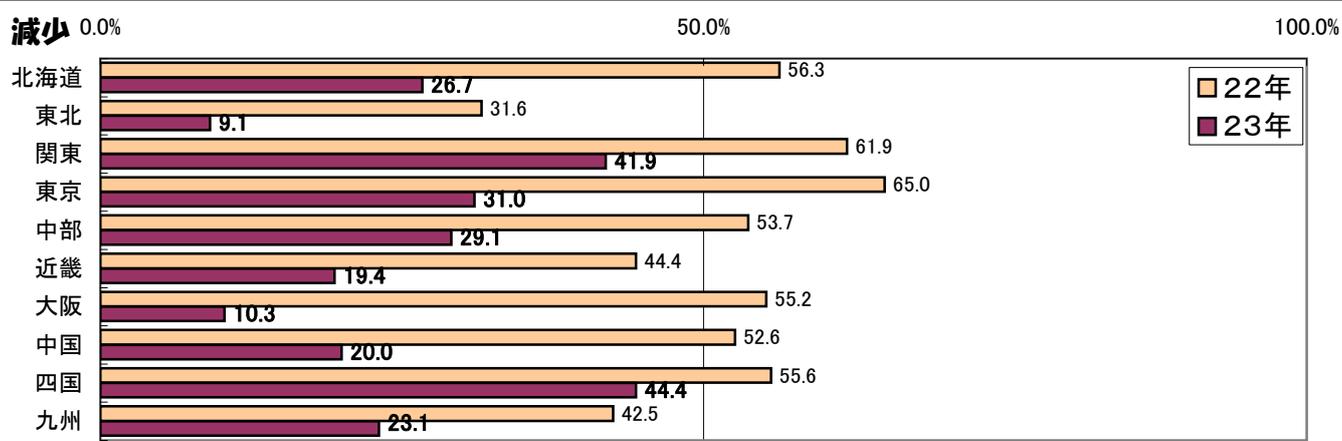
	就職決定者数				正規雇用率			
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒
北海道	1,019	888	852	866	74.1%	69.6%	77.1%	71.8%
東北	789	688	565	782	82.6%	73.7%	75.6%	80.1%
関東	3,005	2,287	2,343	2,243	91.7%	92.0%	91.7%	90.3%
東京	4,370	3,188	3,055	2,968	92.9%	90.8%	89.0%	89.8%
中部	4,142	3,077	3,178	3,282	97.5%	93.2%	93.4%	93.8%
近畿	2,346	1,893	1,884	1,953	92.1%	86.9%	86.9%	84.9%
大阪	2,251	1,491	1,848	1,649	88.8%	84.6%	81.9%	82.7%
中国	1,141	858	912	805	88.7%	87.4%	84.8%	85.6%
四国	599	465	481	490	85.5%	85.8%	90.2%	89.4%
九州	1,936	1,916	2,016	2,206	83.0%	82.4%	87.7%	82.0%
<b>全国</b>	<b>21,598</b>	<b>16,751</b>	<b>17,134</b>	<b>17,244</b>	<b>90.5%</b>	<b>87.3%</b>	<b>87.8%</b>	<b>86.8%</b>



《平成23年度の求人件数の増減傾向について前年度(22年度)と比較しての変化》

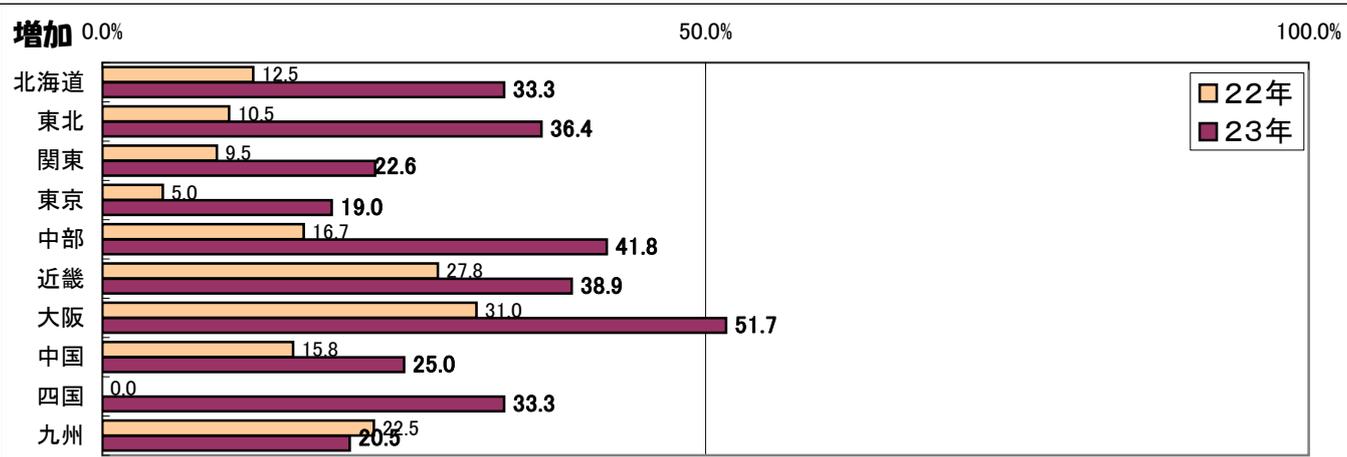
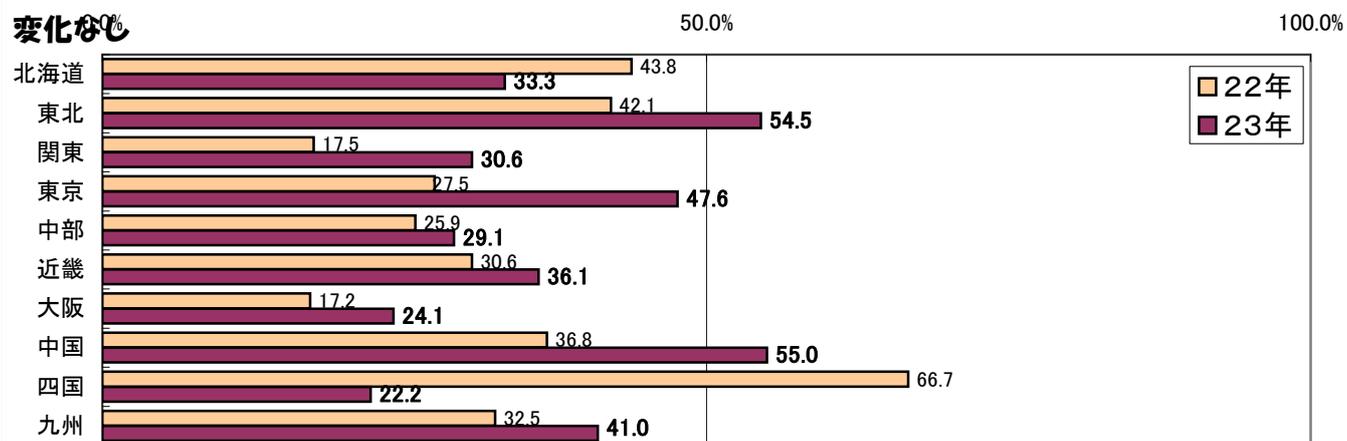
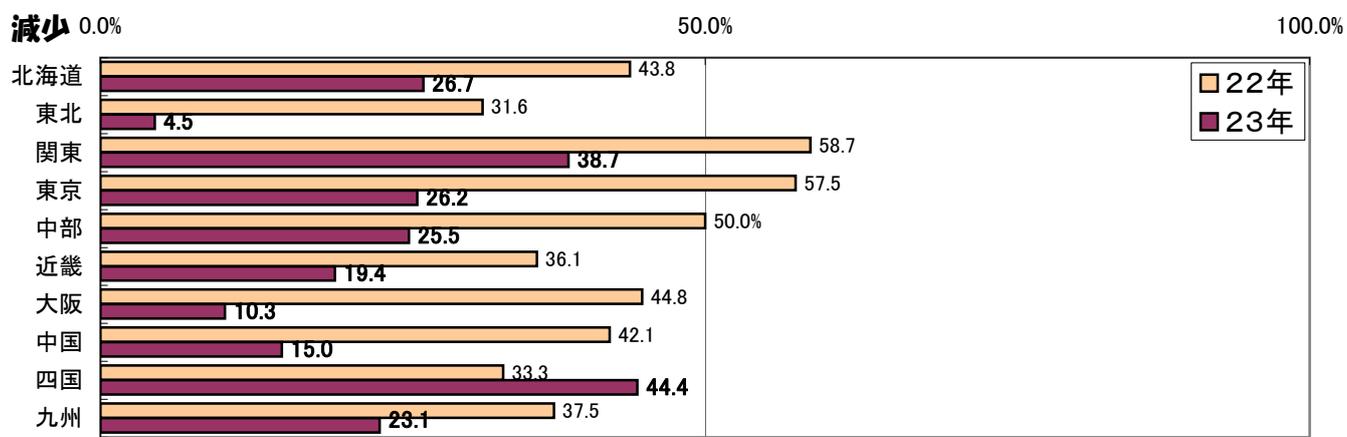
【企業・団体】 / 求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	56.3%	26.7%	25.0%	20.0%	18.8%	53.3%	0.0%	15
東北	31.6%	9.1%	47.4%	45.5%	10.5%	40.9%	4.5%	22
関東	61.9%	41.9%	14.3%	29.0%	11.1%	24.2%	4.8%	62
東京	65.0%	31.0%	20.0%	35.7%	12.5%	33.3%	0.0%	42
中部	53.7%	29.1%	27.8%	23.6%	16.7%	45.5%	1.8%	55
近畿	44.4%	19.4%	25.0%	38.9%	30.6%	41.7%	0.0%	36
大阪	55.2%	10.3%	13.8%	34.5%	27.6%	51.7%	3.4%	29
中国	52.6%	20.0%	21.1%	40.0%	26.3%	40.0%	0.0%	20
四国	55.6%	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	9
九州	42.5%	23.1%	30.0%	41.0%	27.5%	33.3%	2.6%	39
全国	53.2%	26.7%	23.7%	32.8%	19.1%	38.3%	2.1%	329



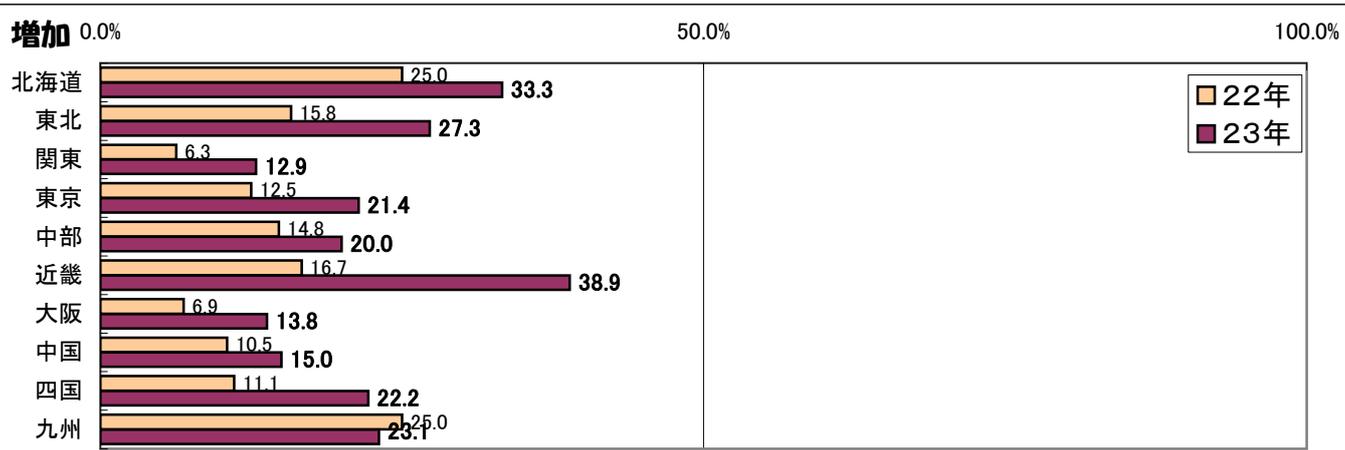
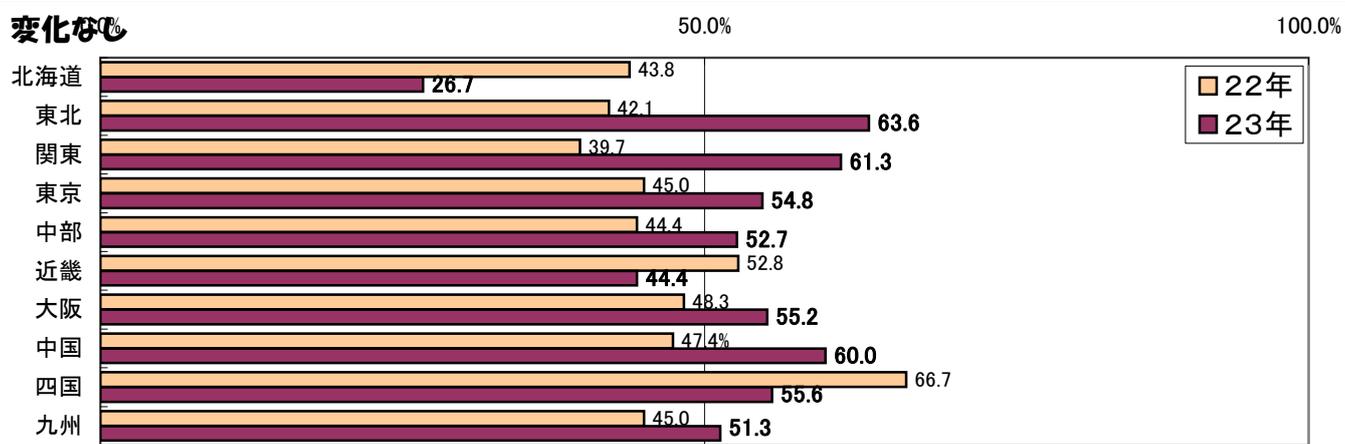
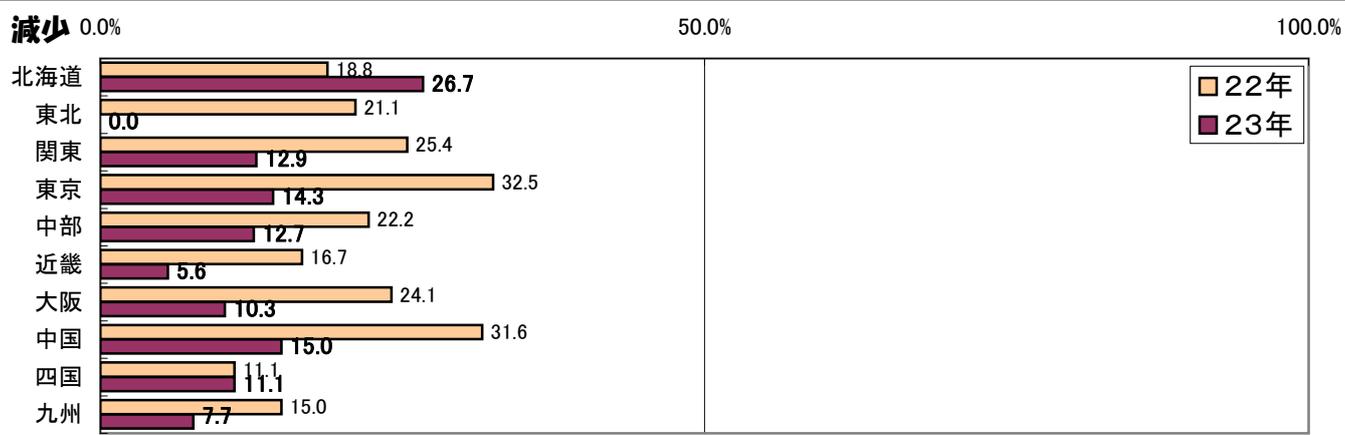
【企業・団体】／ 正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	43.8%	<b>26.7%</b>	43.8%	<b>33.3%</b>	12.5%	<b>33.3%</b>	6.7%	15
東北	31.6%	<b>4.5%</b>	42.1%	<b>54.5%</b>	10.5%	<b>36.4%</b>	4.5%	22
関東	58.7%	<b>38.7%</b>	17.5%	<b>30.6%</b>	9.5%	<b>22.6%</b>	8.1%	62
東京	57.5%	<b>26.2%</b>	27.5%	<b>47.6%</b>	5.0%	<b>19.0%</b>	7.1%	42
中部	50.0%	<b>25.5%</b>	25.9%	<b>29.1%</b>	16.7%	<b>41.8%</b>	3.6%	55
近畿	36.1%	<b>19.4%</b>	30.6%	<b>36.1%</b>	27.8%	<b>38.9%</b>	5.6%	36
大阪	44.8%	<b>10.3%</b>	17.2%	<b>24.1%</b>	31.0%	<b>51.7%</b>	13.8%	29
中国	42.1%	<b>15.0%</b>	36.8%	<b>55.0%</b>	15.8%	<b>25.0%</b>	5.0%	20
四国	33.3%	<b>44.4%</b>	66.7%	<b>22.2%</b>	0.0%	<b>33.3%</b>	0.0%	9
九州	37.5%	<b>23.1%</b>	32.5%	<b>41.0%</b>	22.5%	<b>20.5%</b>	15.4%	39
<b>全国</b>	<b>46.8%</b>	<b>24.3%</b>	<b>28.6%</b>	<b>36.8%</b>	<b>16.0%</b>	<b>31.3%</b>	<b>7.6%</b>	<b>329</b>



【企業・団体】／非正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	18.8%	<b>26.7%</b>	43.8%	<b>26.7%</b>	25.0%	<b>33.3%</b>	13.3%	15
東北	21.1%	<b>0.0%</b>	42.1%	<b>63.6%</b>	15.8%	<b>27.3%</b>	9.1%	22
関東	25.4%	<b>12.9%</b>	39.7%	<b>61.3%</b>	6.3%	<b>12.9%</b>	12.9%	62
東京	32.5%	<b>14.3%</b>	45.0%	<b>54.8%</b>	12.5%	<b>21.4%</b>	9.5%	42
中部	22.2%	<b>12.7%</b>	44.4%	<b>52.7%</b>	14.8%	<b>20.0%</b>	14.5%	55
近畿	16.7%	<b>5.6%</b>	52.8%	<b>44.4%</b>	16.7%	<b>38.9%</b>	11.1%	36
大阪	24.1%	<b>10.3%</b>	48.3%	<b>55.2%</b>	6.9%	<b>13.8%</b>	20.7%	29
中国	31.6%	<b>15.0%</b>	47.4%	<b>60.0%</b>	10.5%	<b>15.0%</b>	10.0%	20
四国	11.1%	<b>11.1%</b>	66.7%	<b>55.6%</b>	11.1%	<b>22.2%</b>	11.1%	9
九州	15.0%	<b>7.7%</b>	45.0%	<b>51.3%</b>	25.0%	<b>23.1%</b>	17.9%	39
<b>全国</b>	<b>22.8%</b>	<b>11.2%</b>	<b>45.5%</b>	<b>53.8%</b>	<b>13.8%</b>	<b>21.6%</b>	<b>13.4%</b>	<b>329</b>



## 企業・団体の平成23年度の就職・採用活動について 前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)

### ① 具体的な変化の内容

#### ―選択肢別回答数および概要―

##### ○雇用形態【19件】

昨年同様に、短大生を取り巻く雇用環境は、地域格差、専門職の雇用形態、一般職の求人数、学校推薦等の減少などが見られる。求人増・正規採用増（政府支援を活用する企業）の回答もあったが、前年度に比べ、非正規雇用、契約、嘱託職員としての雇用増の傾向にある。

主な回答

内訳：非正規雇用増加・・・・・・・・・・	6件	正規雇用増加・・・・・・・・・・	3件
行政支援等により採用増・・	2件	正規雇用減少・・・・・・・・・・	8件

##### ○処遇【5件】

昨年同様に、基本給を抑え、諸手当で調整されている等、また、東日本大震災の影響により企業の所在地や勤務地等一定の条件が示されたりする例もあり、昨年同様処遇は厳しい状況である。

##### ○学生の就労意識【71件】

主な回答

内訳：学生の就労意識低下・・・・・・・・	32件	学生就職意欲・・・・・・・・	23件
就業力（就職セミナー等効果）・・	3件	非正規希望・・・・・・・・	5件
就労意識二極化・・・・・・・・	6件	地元企業希望・・・・・・・・	2件

学生の就労意識については、非常に高い学生と意識の低い学生の二極化が見られる。意欲のある学生は、限られた期間内に一人ひとりの積極的かつ行動力の意識が高く「就職内定」に繋がっているとの意見。また、震災後という状況の影響が大きいと思われるが、例年より何が何でもどんな仕事でもとにかく就職するという意欲が見られた。しかし1、2社の採用選考結果で消極的になってしまう学生が増加しているのも現状である。昨年度同様、就労意識低下を懸念する割合はとて高く、傾向として学生の早期からの諦め、就職希望にもかかわらず活動していない状態が見られる。また、親の意向に左右された不本意入学者が増加し、学生の就労意識に大きな格差が生じているのも現実である。就職意欲のない学生への対応は苦慮するが、動機づけ、意欲向上のための学生支援が必要であり、個別対応していくことで就労意識を高め内定に繋げていくことが大切になっている。

## ○その他【48件】

### 主な回答

内訳：求人について・・・31件	採用試験について・・・5件
就職環境・・・・・・・・3件	震災の影響について・・・3件
入社前研修・・・・・・・・2件	エントリーの方法・・・1件
内定辞退について・1件	学生の質について・・・1件
業界について・・・1件	

求人に関する報告が数多く寄せられ、その中で最も多かったのは、短大生の求人数、採用数については、多くが減少、あるいは激変となっている。また、採用試験では、グループディスカッションや面接回数の増加等、人物評価により重点を置いた採用試験方法が増加した傾向との意見、厳選採用の傾向も一層強まり採用予定者人数よりも採用条件を重視する企業が増えた状況である。

## ② 雇用者側の対応に苦慮した事例

企業側が求める採用レベルが高くなっており、かつ、短大生枠は減少傾向が見られ、四年制大学と比較すると不利な状況である。

個別には、以下のような事例があった。

- ① 選考スケジュールの長期化
- ② 採用試験結果の遅れ
- ③ エントリーしても何の反応も無い

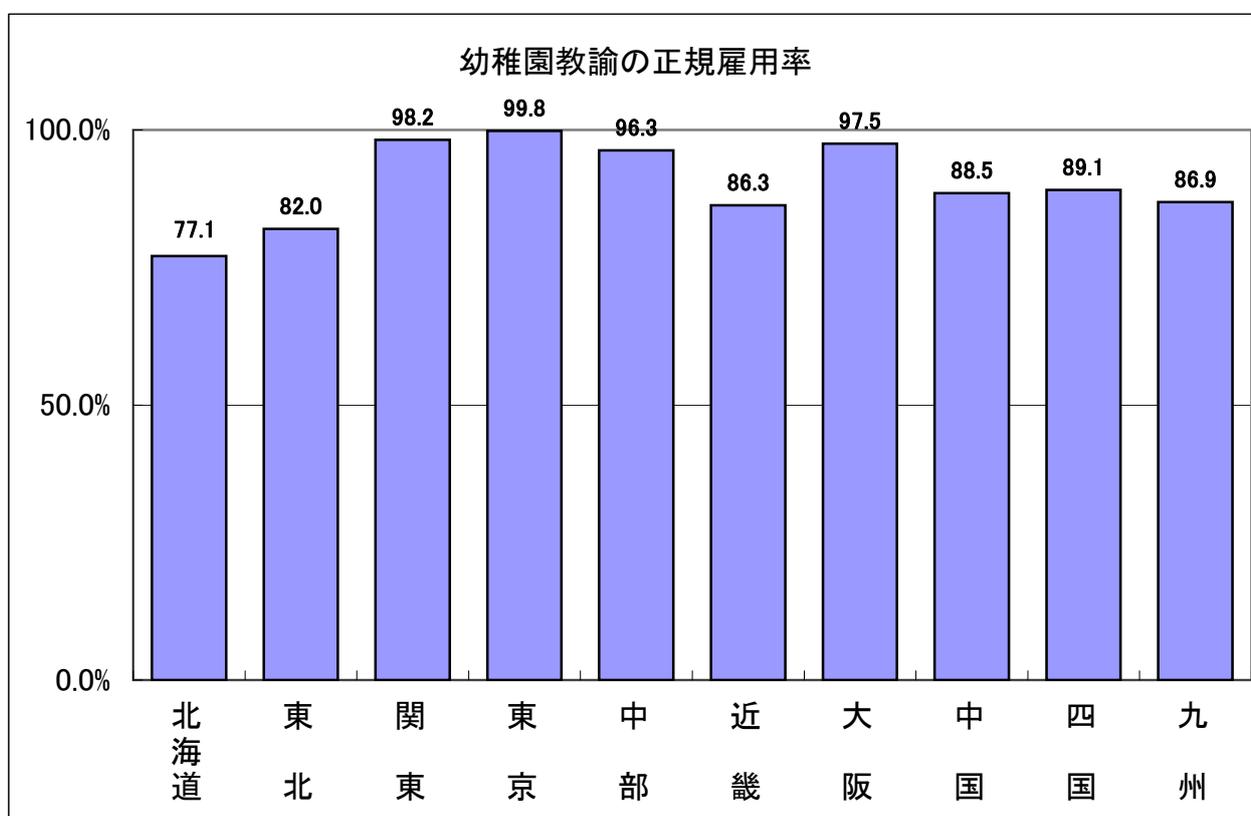
このことから、学生の拘束期間が長期化している傾向が見られる。

また、一部には採用面接時に不適切な質問を受けた事例があり、企業側の厳選採用意識による学生対応のぞんざい感が見られたことなど、企業体質の問題を指摘する意見もあった。

インターネットによるエントリーが一般化してきていることにより、学生の就職活動が見えにくくなっていることと、企業側も広範囲・不特定多数を相手にしていることからか、連絡が付きにくい状況が増えてきていると思われる。

幼稚園教諭の地域別雇用形態の状況（１）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	5,048	4,690	358	92.9%
北海道	271	209	62	77.1%
東 北	284	233	51	82.0%
関 東	1,444	1,418	26	98.2%
東 京	414	413	1	99.8%
中 部	833	802	31	96.3%
近 畿	445	384	61	86.3%
大 阪	432	421	11	97.5%
中 国	208	184	24	88.5%
四 国	129	115	14	89.1%
九 州	588	511	77	86.9%

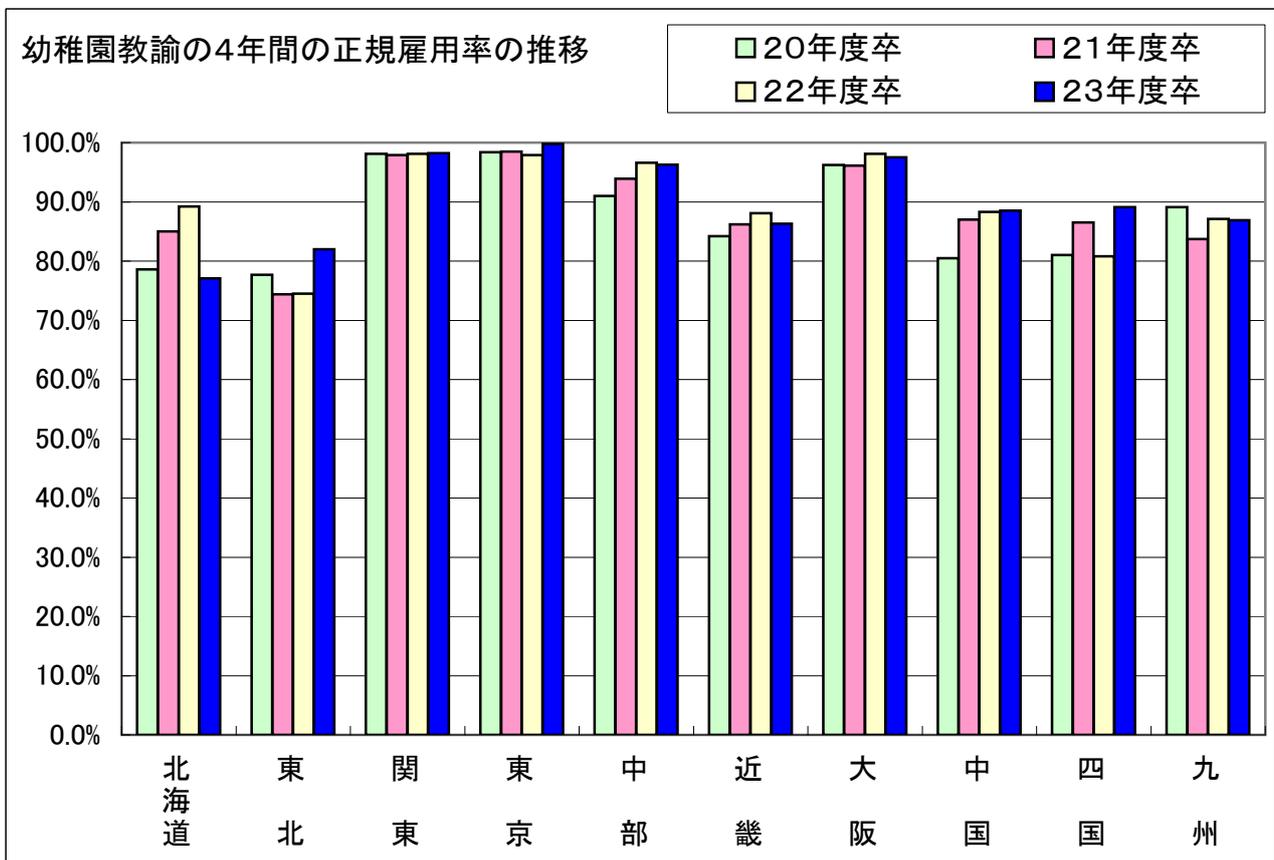


幼稚園教諭の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者	非正規 雇用者	私立計	正規 雇用者	非正規 雇用者
全 国	5,048	186	76	110	4,862	4,614	248
	100.0%	3.7%	1.5%	2.2%	96.3%	91.4%	4.9%
		100.0%	40.9%	59.1%	100.0%	94.9%	5.1%
北海道	271	6	3	3	265	206	59
	100.0%	2.2%	1.1%	1.1%	97.8%	76.0%	21.8%
		100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	77.7%	22.3%
東 北	284	13	4	9	271	229	42
	100.0%	4.6%	1.4%	3.2%	95.4%	80.6%	14.8%
		100.0%	30.8%	69.2%	100.0%	84.5%	15.5%
関 東	1,444	29	16	13	1,415	1,402	13
	100.0%	2.0%	1.1%	0.9%	98.0%	97.1%	0.9%
		100.0%	55.2%	44.8%	100.0%	99.1%	0.9%
東 京	414	3	3	0	411	410	1
	100.0%	0.7%	0.7%	0.0%	99.3%	99.0%	0.2%
		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	99.8%	0.2%
中 部	833	46	29	17	787	773	14
	100.0%	5.5%	3.5%	2.0%	94.5%	92.8%	1.7%
		100.0%	63.0%	37.0%	100.0%	98.2%	1.8%
近 畿	445	36	5	31	409	379	30
	100.0%	8.1%	1.1%	7.0%	91.9%	85.2%	6.7%
		100.0%	13.9%	86.1%	100.0%	92.7%	7.3%
大 阪	432	4	2	2	428	419	9
	100.0%	0.9%	0.5%	0.5%	99.1%	97.0%	2.1%
		100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	97.9%	2.1%
中 国	208	13	3	10	195	181	14
	100.0%	6.3%	1.4%	4.8%	93.8%	87.0%	6.7%
		100.0%	23.1%	76.9%	100.0%	92.8%	7.2%
四 国	129	14	2	12	115	113	2
	100.0%	10.9%	1.6%	9.3%	89.1%	87.6%	1.6%
		100.0%	14.3%	85.7%	100.0%	98.3%	1.7%
九 州	588	22	9	13	566	502	64
	100.0%	3.7%	1.5%	2.2%	96.3%	85.4%	10.9%
		100.0%	40.9%	59.1%	100.0%	88.7%	11.3%

## 幼稚園教諭の正規雇用率の推移

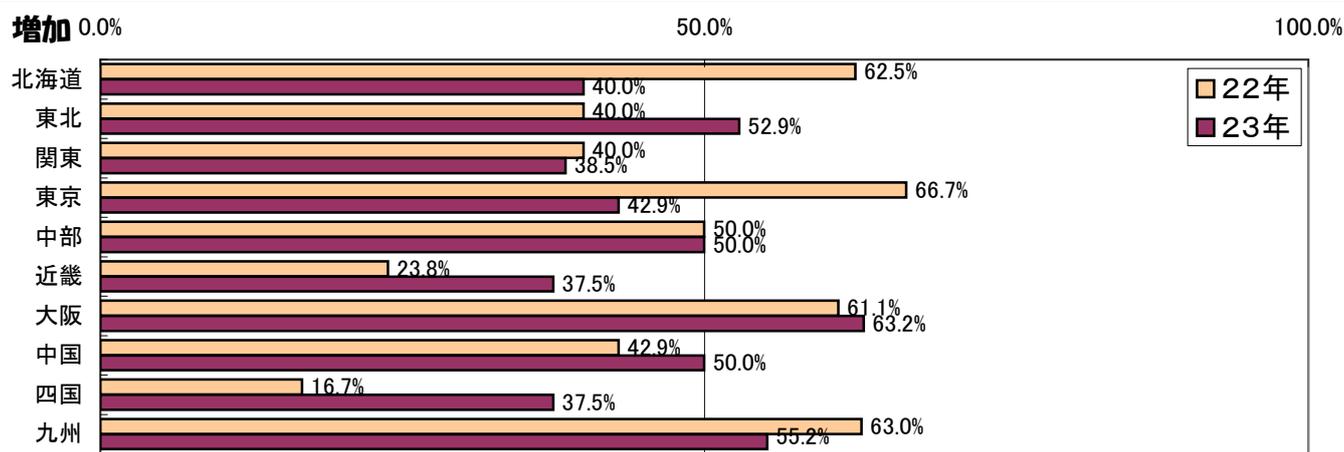
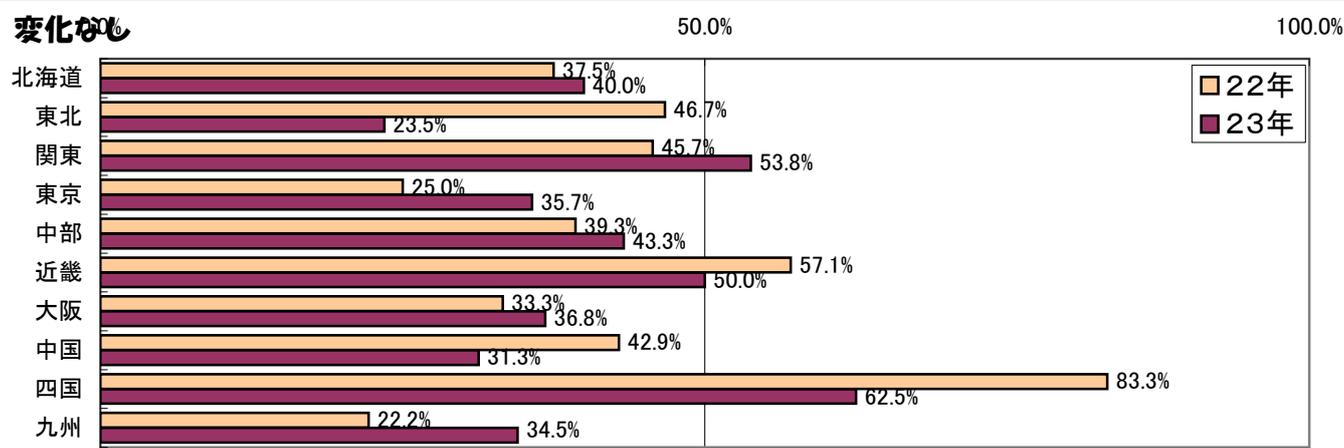
	就職決定者数				正規雇用率			
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒
北海道	238	266	241	271	78.6%	85.0%	89.2%	77.1%
東北	349	270	251	284	77.7%	74.4%	74.5%	82.0%
関東	1,456	1,305	1,339	1,444	98.1%	97.9%	98.1%	98.2%
東京	383	339	340	414	98.4%	98.5%	97.9%	99.8%
中部	780	798	744	833	91.0%	93.9%	96.6%	96.3%
近畿	480	457	462	445	84.2%	86.2%	88.1%	86.3%
大阪	573	541	472	432	96.2%	96.1%	98.1%	97.5%
中国	236	208	188	208	80.5%	87.0%	88.3%	88.5%
四国	121	104	78	129	81.0%	86.5%	80.8%	89.1%
九州	579	603	614	588	89.1%	83.7%	87.1%	86.9%
<b>全国</b>	<b>5,195</b>	<b>4,891</b>	<b>4,729</b>	<b>5,048</b>	<b>91.1%</b>	<b>91.5%</b>	<b>93.1%</b>	<b>92.9%</b>



《平成23年度の求人件数の増減傾向について前年度(22年度)と比較しての変化》

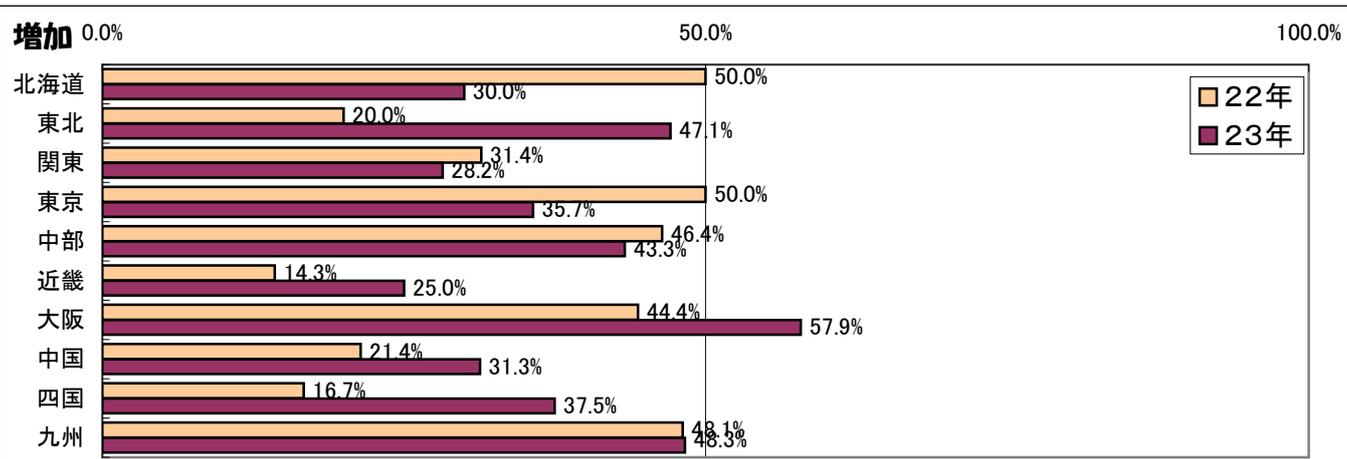
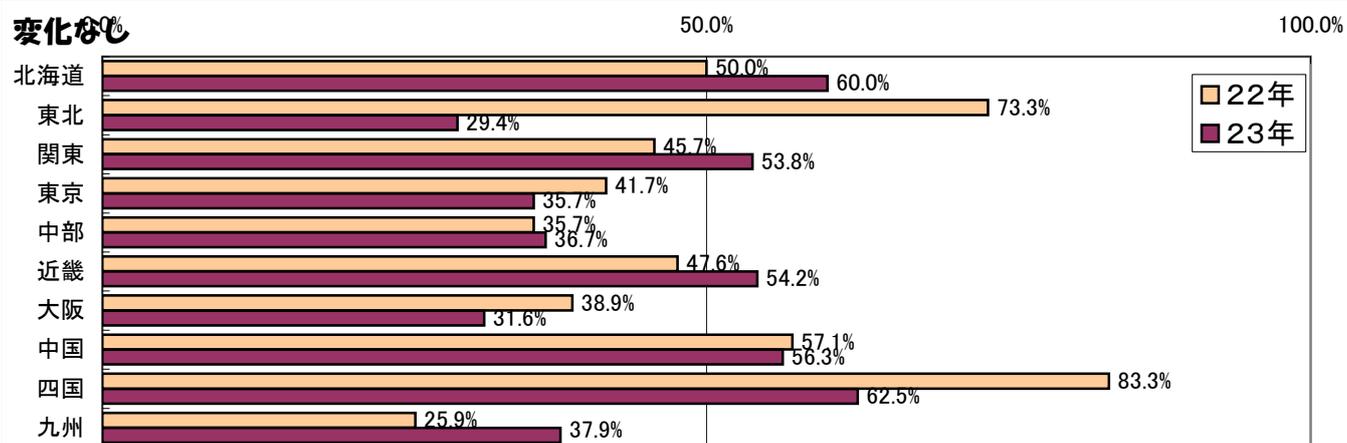
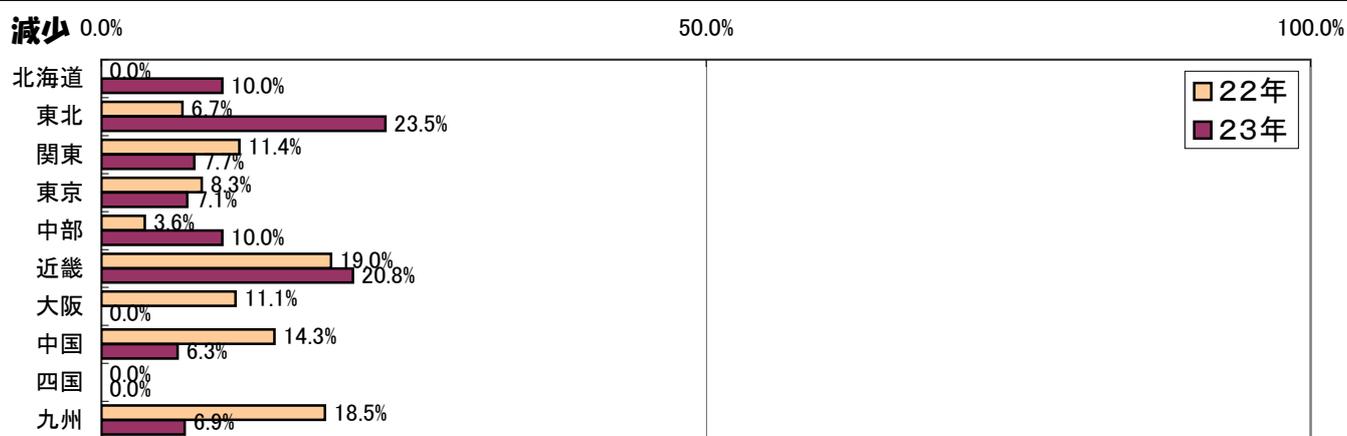
【幼稚園教諭】 / 求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	0.0%	20.0%	37.5%	40.0%	62.5%	40.0%	0.0%	10
東北	13.3%	23.5%	46.7%	23.5%	40.0%	52.9%	0.0%	17
関東	11.4%	7.7%	45.7%	53.8%	40.0%	38.5%	0.0%	39
東京	0.0%	7.1%	25.0%	35.7%	66.7%	42.9%	14.3%	14
中部	10.7%	6.7%	39.3%	43.3%	50.0%	50.0%	0.0%	30
近畿	14.3%	12.5%	57.1%	50.0%	23.8%	37.5%	0.0%	24
大阪	5.6%	0.0%	33.3%	36.8%	61.1%	63.2%	0.0%	19
中国	14.3%	18.8%	42.9%	31.3%	42.9%	50.0%	0.0%	16
四国	0.0%	0.0%	83.3%	62.5%	16.7%	37.5%	0.0%	8
九州	14.8%	10.3%	22.2%	34.5%	63.0%	55.2%	0.0%	29
全国	10.3%	10.2%	40.8%	41.7%	47.3%	47.1%	1.0%	206



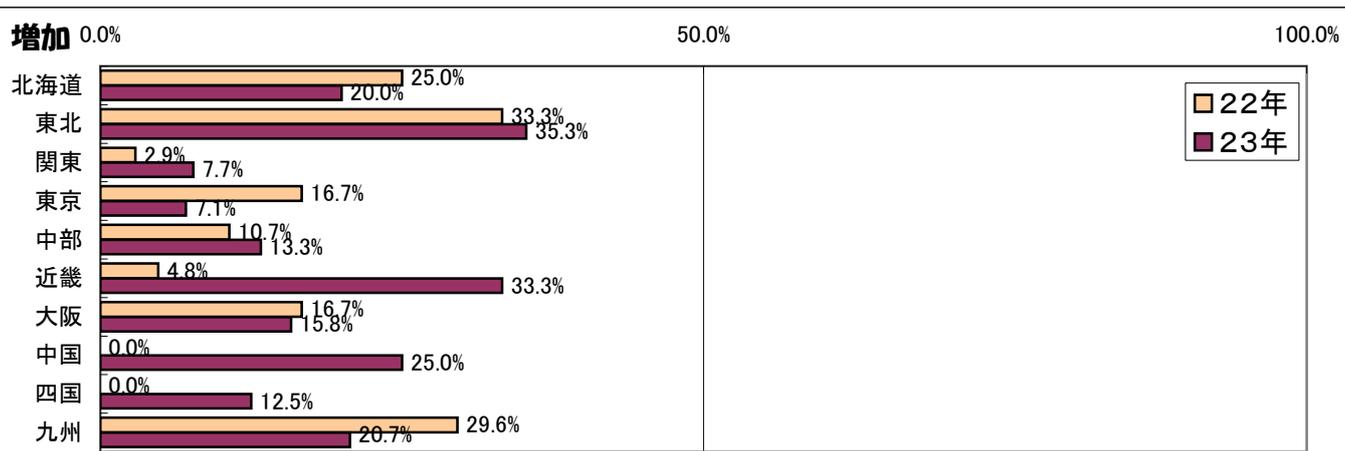
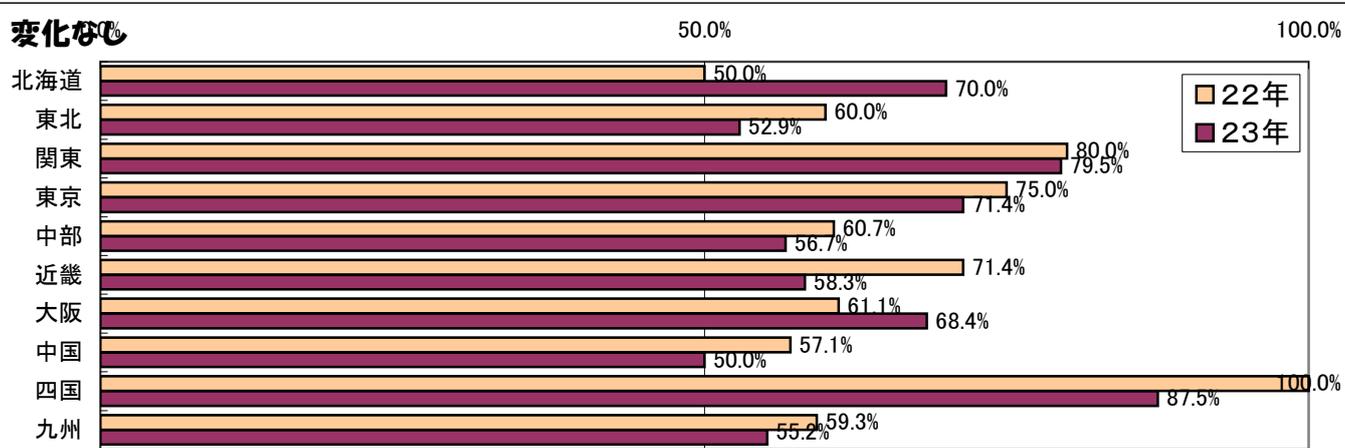
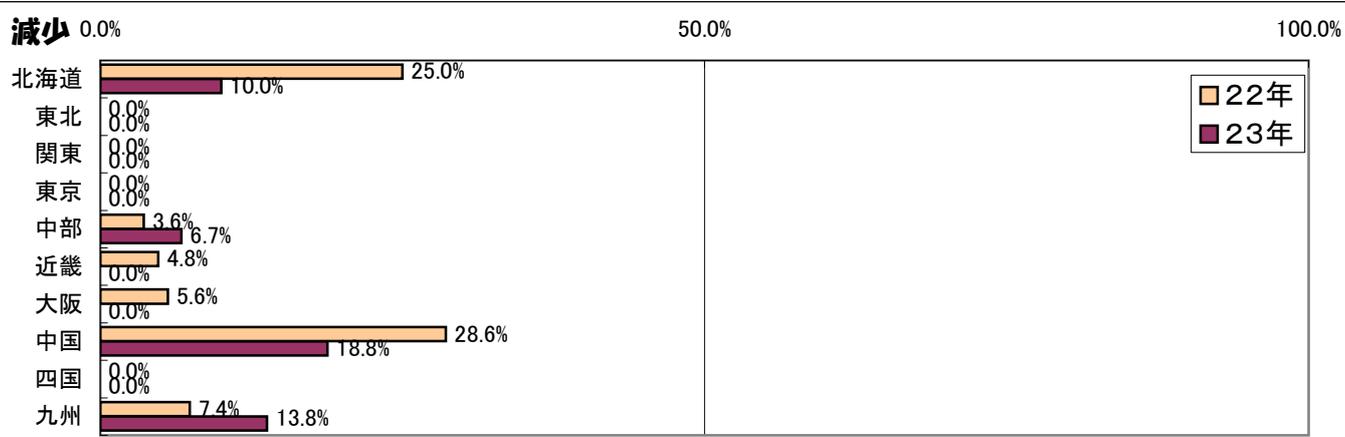
【幼稚園教諭】 / 正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	0.0%	10.0%	50.0%	60.0%	50.0%	30.0%	0.0%	10
東北	6.7%	23.5%	73.3%	29.4%	20.0%	47.1%	0.0%	17
関東	11.4%	7.7%	45.7%	53.8%	31.4%	28.2%	10.3%	39
東京	8.3%	7.1%	41.7%	35.7%	50.0%	35.7%	21.4%	14
中部	3.6%	10.0%	35.7%	36.7%	46.4%	43.3%	10.0%	30
近畿	19.0%	20.8%	47.6%	54.2%	14.3%	25.0%	0.0%	24
大阪	11.1%	0.0%	38.9%	31.6%	44.4%	57.9%	10.5%	19
中国	14.3%	6.3%	57.1%	56.3%	21.4%	31.3%	6.3%	16
四国	0.0%	0.0%	83.3%	62.5%	16.7%	37.5%	0.0%	8
九州	18.5%	6.9%	25.9%	37.9%	48.1%	48.3%	6.9%	29
全国	10.9%	9.7%	45.1%	44.7%	35.3%	38.3%	7.3%	206



【幼稚園教諭】 / 非正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	25.0%	10.0%	50.0%	70.0%	25.0%	20.0%	0.0%	10
東北	0.0%	0.0%	60.0%	52.9%	33.3%	35.3%	11.8%	17
関東	0.0%	0.0%	80.0%	79.5%	2.9%	7.7%	12.8%	39
東京	0.0%	0.0%	75.0%	71.4%	16.7%	7.1%	21.4%	14
中部	3.6%	6.7%	60.7%	56.7%	10.7%	13.3%	23.3%	30
近畿	4.8%	0.0%	71.4%	58.3%	4.8%	33.3%	8.3%	24
大阪	5.6%	0.0%	61.1%	68.4%	16.7%	15.8%	15.8%	19
中国	28.6%	18.8%	57.1%	50.0%	0.0%	25.0%	6.3%	16
四国	0.0%	0.0%	100.0%	87.5%	0.0%	12.5%	0.0%	8
九州	7.4%	13.8%	59.3%	55.2%	29.6%	20.7%	10.3%	29
全国	6.0%	4.9%	66.8%	64.1%	13.6%	18.4%	12.6%	206



## 幼稚園教諭の平成23年度の就職・採用活動について 前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)

### ① 具体的な変化の内容

#### ○雇用形態

東北地区で非正規雇用での採用が増加したという報告、九州地区（特に福岡県）では正規雇用での採用が増加したという報告が多い。また、全国的に幼保一体化に向けて「幼稚園教諭免許」の他に「保育士資格」の取得を条件とする求人が増加傾向にある。幼稚園で保育所を併設する園が増加したとの報告もあり、配属が幼稚園なのか保育所なのか不明確で、学生対応に苦慮する場合がある。また、正規職員の募集なのか明記していない求人票も見られた。

実習時に声をかけられ、採用につながる件数が増加したとの報告もある。

#### ○処遇

業務量が多く、超過勤務であり、気力・体力が求められる割に低賃金の職場が多く、待遇面での課題があることが全国的な傾向である。

#### ○学生の就労意識

東北地区では、震災の影響で地元志向の学生が増加しているが、求人数は減少しており、学生の意識と求人がミスマッチである。一方で、首都圏に就職する学生も増加傾向であるという報告もある。

全国的に幼稚園希望者は減少しており、学生の保育士志向が強まっている。その理由としては、一人担任への不安感、保育技術（ピアノ等）への自信のなさ、クラス担任の責任回避の傾向などが挙げられている。社会人になることへの不安、困難な現実を回避しようとする傾向も同時に挙げられている。

また、学生の求める雇用条件と実際の雇用条件の落差も見られる。

#### ○その他

##### <求人について>

東北地区では地元での求人が減少しており、首都圏からの求人が増加している。全国的には求人が多く、1月以降3月末日まで求人依頼が届き、断ることが増えたとの報告もある。

(北海道、神奈川など)

##### <採用時期について>

全国的に早期化傾向である。

##### <その他>

私立幼稚園協会主催の学生向け就職説明会などが新規に行われるなど、幼稚園側でも学生確保に向けた動きが見られた。

## ② 雇用者側の対応に苦慮した事例

全国的に、内定後の研修についての問題が指摘されている。研修に参加しないことで内定取り消しを示唆される、内定を取り消される、長期に研修があるため学生が疲弊してしまう、研修に対して支払われる手当（交通費、日当）などについての問題がある。

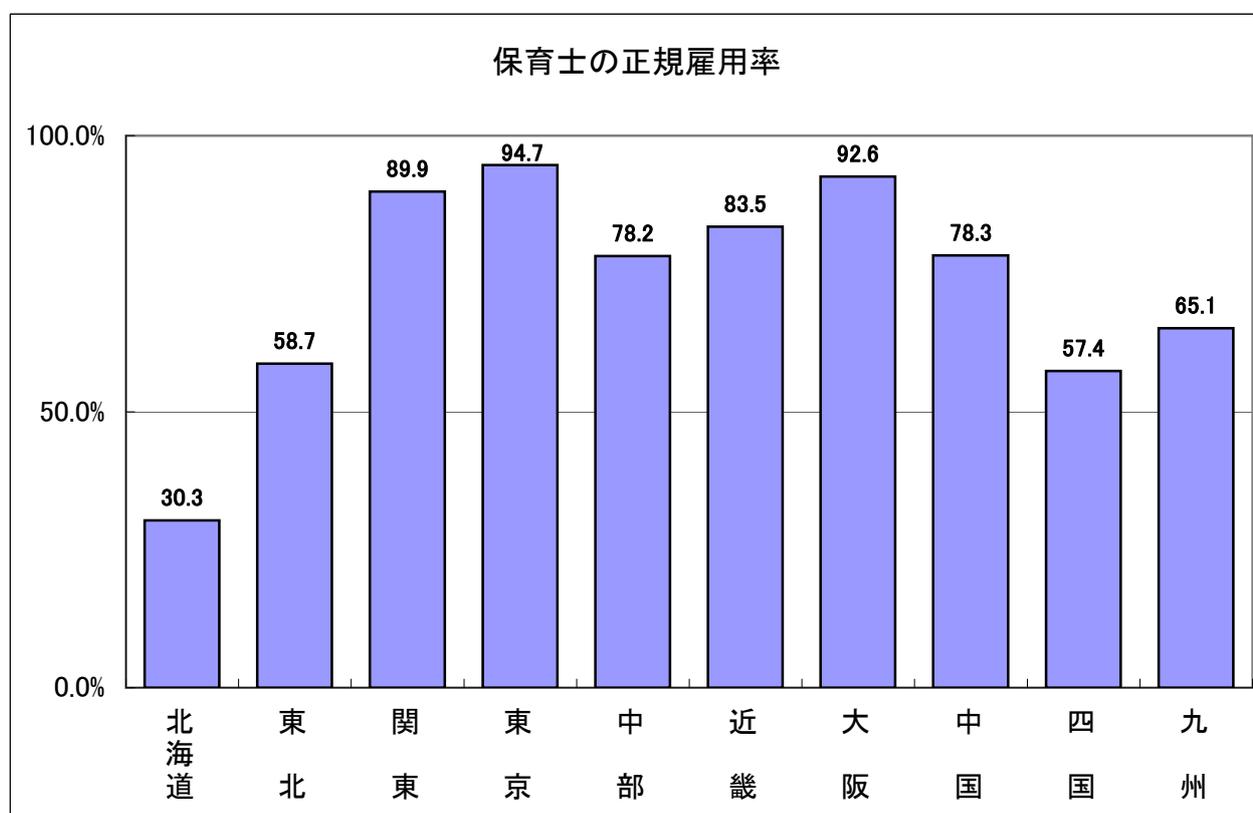
また、全国的に求人に対して学生を紹介できない場合が多い。特に年度末の求人に対して学生を紹介できず、対応に苦慮しているとの報告が見られた。就職後の早期離職の学生が多くなるに伴って、新年度に求人があり、対応できず苦慮しているという例もあった。

不適切な採用を行う園に苦慮した例も全国的に報告されている。履歴書に家族構成記入の指定、親の職業、宗教や支持政党、居住地域を問う面接、見学会の際の抜き打ち選考、求人票と実際の処遇が異なる、求人票を出さずに教員個人に学生の斡旋を依頼するなどである。

その他、新人指導の在り方について（パワハラなど）の指摘もあった。

保育士の地域別雇用形態の状況（１）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	12,091	9,329	2,762	77.2%
北海道	465	141	324	30.3%
東 北	1,027	603	424	58.7%
関 東	2,502	2,250	252	89.9%
東 京	640	606	34	94.7%
中 部	1,778	1,391	387	78.2%
近 畿	1,377	1,150	227	83.5%
大 阪	1,083	1,003	80	92.6%
中 国	897	702	195	78.3%
四 国	380	218	162	57.4%
九 州	1,942	1,265	677	65.1%

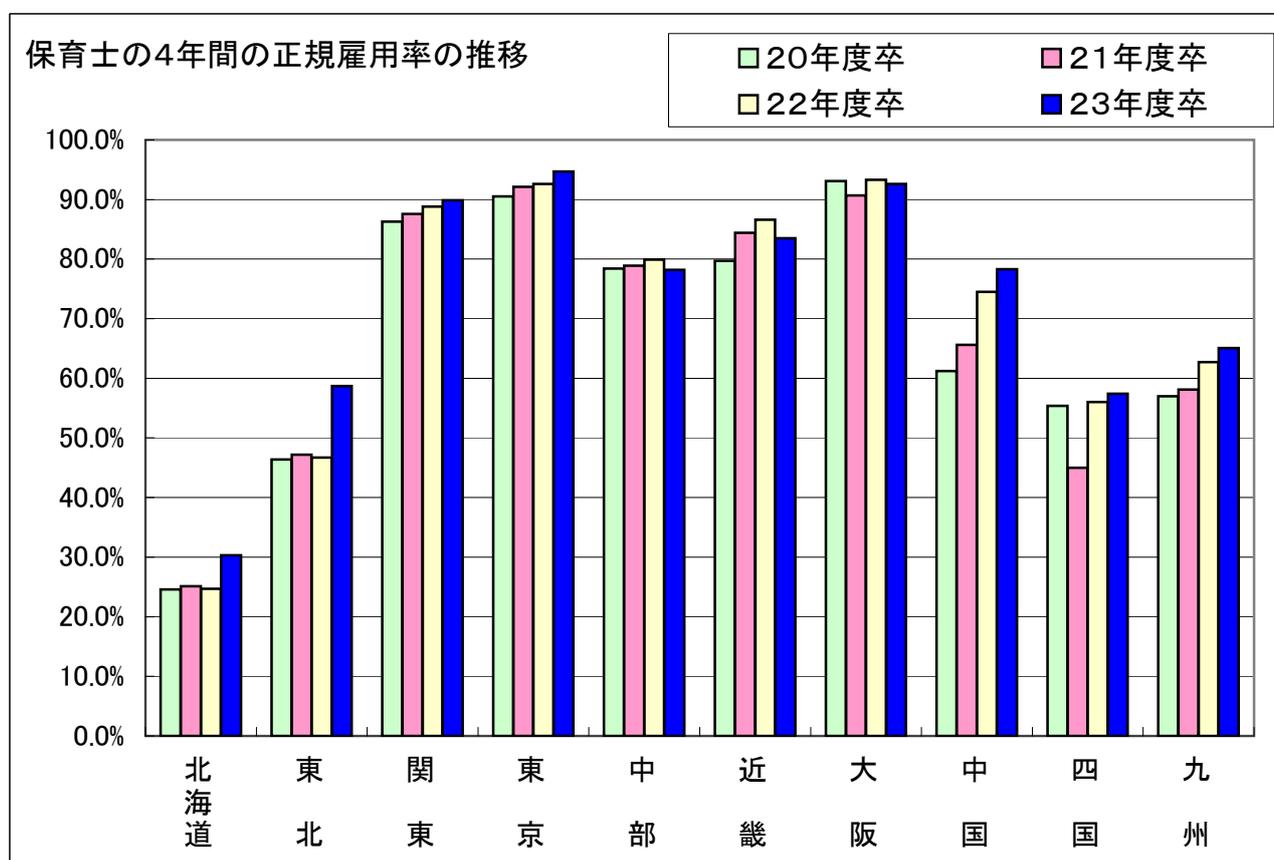


保育士の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者	非正規 雇用者	私立計	正規 雇用者	非正規 雇用者
全 国	12,091	1,194	545	649	10,897	8,784	2,113
	100.0%	9.9%	4.5%	5.4%	90.1%	72.6%	17.5%
		100.0%	45.6%	54.4%	100.0%	80.6%	19.4%
北海道	465	42	31	11	423	110	313
	100.0%	9.0%	6.7%	2.4%	91.0%	23.7%	67.3%
		100.0%	73.8%	26.2%	100.0%	26.0%	74.0%
東 北	1,027	83	29	54	944	574	370
	100.0%	8.1%	2.8%	5.3%	91.9%	55.9%	36.0%
		100.0%	34.9%	65.1%	100.0%	60.8%	39.2%
関 東	2,502	189	84	105	2,313	2,166	147
	100.0%	7.6%	3.4%	4.2%	92.4%	86.6%	5.9%
		100.0%	44.4%	55.6%	100.0%	93.6%	6.4%
東 京	640	65	51	14	575	555	20
	100.0%	10.2%	8.0%	2.2%	89.8%	86.7%	3.1%
		100.0%	78.5%	21.5%	100.0%	96.5%	3.5%
中 部	1,778	456	225	231	1,322	1,166	156
	100.0%	25.6%	12.7%	13.0%	74.4%	65.6%	8.8%
		100.0%	49.3%	50.7%	100.0%	88.2%	11.8%
近 畿	1,377	127	42	85	1,250	1,108	142
	100.0%	9.2%	3.1%	6.2%	90.8%	80.5%	10.3%
		100.0%	33.1%	66.9%	100.0%	88.6%	11.4%
大 阪	1,083	34	17	17	1,049	986	63
	100.0%	3.1%	1.6%	1.6%	96.9%	91.0%	5.8%
		100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	94.0%	6.0%
中 国	897	80	24	56	817	678	139
	100.0%	8.9%	2.7%	6.2%	91.1%	75.6%	15.5%
		100.0%	30.0%	70.0%	100.0%	83.0%	17.0%
四 国	380	62	11	51	318	207	111
	100.0%	16.3%	2.9%	13.4%	83.7%	54.5%	29.2%
		100.0%	17.7%	82.3%	100.0%	65.1%	34.9%
九 州	1,942	56	31	25	1,886	1,234	652
	100.0%	2.9%	1.6%	1.3%	97.1%	63.5%	33.6%
		100.0%	55.4%	44.6%	100.0%	65.4%	34.6%

## 保育士の正規雇用率の推移

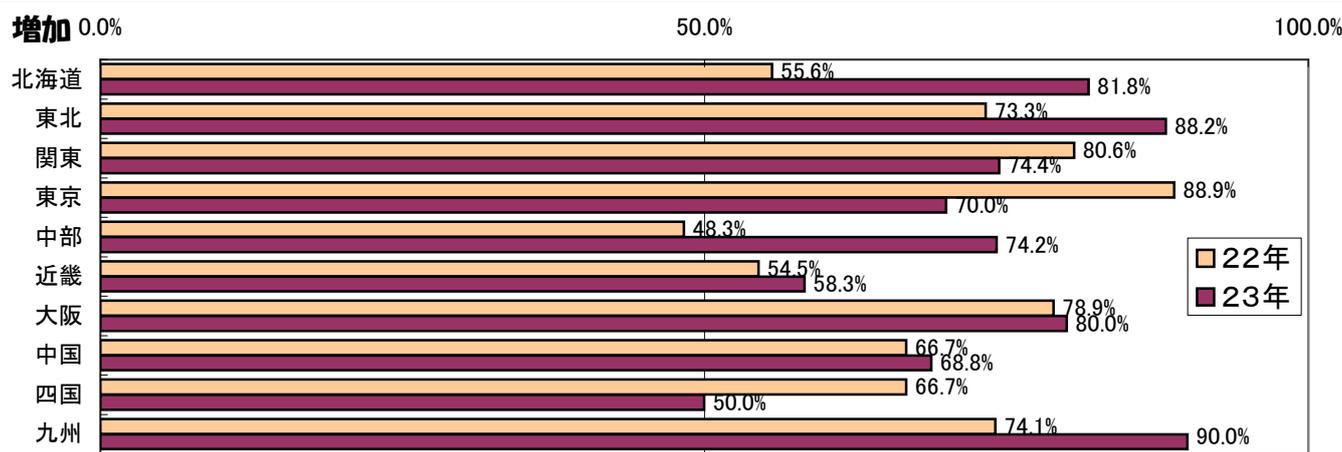
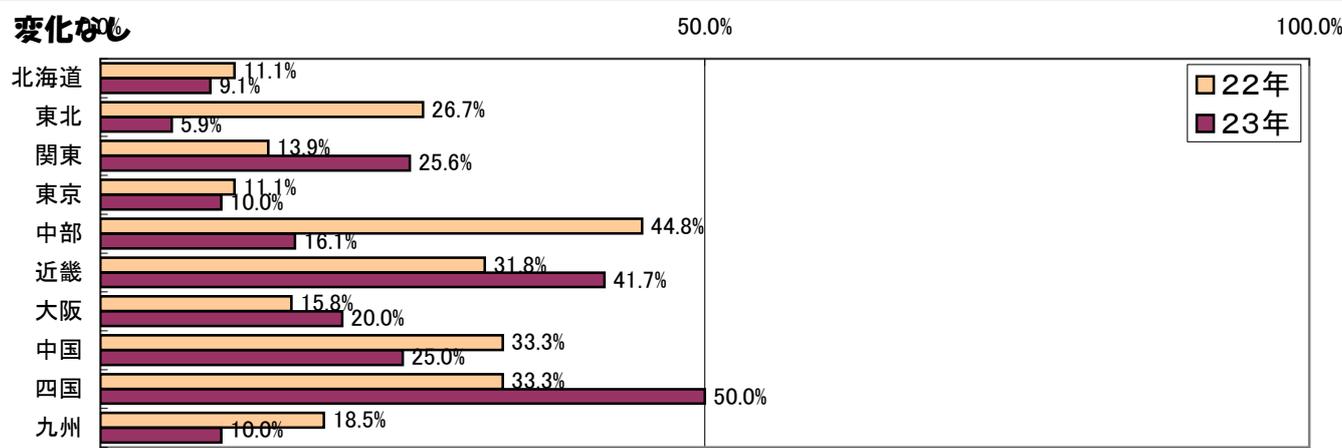
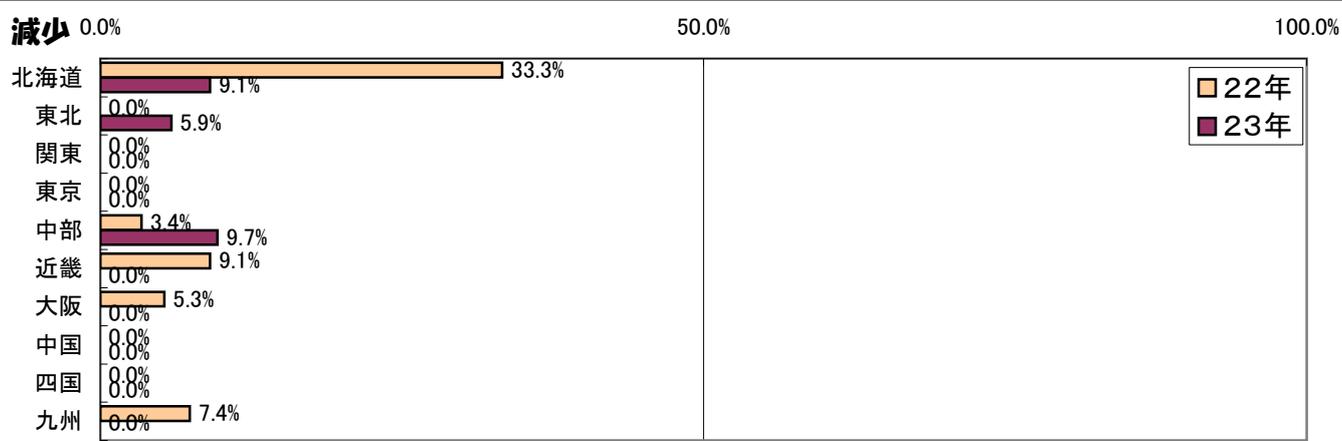
	就職決定者数				正規雇用率			
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒
北海道	410	403	376	465	24.6%	25.1%	24.7%	30.3%
東北	1,122	983	860	1,027	46.4%	47.2%	46.7%	58.7%
関東	2,105	2,561	2,326	2,502	86.3%	87.6%	88.8%	89.9%
東京	569	530	565	640	90.5%	92.1%	92.6%	94.7%
中部	1,873	2,054	1,734	1,778	78.4%	78.9%	79.9%	78.2%
近畿	1,415	1,458	1,346	1,377	79.7%	84.4%	86.6%	83.5%
大阪	1,152	1,072	1,096	1,083	93.1%	90.7%	93.3%	92.6%
中国	979	881	805	897	61.2%	65.6%	74.5%	78.3%
四国	368	322	266	380	55.4%	45.0%	56.0%	57.4%
九州	1,979	1,937	1,809	1,942	57.0%	58.1%	62.7%	65.1%
全国	11,972	12,201	11,183	12,091	71.5%	73.5%	76.4%	77.2%



《平成23年度の求人件数の増減傾向について前年度(22年度)と比較しての変化》

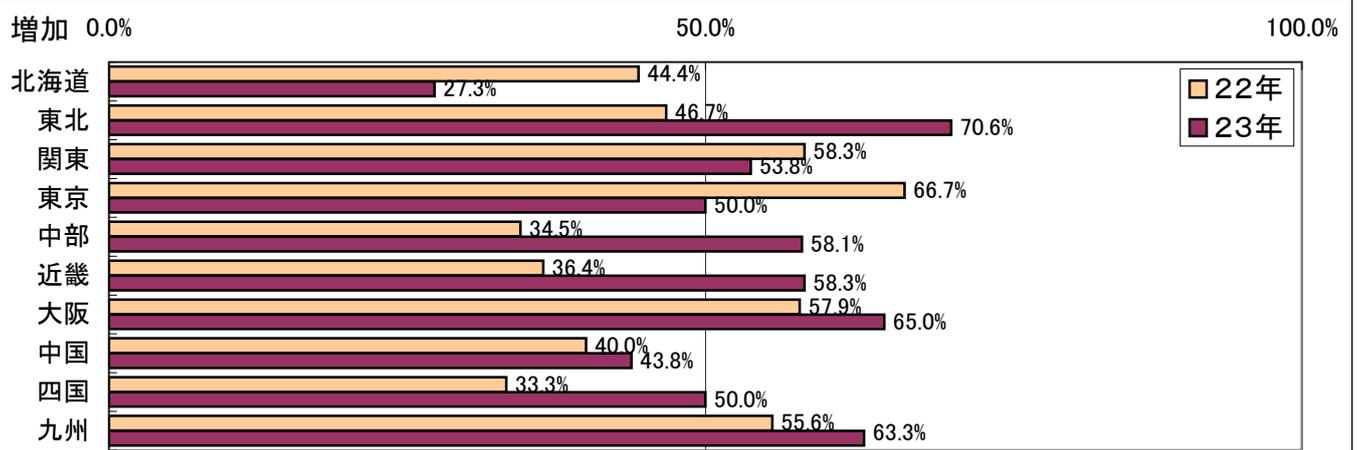
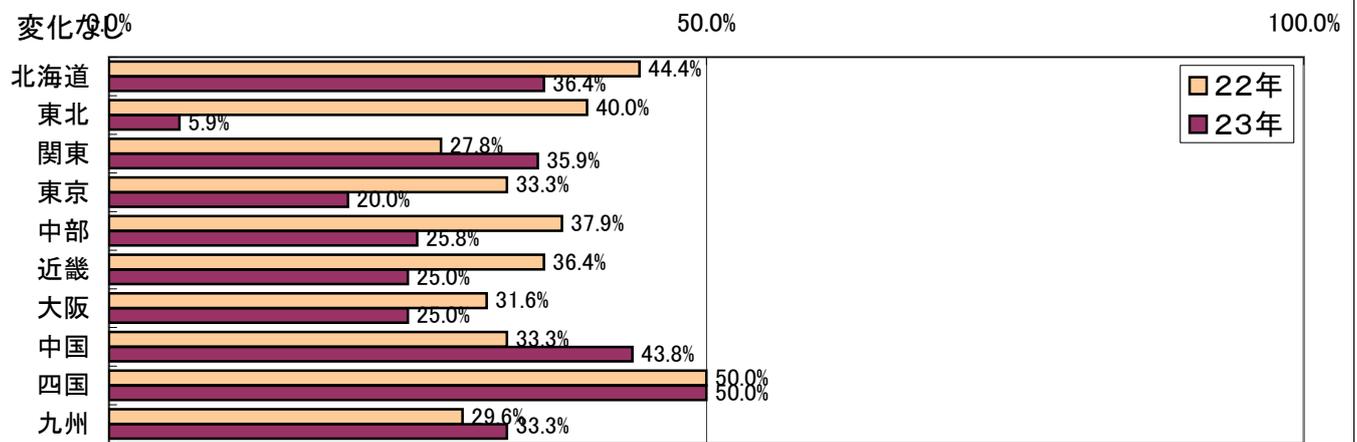
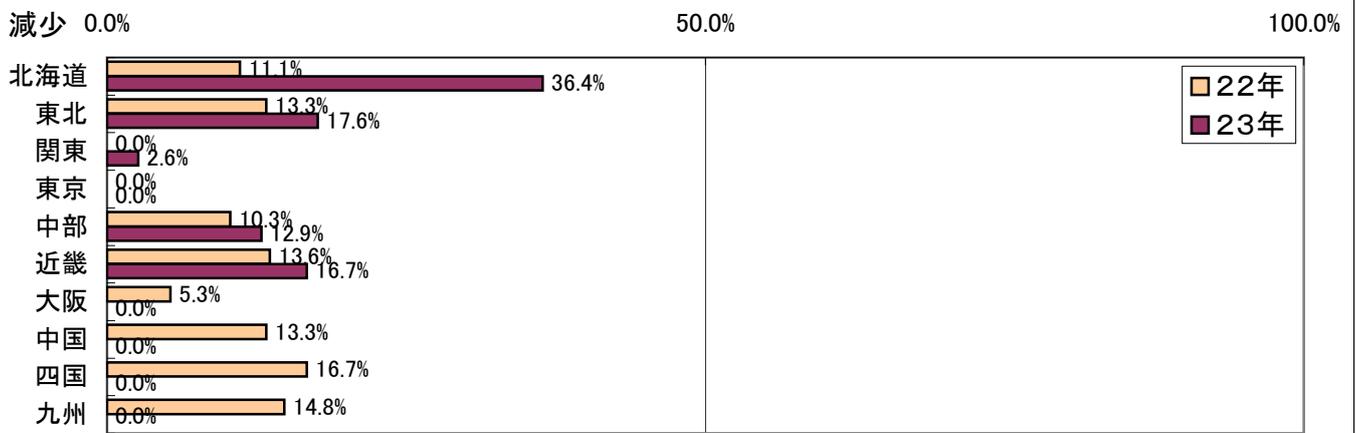
【保育士】 / 求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	33.3%	9.1%	11.1%	9.1%	55.6%	81.8%	0.0%	11
東北	0.0%	5.9%	26.7%	5.9%	73.3%	88.2%	0.0%	17
関東	0.0%	0.0%	13.9%	25.6%	80.6%	74.4%	0.0%	39
東京	0.0%	0.0%	11.1%	10.0%	88.9%	70.0%	20.0%	10
中部	3.4%	9.7%	44.8%	16.1%	48.3%	74.2%	0.0%	31
近畿	9.1%	0.0%	31.8%	41.7%	54.5%	58.3%	0.0%	24
大阪	5.3%	0.0%	15.8%	20.0%	78.9%	80.0%	0.0%	20
中国	0.0%	0.0%	33.3%	25.0%	66.7%	68.8%	6.3%	16
四国	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	66.7%	50.0%	0.0%	8
九州	7.4%	0.0%	18.5%	10.0%	74.1%	90.0%	0.0%	30
全国	4.8%	2.4%	24.6%	20.9%	68.4%	75.2%	1.5%	206



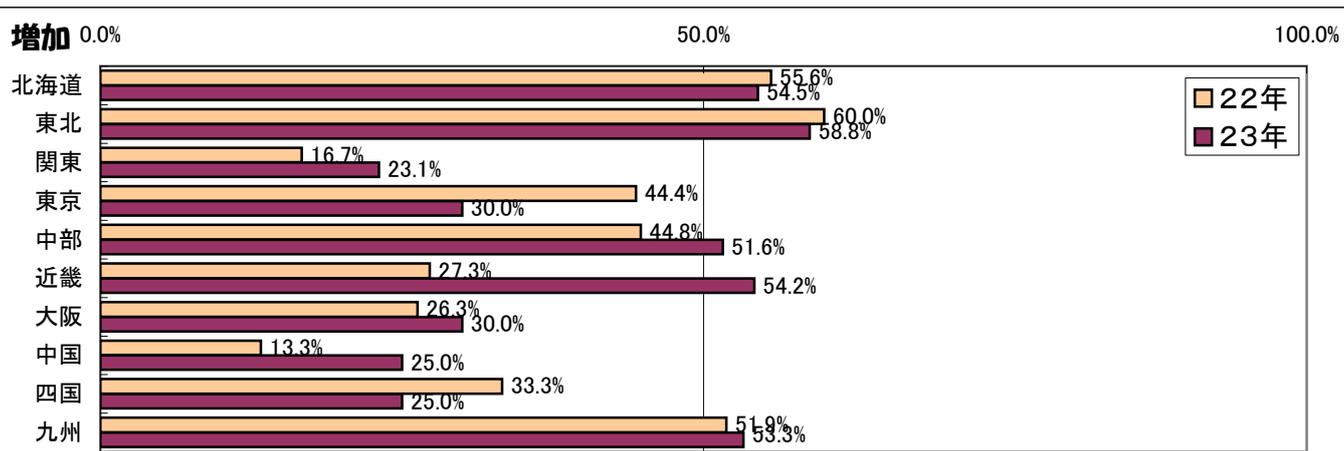
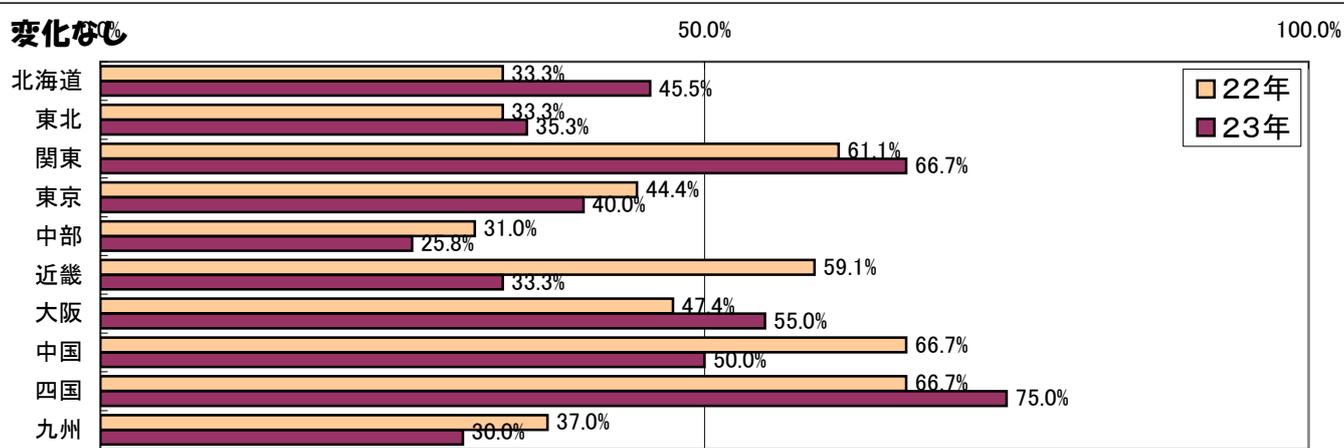
【保育士】 / 正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	11.1%	36.4%	44.4%	36.4%	44.4%	27.3%	0.0%	11
東北	13.3%	17.6%	40.0%	5.9%	46.7%	70.6%	5.9%	17
関東	0.0%	2.6%	27.8%	35.9%	58.3%	53.8%	7.7%	39
東京	0.0%	0.0%	33.3%	20.0%	66.7%	50.0%	30.0%	10
中部	10.3%	12.9%	37.9%	25.8%	34.5%	58.1%	3.2%	31
近畿	13.6%	16.7%	36.4%	25.0%	36.4%	58.3%	0.0%	24
大阪	5.3%	0.0%	31.6%	25.0%	57.9%	65.0%	10.0%	20
中国	13.3%	0.0%	33.3%	43.8%	40.0%	43.8%	12.5%	16
四国	16.7%	0.0%	50.0%	50.0%	33.3%	50.0%	0.0%	8
九州	14.8%	0.0%	29.6%	33.3%	55.6%	63.3%	3.3%	30
全国	9.1%	7.8%	34.2%	29.6%	48.1%	56.3%	6.3%	206



【保育士】 / 非正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	11.1%	0.0%	33.3%	45.5%	55.6%	54.5%	0.0%	11
東北	6.7%	0.0%	33.3%	35.3%	60.0%	58.8%	5.9%	17
関東	0.0%	2.6%	61.1%	66.7%	16.7%	23.1%	7.7%	39
東京	0.0%	0.0%	44.4%	40.0%	44.4%	30.0%	30.0%	10
中部	0.0%	6.5%	31.0%	25.8%	44.8%	51.6%	16.1%	31
近畿	0.0%	4.2%	59.1%	33.3%	27.3%	54.2%	8.3%	24
大阪	5.3%	0.0%	47.4%	55.0%	26.3%	30.0%	15.0%	20
中国	6.7%	12.5%	66.7%	50.0%	13.3%	25.0%	12.5%	16
四国	0.0%	0.0%	66.7%	75.0%	33.3%	25.0%	0.0%	8
九州	7.4%	13.3%	37.0%	30.0%	51.9%	53.3%	3.3%	30
全国	3.2%	4.9%	47.6%	44.2%	35.3%	41.3%	9.7%	206



## 保育士の平成23年度の就職・採用活動について 前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)

### ① 具体的な変化の内容

－選択肢別回答数および概要－

#### ○雇用形態【37件】

「非正規雇用」に関する回答が今年も全国から多数寄せられた一方、「正規雇用」「処遇の改善」「求人数の増加」と回答する短大も多く見られた。企業立の保育園の増加に伴う、求人数の増加、求人への早期化、長期化も報告されている。

- 主な回答：①非正規雇用の増加と高い非正規雇用率（17件）  
②求人数の増加・企業立保育園からの求人増加（6件）  
③正規雇用の増加と雇用条件の改善（4件）

その他の回答例－「雇用形態が明記されないままでの採用」、「4月の配属が幼稚園か保育園が分からない法人採用の増加」、「採用条件に要幼稚園免許所持の求人の増加」、「公立保育園希望者の増加と公立保育園の採用形態（臨時雇用が多い）」など。

#### ○処遇【7件】

「低賃金」、「長時間労働」、「給与形態が日給月給、時間給」などの処遇問題が今年も見られたが、「給与改善」「処遇改善」などの回答も4件見られた。

#### ○学生の就労意識【29件】

「早めの就職活動による職業意識の向上」や「選択肢を広げた多彩な職場へのチャレンジ」などの成功例の報告と共に、例年報告されている学生の就労意識の低下、男子学生の意欲を削ぐ施設の高い壁などの事例も報告されている。

- 主な回答：①就労意識の高まり等（7件）  
②就労意識の低下等（7件）

その他の回答例－「就労に自信が持てない学生」、「職場の人間関係を過度に意識する学生」「職場における責任回避（単数担任を避けるなど）の傾向」「自主的に就職活動できない学生」「現場の新人指導に疑問を感じる」など。

#### ○その他【35件】

企業立の保育園からの求人増と、それに伴う求人時期の早期化傾向が見られる。また、派遣会社からの求人が増加するなど、学生の選択肢が大幅に増え、その結果、自己の進路を

しっかり見据えないままの進路選択を行い、研修開始後にミスマッチを起こすなどの問題も報告されている。

主な回答：①求人件数・求人数の大幅増加（17件）

②求人時期の早期化（6件）

その他の回答例－「就職活動しないままの内定」「情報の氾濫による学生の迷い」「簡単に就職できるイメージを持つ学生」「求人票に正規・非正規が明記されていない求人票」「専門職以外を希望する学生」「男子学生の就職難」「地域の保育園による、保育者合同説明会の開催」など。

## ② 雇用者側の対応に苦慮した事例

「求人数の大幅増により、園からの求人に対応できず苦慮した。」との回答が、全回答数44校の1/3にあたる13校であった。

その他の主な回答：①内定時、内定後の雇用条件変更（7件）

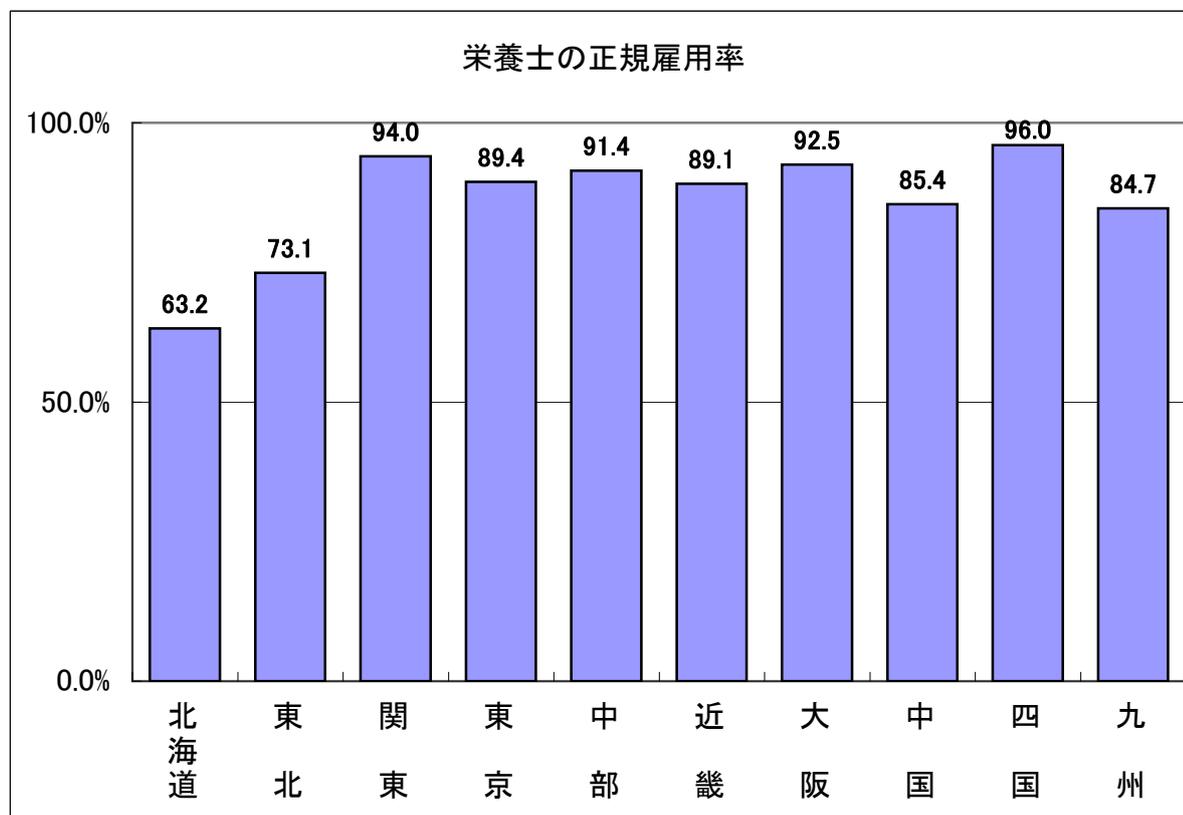
②雇用条件が文書化されない求人（4件）

③内定研修の長期化（3件）

また、「同じ企業立保育園で、同時に二人の退職者が出たため、辞退理由など強く追及された。」「研修を二日休んだことで内定を取り消された。」「園長の不備により当日連絡もなく採用試験が行われなかった。」「書類を受け付けたが、試験を実施しなかった。」など問題のある事例も報告された。

栄養士の地域別雇用形態の状況（１）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	3,241	2,817	424	86.9%
北海道	152	96	56	63.2%
東 北	268	196	72	73.1%
関 東	398	374	24	94.0%
東 京	526	470	56	89.4%
中 部	549	502	47	91.4%
近 畿	276	246	30	89.1%
大 阪	120	111	9	92.5%
中 国	206	176	30	85.4%
四 国	125	120	5	96.0%
九 州	621	526	95	84.7%

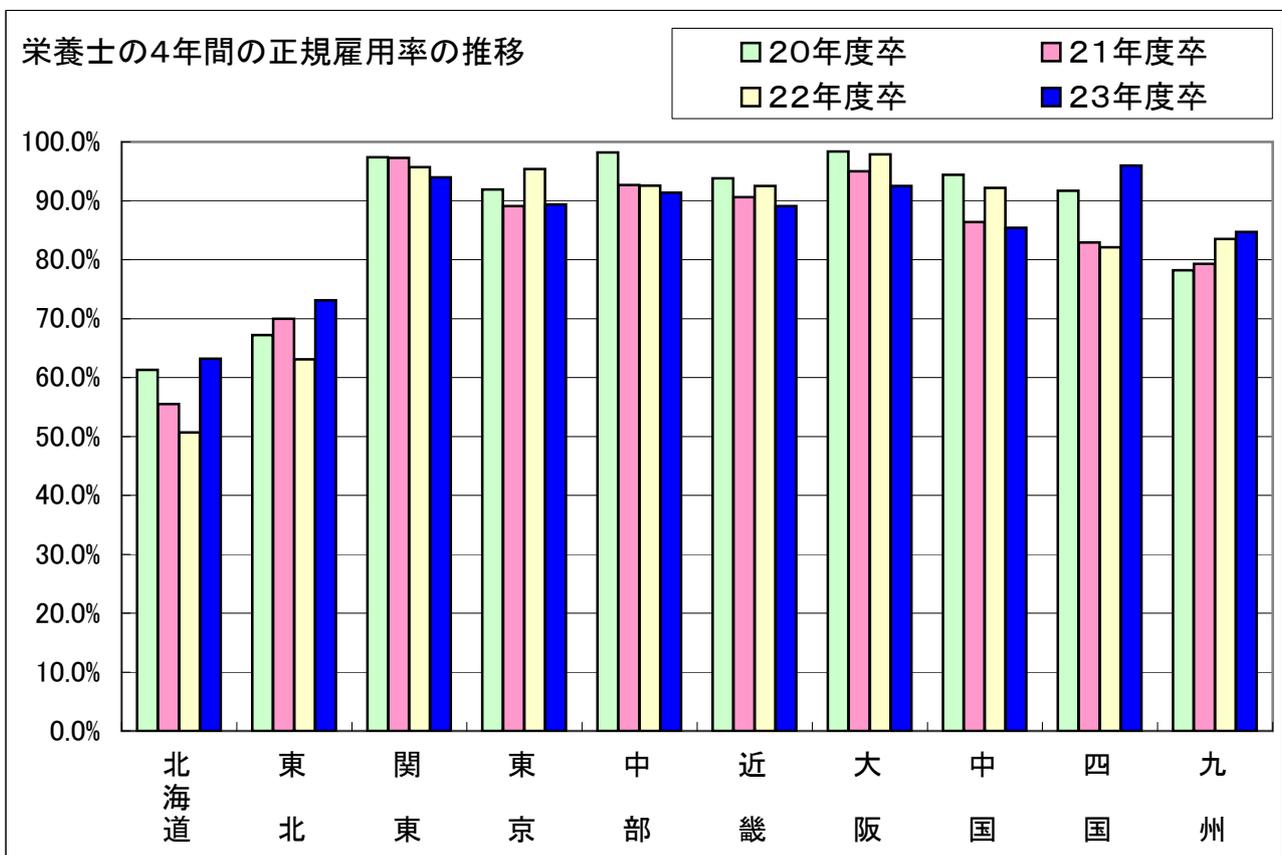


栄養士の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者	非正規 雇用者	私立計	正規 雇用者	非正規 雇用者
全 国	3,241	55	26	29	3,186	2,791	395
	100.0%	1.7%	0.8%	0.9%	98.3%	86.1%	12.2%
		100.0%	47.3%	52.7%	100.0%	87.6%	12.4%
北海道	152	3	1	2	149	95	54
	100.0%	2.0%	0.7%	1.3%	98.0%	62.5%	35.5%
		100.0%	33.3%	66.7%	100.0%	63.8%	36.2%
東 北	268	3	2	1	265	194	71
	100.0%	1.1%	0.7%	0.4%	98.9%	72.4%	26.5%
		100.0%	66.7%	33.3%	100.0%	73.2%	26.8%
関 東	398	19	15	4	379	359	20
	100.0%	4.8%	3.8%	1.0%	95.2%	90.2%	5.0%
		100.0%	78.9%	21.1%	100.0%	94.7%	5.3%
東 京	526	15	7	8	511	463	48
	100.0%	2.9%	1.3%	1.5%	97.1%	88.0%	9.1%
		100.0%	46.7%	53.3%	100.0%	90.6%	9.4%
中 部	549	3	0	3	546	502	44
	100.0%	0.5%	0.0%	0.5%	99.5%	91.4%	8.0%
		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	91.9%	8.1%
近 畿	276	3	0	3	273	246	27
	100.0%	1.1%	0.0%	1.1%	98.9%	89.1%	9.8%
		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	90.1%	9.9%
大 阪	120	0	0	0	120	111	9
	100.0%				100.0%	92.5%	7.5%
中 国	206	3	1	2	203	175	28
	100.0%	1.5%	0.5%	1.0%	98.5%	85.0%	13.6%
		100.0%	33.3%	66.7%	100.0%	86.2%	13.8%
四 国	125	0	0	0	125	120	5
	100.0%				100.0%	96.0%	4.0%
九 州	621	6	0	6	615	526	89
	100.0%	1.0%	0.0%	1.0%	99.0%	84.7%	14.3%
		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	85.5%	14.5%

## 栄養士の正規雇用率の推移

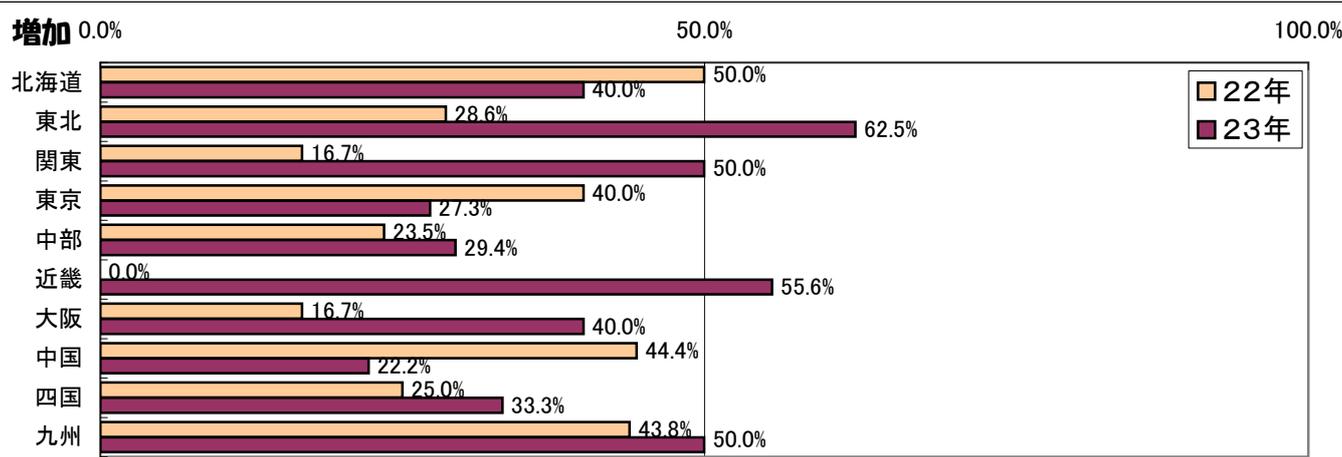
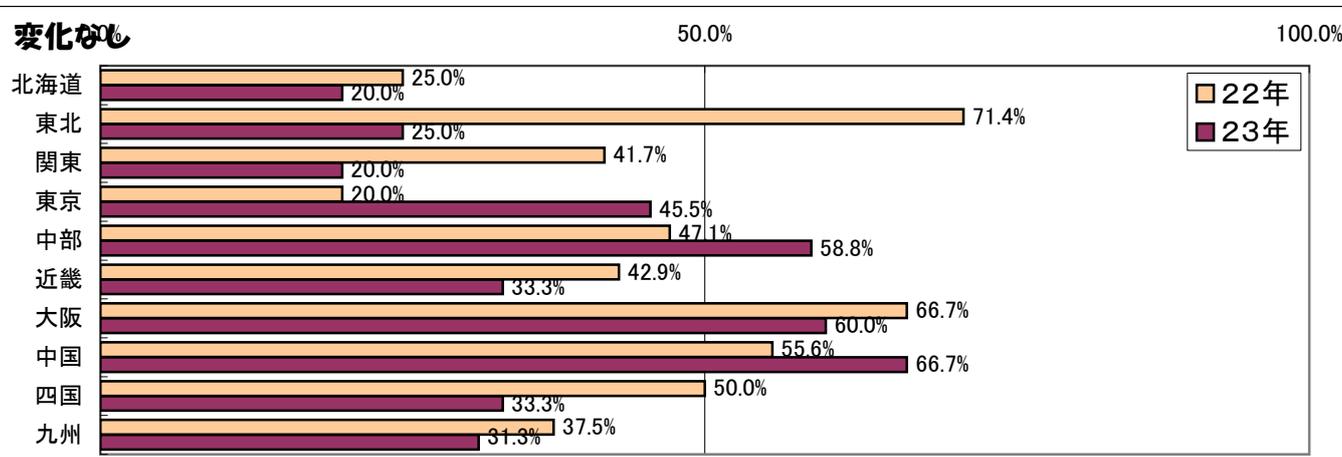
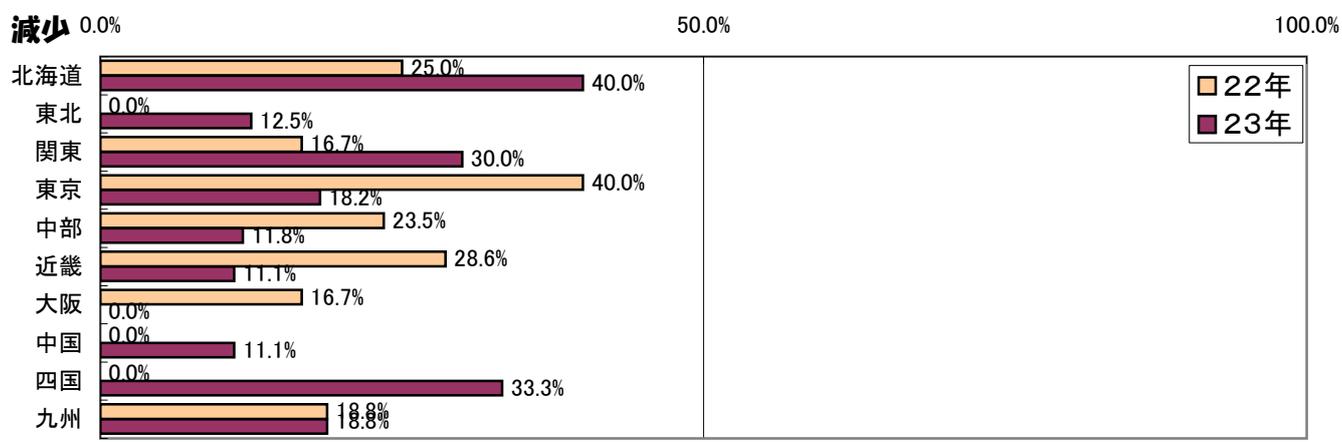
	就職決定者数				正規雇用率			
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒
北海道	111	119	136	152	61.3%	55.5%	50.7%	63.2%
東北	253	263	244	268	67.2%	70.0%	63.1%	73.1%
関東	719	477	373	398	97.4%	97.3%	95.7%	94.0%
東京	470	459	477	526	91.9%	89.1%	95.4%	89.4%
中部	548	537	512	549	98.2%	92.7%	92.6%	91.4%
近畿	144	191	213	276	93.8%	90.6%	92.5%	89.1%
大阪	129	139	141	120	98.4%	95.0%	97.9%	92.5%
中国	178	162	219	206	94.4%	86.4%	92.2%	85.4%
四国	169	140	106	125	91.7%	82.9%	82.1%	96.0%
九州	652	604	581	621	78.2%	79.3%	83.5%	84.7%
<b>全国</b>	<b>3,373</b>	<b>3,091</b>	<b>3,002</b>	<b>3,241</b>	<b>89.0%</b>	<b>86.1%</b>	<b>87.2%</b>	<b>86.9%</b>



《平成23年度の求人件数の増減傾向について前年度(22年度)と比較しての変化》

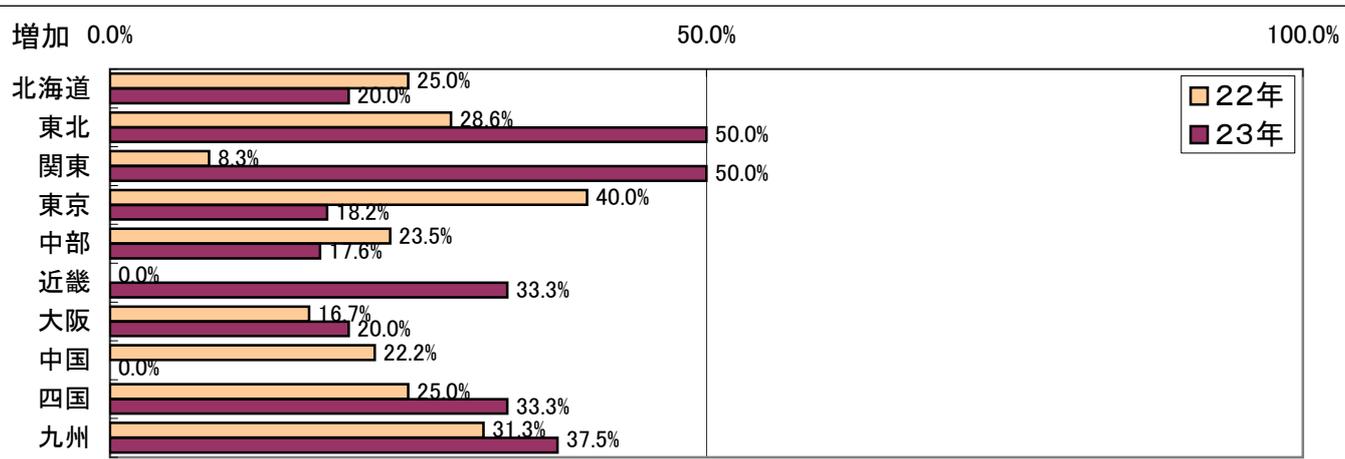
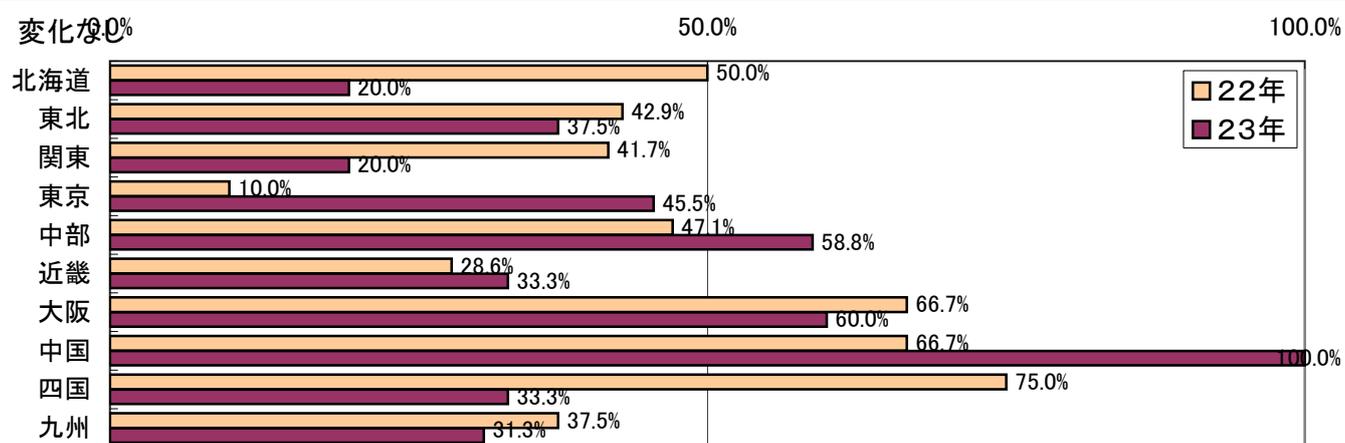
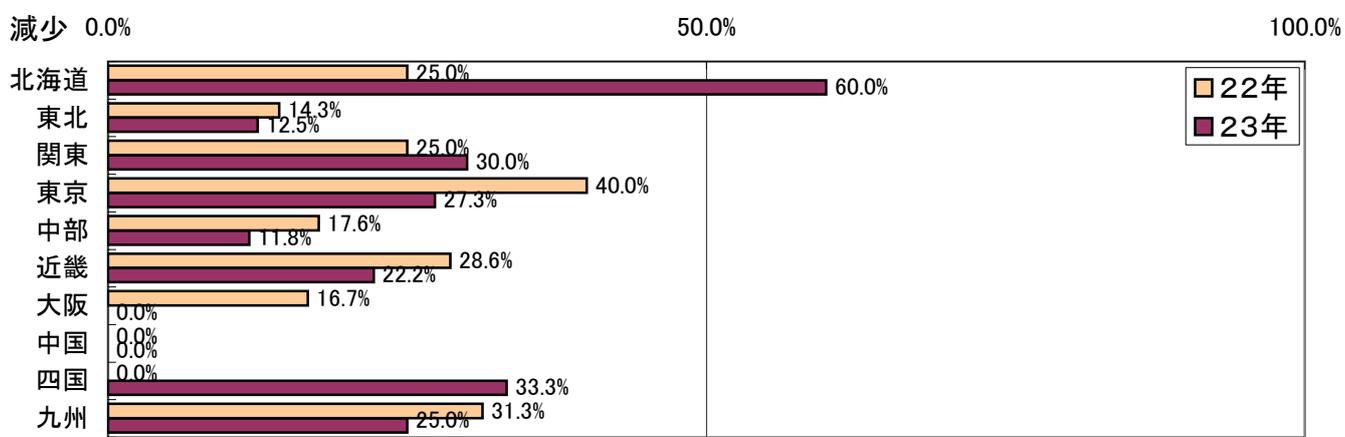
【栄養士】 / 求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	25.0%	40.0%	25.0%	20.0%	50.0%	40.0%	0.0%	5
東北	0.0%	12.5%	71.4%	25.0%	28.6%	62.5%	0.0%	8
関東	16.7%	30.0%	41.7%	20.0%	16.7%	50.0%	0.0%	10
東京	40.0%	18.2%	20.0%	45.5%	40.0%	27.3%	9.1%	11
中部	23.5%	11.8%	47.1%	58.8%	23.5%	29.4%	0.0%	17
近畿	28.6%	11.1%	42.9%	33.3%	0.0%	55.6%	0.0%	9
大阪	16.7%	0.0%	66.7%	60.0%	16.7%	40.0%	0.0%	5
中国	0.0%	11.1%	55.6%	66.7%	44.4%	22.2%	0.0%	9
四国	0.0%	33.3%	50.0%	33.3%	25.0%	33.3%	0.0%	6
九州	18.8%	18.8%	37.5%	31.3%	43.8%	50.0%	0.0%	16
全国	18.5%	17.7%	44.6%	40.6%	29.3%	40.6%	1.0%	96



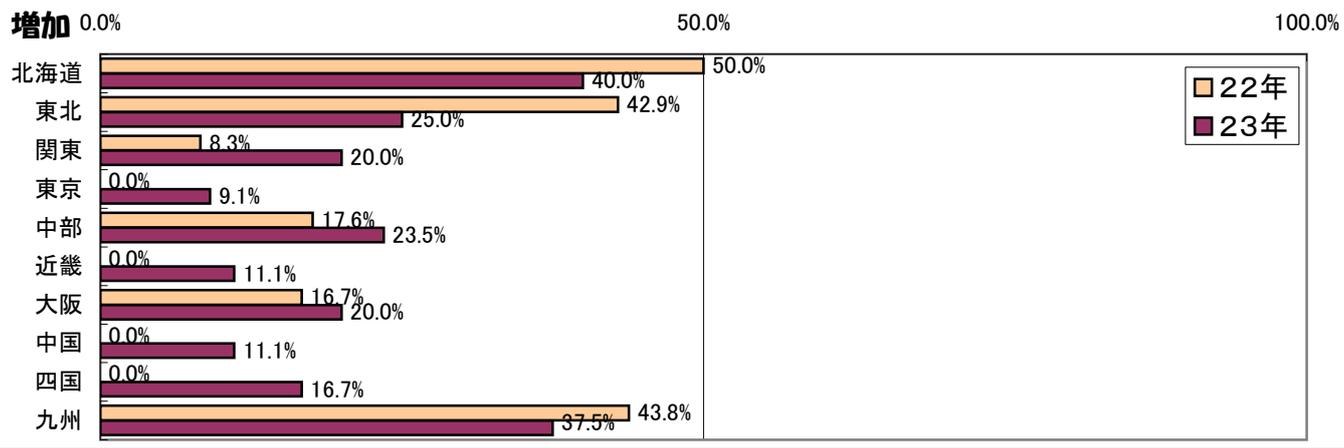
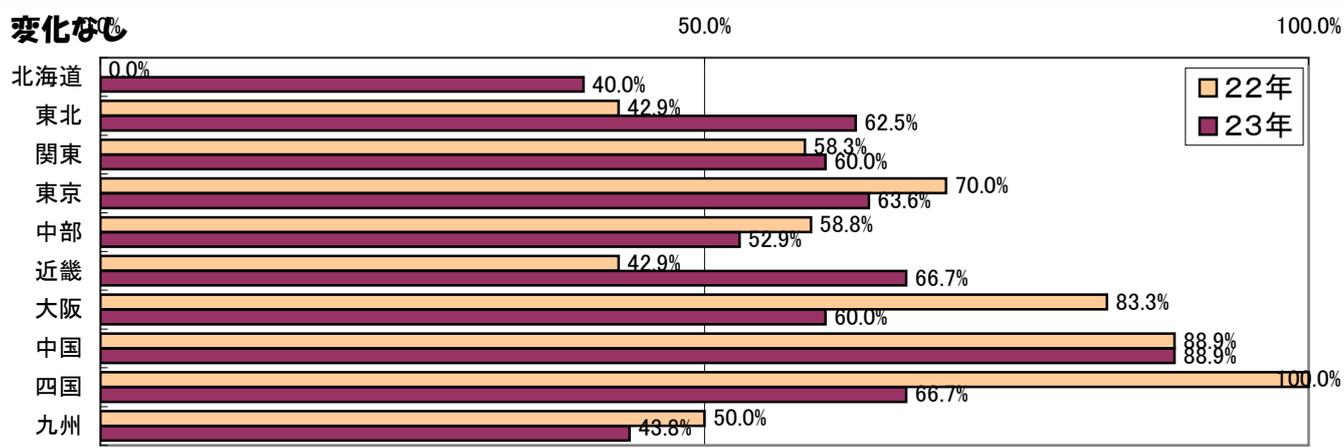
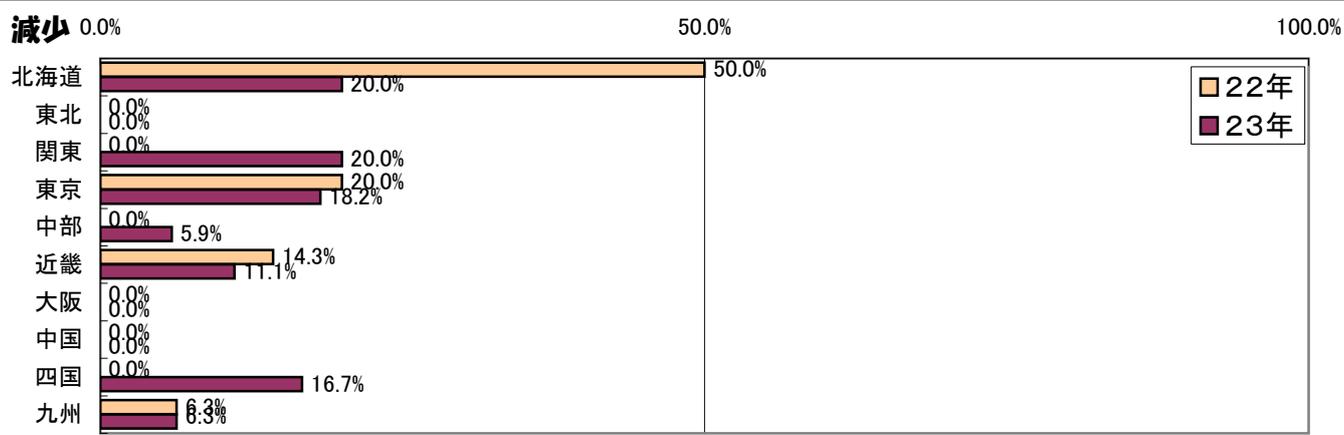
【栄養士】 / 正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	25.0%	60.0%	50.0%	20.0%	25.0%	20.0%	0.0%	5
東北	14.3%	12.5%	42.9%	37.5%	28.6%	50.0%	0.0%	8
関東	25.0%	30.0%	41.7%	20.0%	8.3%	50.0%	0.0%	10
東京	40.0%	27.3%	10.0%	45.5%	40.0%	18.2%	9.1%	11
中部	17.6%	11.8%	47.1%	58.8%	23.5%	17.6%	11.8%	17
近畿	28.6%	22.2%	28.6%	33.3%	0.0%	33.3%	11.1%	9
大阪	16.7%	0.0%	66.7%	60.0%	16.7%	20.0%	20.0%	5
中国	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%	22.2%	0.0%	0.0%	9
四国	0.0%	33.3%	75.0%	33.3%	25.0%	33.3%	0.0%	6
九州	31.3%	25.0%	37.5%	31.3%	31.3%	37.5%	6.3%	16
全国	21.7%	20.8%	43.5%	44.8%	22.8%	28.1%	6.3%	96



【栄養士】 / 非正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	50.0%	20.0%	0.0%	40.0%	50.0%	40.0%	0.0%	5
東北	0.0%	0.0%	42.9%	62.5%	42.9%	25.0%	12.5%	8
関東	0.0%	20.0%	58.3%	60.0%	8.3%	20.0%	0.0%	10
東京	20.0%	18.2%	70.0%	63.6%	0.0%	9.1%	9.1%	11
中部	0.0%	5.9%	58.8%	52.9%	17.6%	23.5%	17.6%	17
近畿	14.3%	11.1%	42.9%	66.7%	0.0%	11.1%	11.1%	9
大阪	0.0%	0.0%	83.3%	60.0%	16.7%	20.0%	20.0%	5
中国	0.0%	0.0%	88.9%	88.9%	0.0%	11.1%	0.0%	9
四国	0.0%	16.7%	100.0%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	6
九州	6.3%	6.3%	50.0%	43.8%	43.8%	37.5%	12.5%	16
全国	6.5%	9.4%	59.8%	59.4%	18.5%	21.9%	9.4%	96



## 栄養士の平成23年度の就職・採用活動について 前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)

### ① 具体的な変化の内容 ー集計回答校数：64短期大学ー

#### ○雇用形態について

地域ごとに見ると特徴的な部分も散見できるが、全般的に、福祉施設及び病院等からの直接雇用の求人が減少し、給食業務受託会社等の請負型企業からの求人が相変わらず増加傾向にあると言える。

雇用形態については契約社員等の非正規雇用を含む雇用形態の多様化が進行している。

管理栄養士採用傾向の現出とそれに伴う栄養士採用枠減少の傾向は今回の調査では散見できる程度であるが、大きな流れとしては注目しておく必要がある。

#### ○処遇について

全般的に低賃金であり、特に給食業務受託会社等の請負型企業の賃金は低いことが今回の調査からも指摘されている。例年この低賃金についての栄養士養成校からの指摘にも関わらず改善が見られない。今回の調査でも指摘があったが、若い女性にとっては受入れ難い勤務状況（土曜・日曜日、休日の出勤、早朝から、或いは夜遅くにまで及ぶ勤務）を考慮するならば、この低賃金問題については本腰を入れた取組みが必要である。

栄養士という専門職で採用されながら実態は調理員であるという指摘は今回もなされている。“資格は栄養士であるが、実態は調理員”といった状況が既成事実化している。栄養士の周辺の職業、例えば管理栄養士や調理師との業務区分をどのように図っていくのかがこれからの課題である。

#### ○学生の就労意識について

学生の就労意識の低下が指摘されて久しい。就労意識の低下に呼応するように栄養士に対する就労意識にもさまざまな揺らぎが見られることが報告されている。その具体例は下記のとおりである。栄養士か一般事務かどちらに適性があるか決められず、卒業間際まで葛藤するもの、実習現場を体験することにより自信を失くすもの、給与が低いところが多いので、無理に栄養士にならなくても今のバイトを続ける方がいいと判断するもの、一般企業で採用に至らず栄養士に切り替えるもの、逆に栄養士を続けることに自信を失くしたり、待遇が悪いことを理由に、或いは栄養士としての職務適性に欠けることが判明したという理由から、栄養士から一般企業への就職に方向転換するもの等である。

一般的には就労意識の低下が叫ばれているが、他方就職意識が高く、早く内定を得て、他の学生の就職活動を牽引する形になった例が報告されており、学生の就労意識は二極化が進んでいるものと考えられる。

もう一つの特徴として、強い地元志向が報告されている。昨今の経済状況の低迷と雇用の不安定さがこの傾向を助長させている。

また、就労意識の低さと雇用の不安定さが学生の就職活動開始時期を遅らせている。

## ○その他

地域ごとに見ると特徴的な部分も散見できるが、ここでは全国に共通する話題として2つの報告を紹介する。一つは、就職活動の初期段階では採用されないが、追加・欠員募集といった遅い時期の採用で何とか採用される、この原因には四大生との競合にあるのではないかとの報告である。これは、就職の現場における大きな課題の一つである。

もう一つは、不況による退職者減少が採用数の減少という形で短大生の就職活動に影響を与えているのではないかとの指摘である。不況下では真っ先に若者の雇用に大きな影響が現れると言われているが、指摘通りの現象が現れている。

## ②雇用者側の対応に苦慮した事例-集計回答校数：20短期大学-

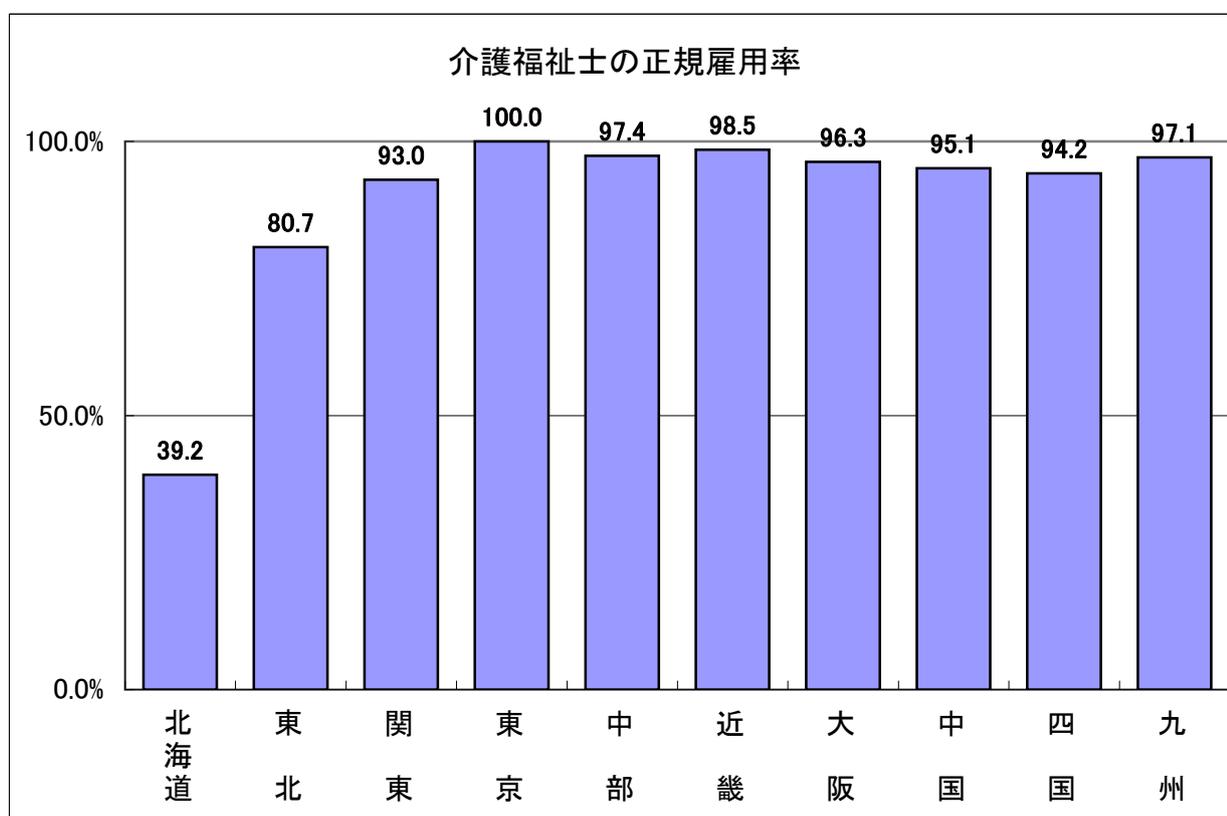
被雇用者を対等な存在として扱っていないと推察される事例が報告されている。具体例は下記のとおりである。求人票に記載の採用職種と異なる職種での内定（栄養士→介護員等）、老人施設における直営の栄養士職に職域以外の宿直や募集以外の介護を求める求人、求人票に正規、非正規の記載がなく、内定し入社する際、非正規採用でと言われたケース、等である。

また、雇用者の都合を一方向的に押し付け、被雇用者の都合を省みようとしていないと推察される事例が報告されている。具体例には、給食受託会社の配属先決定が遅い、受験後採用の合否までの期間が長い企業があり、その間学生は身動きがとれずにいた、採用試験が5次面接まであり8ヶ月を要した、採用試験の日程が延び延びになりその間学生が就活できない、等である。

新しい傾向として今後対応を求められてきている事例が報告されている。具体例には、一般企業の厳選採用傾向と同じく、栄養士の採用も即戦力を求める傾向が強くなってきている、採用試験において一般常識問題の他に専門科目の試験を行う企業が増えた、実技試験があり、レベルの高い調理技術が求められた、等である。

介護福祉士の地域別雇用形態の状況（１）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	1,708	1,583	125	92.7%
北海道	51	20	31	39.2%
東 北	223	180	43	80.7%
関 東	243	226	17	93.0%
東 京	38	38	0	100.0%
中 部	426	415	11	97.4%
近 畿	195	192	3	98.5%
大 阪	109	105	4	96.3%
中 国	41	39	2	95.1%
四 国	103	97	6	94.2%
九 州	279	271	8	97.1%

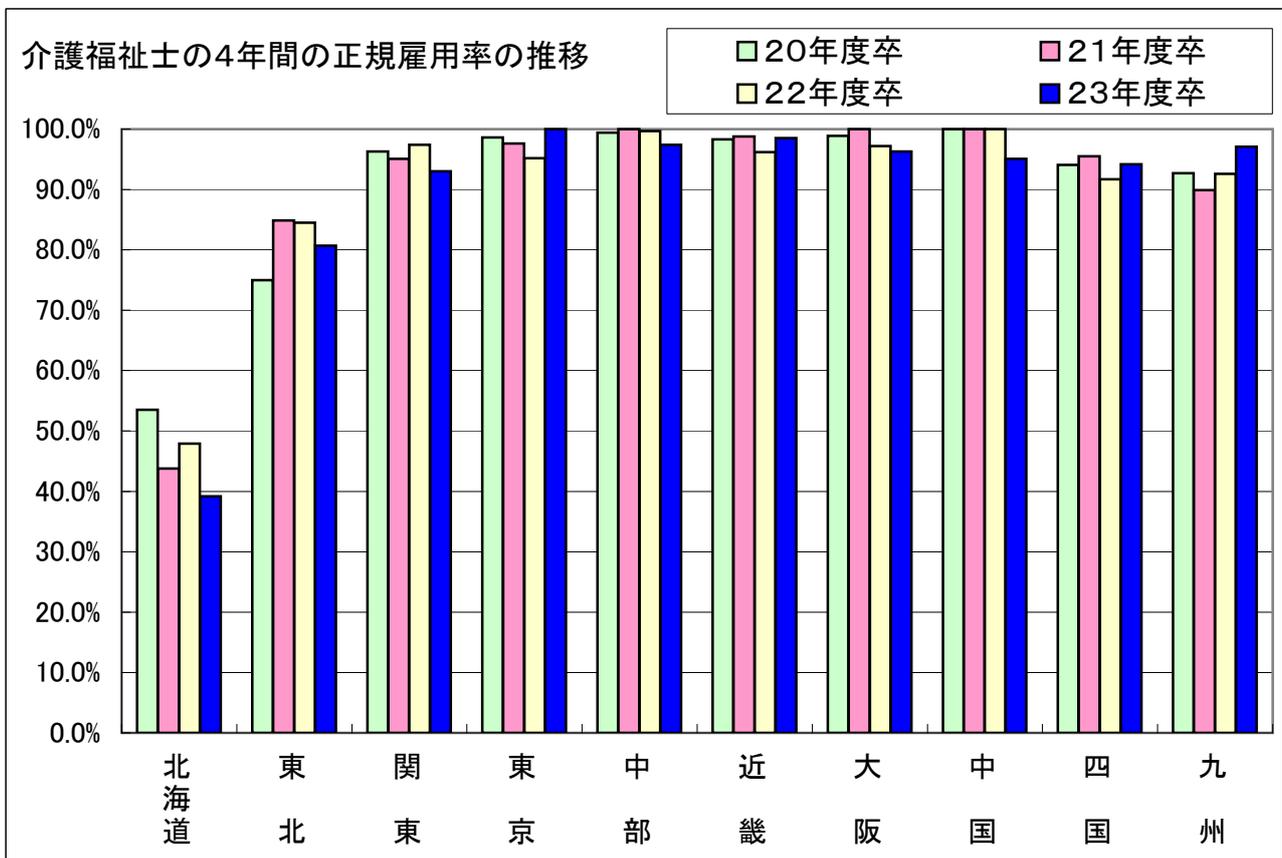


介護福祉士の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者	非正規 雇用者	私立計	正規 雇用者	非正規 雇用者
全 国	1,708	29	22	7	1,679	1,561	118
	100.0%	1.7%	1.3%	0.4%	98.3%	91.4%	6.9%
		100.0%	75.9%	24.1%	100.0%	93.0%	7.0%
北海道	51	8	2	6	43	18	25
	100.0%	15.7%	3.9%	11.8%	84.3%	35.3%	49.0%
		100.0%	25.0%	75.0%	100.0%	41.9%	58.1%
東 北	223	0	0	0	223	180	43
	100.0%				100.0%	80.7%	19.3%
関 東	243	0	0	0	243	226	17
	100.0%				100.0%	93.0%	7.0%
東 京	38	1	1	0	37	37	0
	100.0%	2.6%	2.6%	0.0%	97.4%	97.4%	0.0%
		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
中 部	426	12	11	1	414	404	10
	100.0%	2.8%	2.6%	0.2%	97.2%	94.8%	2.3%
		100.0%	91.7%	8.3%	100.0%	97.6%	2.4%
近 畿	195	2	2	0	193	190	3
	100.0%	1.0%	1.0%	0.0%	99.0%	97.4%	1.5%
		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	98.4%	1.6%
大 阪	109	1	1	0	108	104	4
	100.0%	0.9%	0.9%	0.0%	99.1%	95.4%	3.7%
		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	96.3%	3.7%
中 国	41	0	0	0	41	39	2
	100.0%				100.0%	95.1%	4.9%
四 国	103	0	0	0	103	97	6
	100.0%				100.0%	94.2%	5.8%
九 州	279	5	5	0	274	266	8
	100.0%	1.8%	1.8%	0.0%	98.2%	95.3%	2.9%
		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	97.1%	2.9%

介護福祉士の正規雇用率の推移

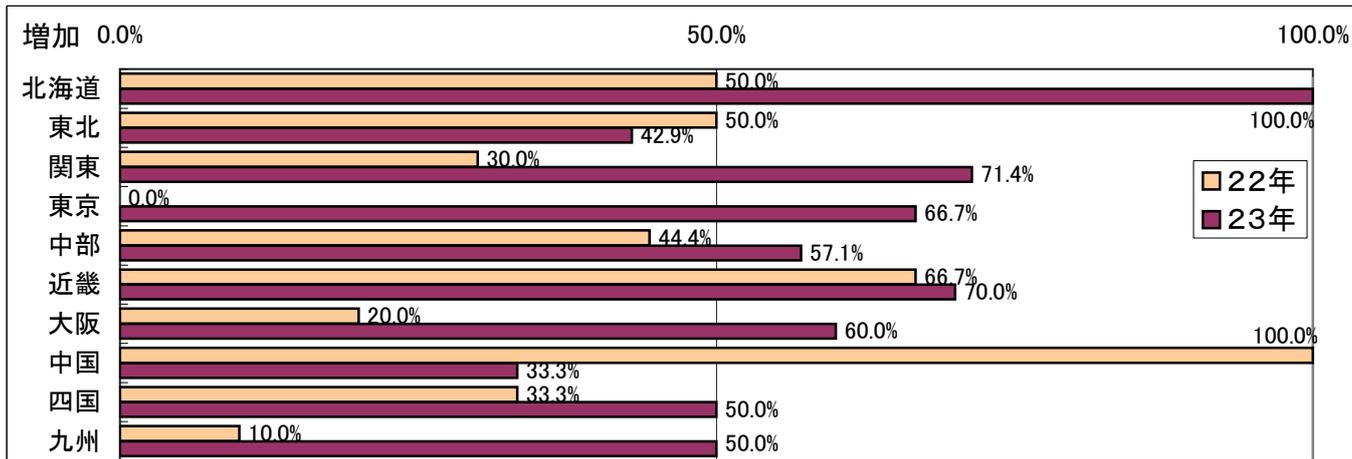
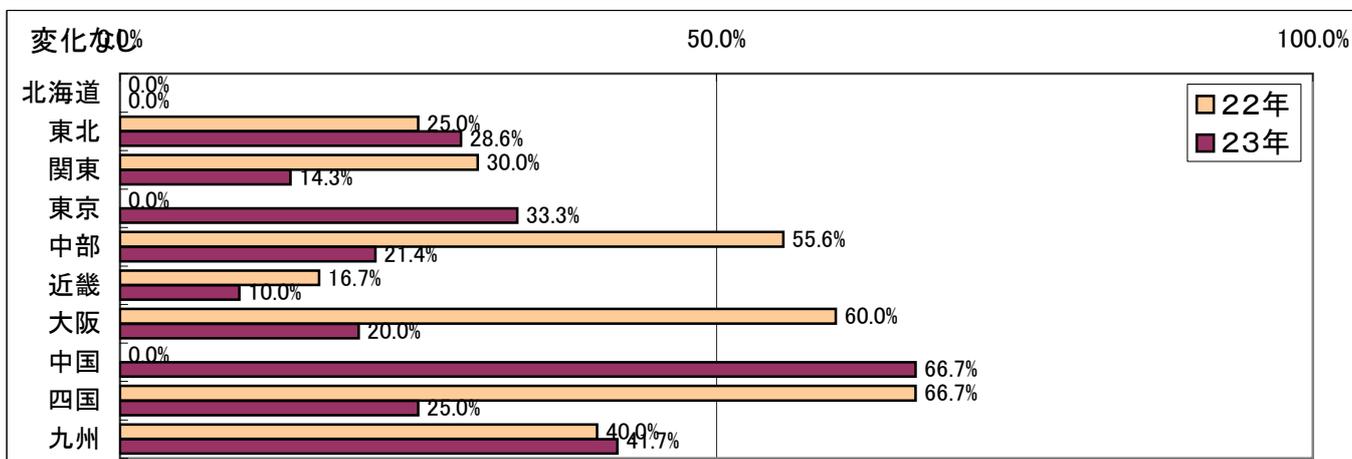
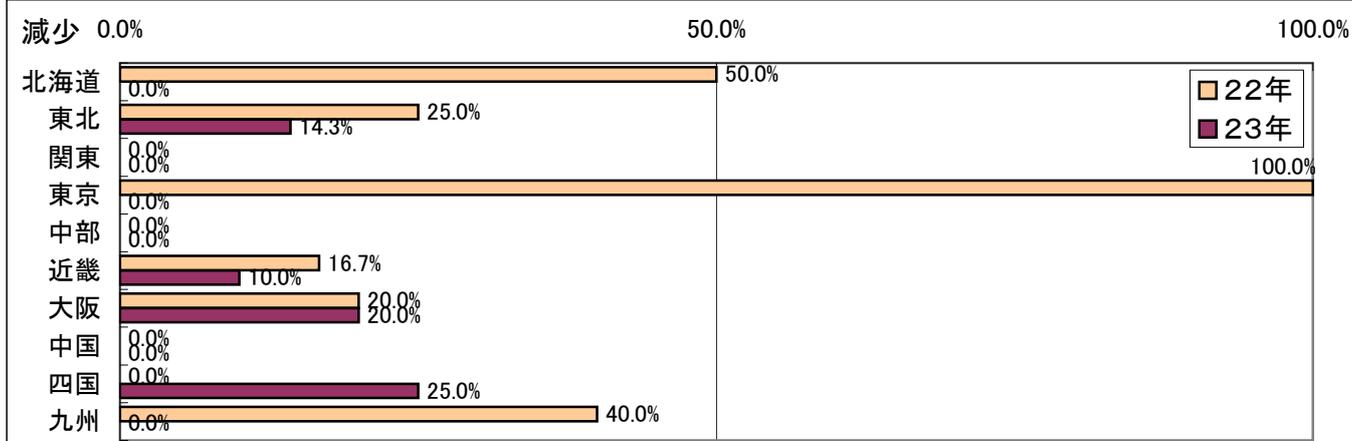
	就職決定者数				正規雇用率			
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒	23年度卒
北海道	43	32	48	51	53.5%	43.8%	47.9%	39.2%
東北	224	192	161	223	75.0%	84.9%	84.5%	80.7%
関東	455	304	229	243	96.3%	95.1%	97.4%	93.0%
東京	140	82	63	38	98.6%	97.6%	95.2%	100.0%
中部	537	367	324	426	99.4%	100.0%	99.7%	97.4%
近畿	174	169	213	195	98.3%	98.8%	96.2%	98.5%
大阪	190	141	107	109	98.9%	100.0%	97.2%	96.3%
中国	77	49	42	41	100.0%	100.0%	100.0%	95.1%
四国	102	66	84	103	94.1%	95.5%	91.7%	94.2%
九州	218	188	189	279	92.7%	89.9%	92.6%	97.1%
全国	2,160	1,590	1,460	1,708	94.2%	94.5%	93.7%	92.7%



《平成23年度の求人件数の増減傾向について前年度(22年度)と比較しての変化》

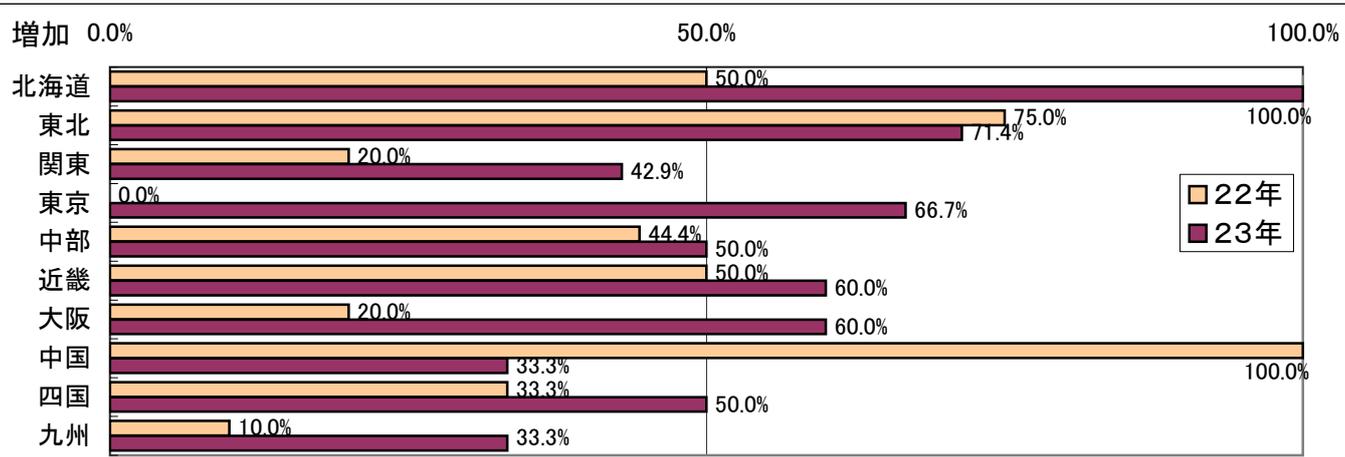
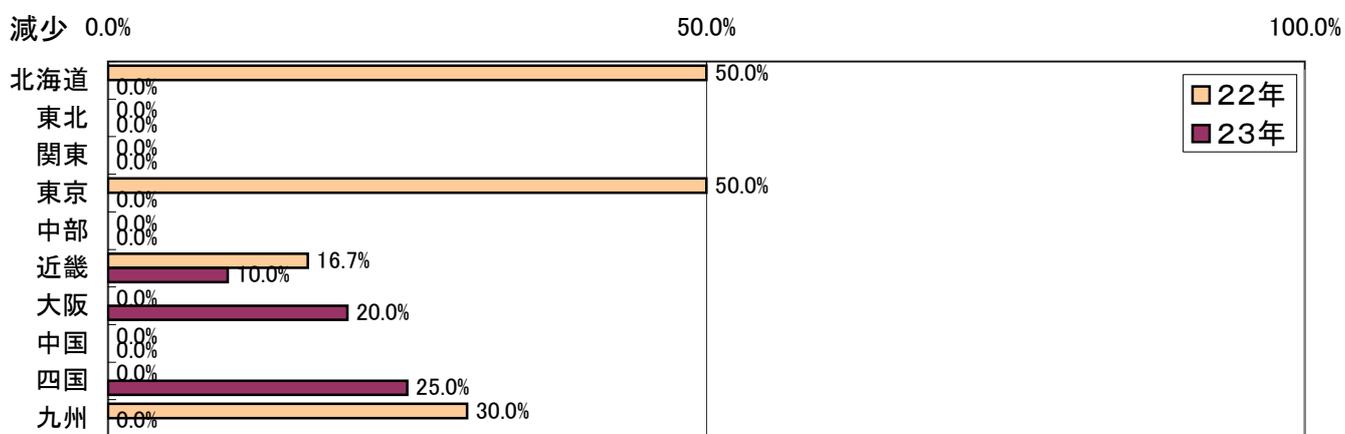
【介護福祉士】 / 求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	2
東北	25.0%	14.3%	25.0%	28.6%	50.0%	42.9%	14.3%	7
関東	0.0%	0.0%	30.0%	14.3%	30.0%	71.4%	14.3%	7
東京	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	3
中部	0.0%	0.0%	55.6%	21.4%	44.4%	57.1%	21.4%	14
近畿	16.7%	10.0%	16.7%	10.0%	66.7%	70.0%	10.0%	10
大阪	20.0%	20.0%	60.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	5
中国	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%	33.3%	0.0%	3
四国	0.0%	25.0%	66.7%	25.0%	33.3%	50.0%	0.0%	4
九州	40.0%	0.0%	40.0%	41.7%	10.0%	50.0%	8.3%	12
全国	18.9%	6.0%	35.8%	25.4%	35.8%	58.2%	10.4%	67



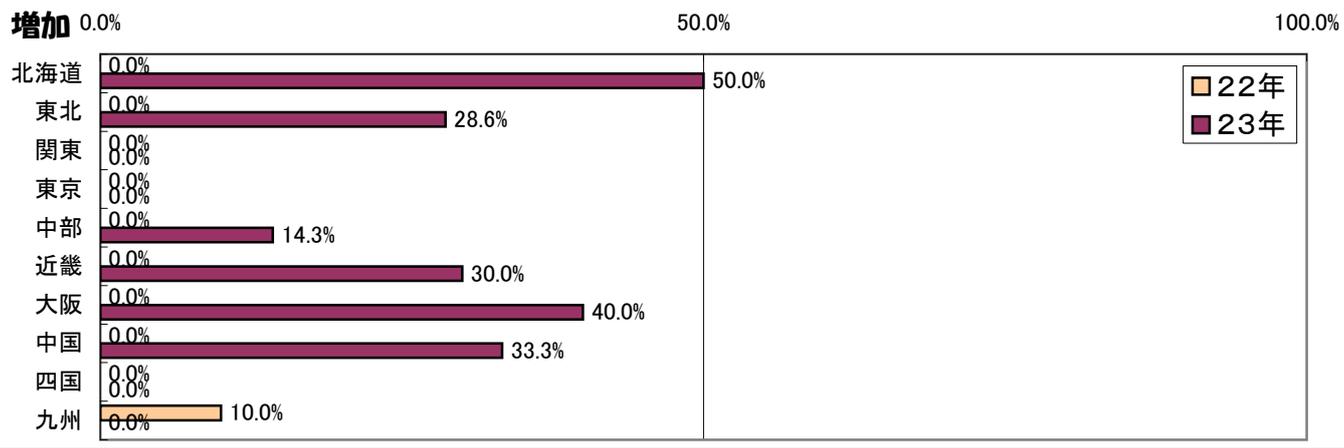
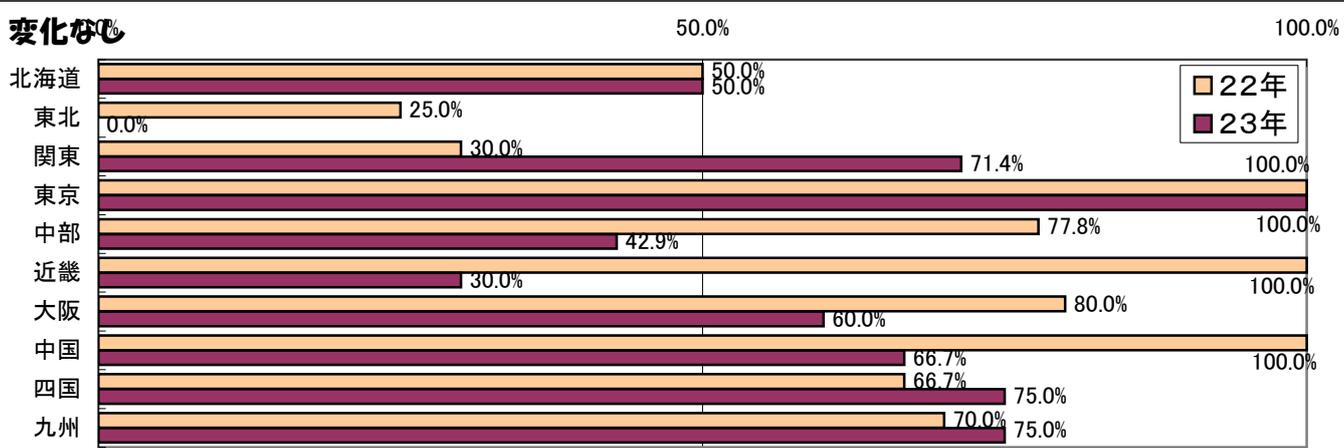
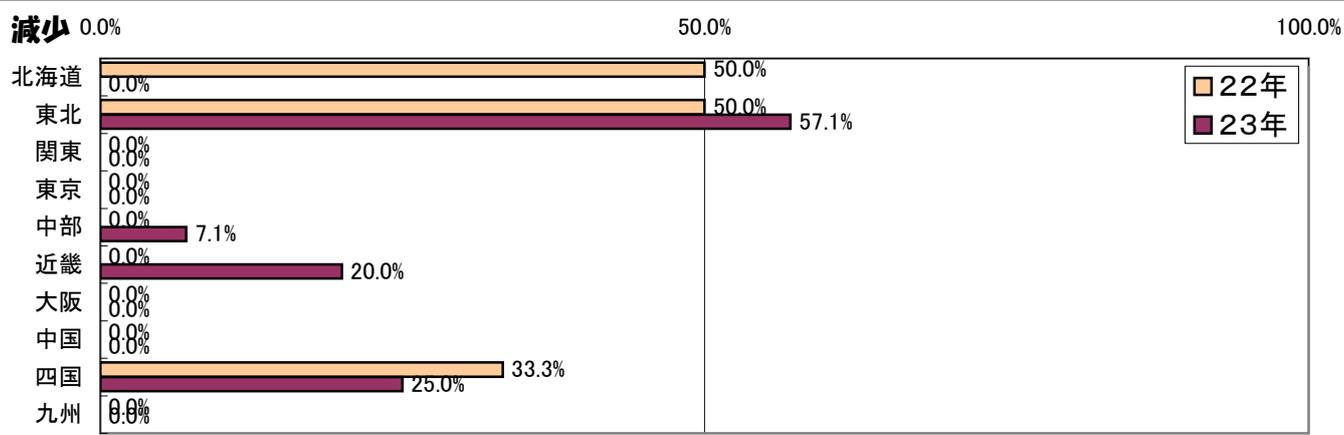
【介護福祉士】 / 正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	2
東北	0.0%	0.0%	25.0%	14.3%	75.0%	71.4%	14.3%	7
関東	0.0%	0.0%	20.0%	28.6%	20.0%	42.9%	28.6%	7
東京	50.0%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	3
中部	0.0%	0.0%	55.6%	35.7%	44.4%	50.0%	14.3%	14
近畿	16.7%	10.0%	33.3%	20.0%	50.0%	60.0%	10.0%	10
大阪	0.0%	20.0%	80.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	5
中国	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%	33.3%	0.0%	3
四国	0.0%	25.0%	66.7%	25.0%	33.3%	50.0%	0.0%	4
九州	30.0%	0.0%	40.0%	50.0%	10.0%	33.3%	16.7%	12
全国	11.3%	4.5%	39.6%	31.3%	34.0%	52.2%	11.9%	67



【介護福祉士】 / 非正規雇用求人件数

	減少		変化なし		増加		無回答	集計件数
	22年	23年	22年	23年	22年	23年	23年	23年
北海道	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	2
東北	50.0%	57.1%	25.0%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	7
関東	0.0%	0.0%	30.0%	71.4%	0.0%	0.0%	28.6%	7
東京	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
中部	0.0%	7.1%	77.8%	42.9%	0.0%	14.3%	35.7%	14
近畿	0.0%	20.0%	100.0%	30.0%	0.0%	30.0%	20.0%	10
大阪	0.0%	0.0%	80.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	5
中国	0.0%	0.0%	100.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	3
四国	33.3%	25.0%	66.7%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4
九州	0.0%	0.0%	70.0%	75.0%	10.0%	0.0%	25.0%	12
全国	7.5%	11.9%	66.0%	52.2%	1.9%	16.4%	19.4%	67



## 介護福祉士の平成23年度の就職・採用活動について 前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)

介護福祉士養成校からの回答のみならず、専攻科開設校や介護福祉士の資格を持たずに介護職員として就職した状況なども寄せられていたので、併せて集計対象とした。

高齢社会が一層進む中で、介護職の就職需要は増大しているが、一方で、その担い手となる介護福祉士等の資格を積極的に取得し、福祉専門職として社会で活躍しようとする学生の確保については、雇用条件や誤った認識の広がり等により困難となっている。我が国の高齢福祉を支える重要な専門職として社会において正しい認識を再形成し、入学者確保に向けて養成校並びに高齢者施設、関係機関が連携して取り組むことが強く求められるところである。

### ① 具体的な変化の内容【35件】

#### ○雇用形態【6件】

ほとんどが正規採用であるが、地域の事情にもより非正規採用が多いところもあるようである。

#### ○処遇【6件】

数年前より少しずつ処遇面での改善が報告されているが、今回も改善されているとの報告がほとんどであり、毎年わずかずつではあるが良い方向に向かっているものと思われる。介護を要する高齢者数に対して介護職員が大幅に不足している現状から考えて当然のことであり、段階的にはあっても更なる処遇改善が望まれるところである。

法令・制度・政策が直接反映される職種であることから、国に対してより一層の福祉施策の充実・進展を求めたい。

#### ○学生の就労意識【13件】

以前より夜勤のない雇用形態を望む学生が増えているとの報告が続いているが、今回も同様の報告がなされている。介護職というものの認識が多様化しているのか、専門職としての意識が低下しているのか気になりなところである。

勤労意識の高低については報告されている13件の中ではほぼ同率である。処遇面での地域性や各校の取組状況などが反映している結果であろうと思われる。

## ○その他【10件】

「求人は対応しきれないほど多くあるが、希望する学生が少ない」、「デイサービスが急増」、「県外からの求人が増えた」などの状況が寄せられているほかは特に注目すべき報告はない。

## ②雇用者側の対応に苦慮した事例【10件】

主に次の3点に分けることが出来る。

- ・ 求人数は多いが、学生数が少ないため、需要に応えることができない。
- ・ 雇用プログラム等で入学してきた社会人に対する就職斡旋がスムーズに進まない。
- ・ 雇用者側が採用のルールに則っていない。

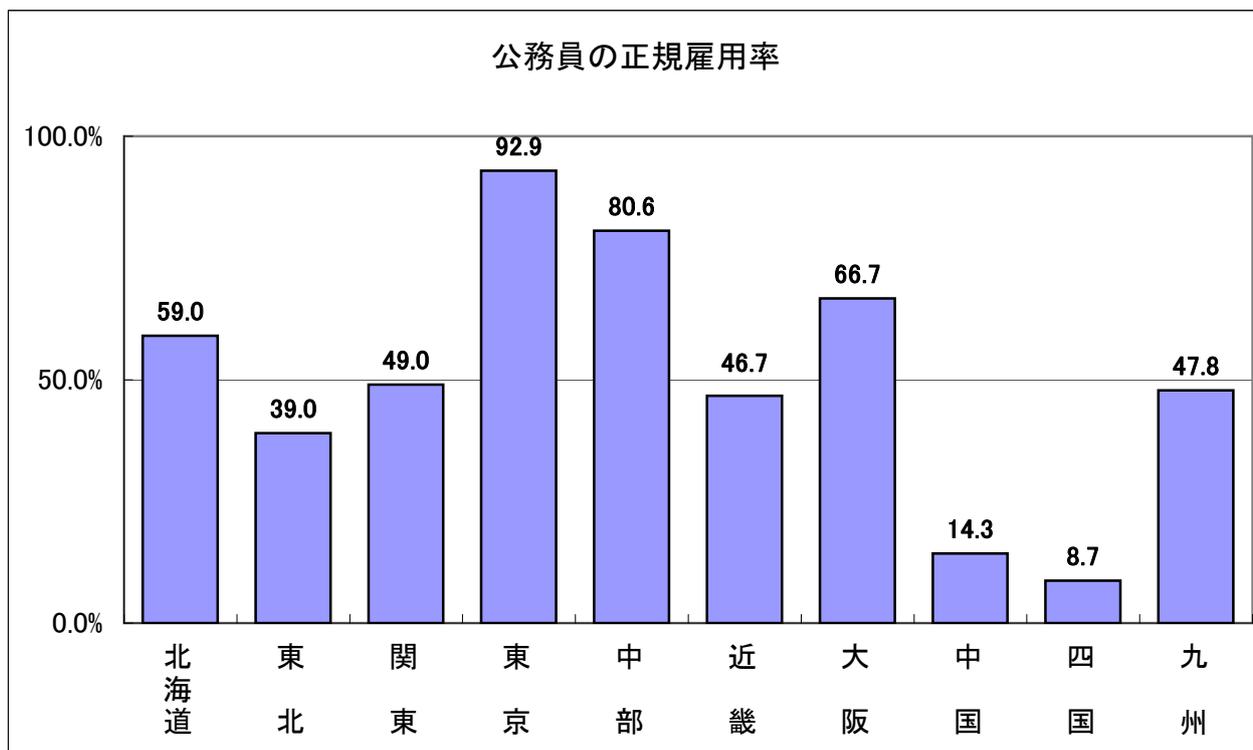
その他の国家資格を必要とする専門職の雇用形態の状況

専 門 職 名	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
小 学 校 教 諭	126	18	108	14.3%
中 学 校 教 諭	26	2	24	7.7%
養 護 教 諭	68	24	44	35.3%
栄 養 教 諭	8	3	5	37.5%
特別支援学校教諭	4	0	4	0.0%
図 書 館 司 書	40	1	39	2.5%
学 芸 員	1	0	1	0.0%
看 護 師	1,310	1,298	12	99.1%
准 看 護 師	7	7	0	100.0%
保 健 師	1	1	0	100.0%
臨 床 検 査 技 師	185	173	12	93.5%
理 学 療 法 士	87	87	0	100.0%
作 業 療 法 士	5	5	0	100.0%
診 療 放 射 線 技 師	39	34	5	87.2%
歯 科 衛 生 士	631	631	0	100.0%
歯 科 技 工 士	43	43	0	100.0%
調 理 師	70	66	4	94.3%
製 菓 衛 生 師	83	79	4	95.2%
美 容 師	42	42	0	100.0%
自 動 車 整 備 士	447	442	5	98.9%
柔 道 整 復 師	15	15	0	100.0%
合 計	3,238	2,971	267	91.8%

## 公務員の地域別雇用形態の状況

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
北海道	39	23	16	59.0%
東北	41	16	25	39.0%
関東	51	25	26	49.0%
東京	28	26	2	92.9%
中部	31	25	6	80.6%
近畿	15	7	8	46.7%
大阪	18	12	6	66.7%
中国	14	2	12	14.3%
四国	23	2	21	8.7%
九州	46	22	24	47.8%
計	306	160	146	52.3%

注) 本公務員は、一般行政職、学校事務職、自衛官、消防士等に就いた者を指します。



## 企業における広報活動開始時期の変更に伴う 短期大学生の就職活動に対する影響(まとめ)

### <設問3>

日本経団連による「倫理憲章」において、企業における広報活動開始時期が10月から12月に後ろ倒しされましたが、短期大学生の就職活動に影響がありましたか。

#### 《全体を通してのまとめ》

- ・アンケート回答の5月現在、東京、大阪などの大都市以外ではあまり影響を感じていないという結果だった。
- ・幼稚園教諭、保育士、介護福祉士、栄養士等の専門職の採用については、どの地域においても影響は感じられないという回答が多かった。
- ・全国的に共通した影響としては、自己分析、企業研究が浅くなる傾向にあると感じている。また、四大生との関係を気にする記載も見られた。
- ・ネガティブな意見がある一方、ポジティブな変化を感じている記載も見られた。

#### 地域別集計結果

地域	集計回答数	影響があった (今後の懸念含む)	特に影響はなかった (回答なし含む)
北海道	9	1(11.1%)	8(88.9)
東北	20	3(15.0%)	17(85.0%)
関東	50	9(18.0%)	41(82.0%)
東京	33	11(33.3%)	22(66.7%)
中部	47	10(21.3%)	37(78.7%)
近畿	34	7(20.6%)	27(79.4%)
大阪	23	6(26.1%)	17(73.9%)
中国	18	2(11.1%)	16(88.9%)
四国	9	3(33.3%)	6(66.7%)
九州	30	4(13.3%)	26(86.7%)
沖縄	2	0(0.0%)	2(100.0%)
合計	275	56(20.4%)	219(79.6%)

## 地域別の特徴

### 〔北海道〕

- ・企業説明会とエントリー・試験が同時になり、企業研究をした上で選択することが出来ない。
- ・企業の採用スケジュールに大きな変化は見られないため、学生への影響は今のところない。

### 〔東北〕

- ・元々スロースターターであるため、活動開始時期の変更の影響はない。
- ・一部に採用選考の開始も遅くなると勘違いした学生がいて、就活取り組みが遅れた事例があった。

### 〔関東・東京〕

- ・短大生にとっては少し早目の活動を促すきっかけとなった。
- ・後ろ倒しになったため、準備が十分に出来ていないまま就職活動を始める学生がいるように思う。
- ・特に就活を通じて社会人基礎力が育まれる短大生にとって、2カ月その期が縮んだ感じがする。
- ・2か月短いことで焦りが良い刺激となって就職活動に積極的に興味を持つようになった。反面、情報や求人が一気に入ったので少し混乱している学生もいる。
- ・説明会が重複するケースがあり、参加できる説明会の数が減少。

### 〔中部〕

- ・大学生の就活が後ろ倒しになったことで、短大生と就職活動が重なり、その分短大生は大学生と同じ土俵で活動することとなり、不利になっている様子が伺える。
- ・短期間にプレエントリーするため情報過多となり就活情報をコントロールできなくなっている。
- ・例年より自己分析及び企業研究の浅い学生、就職活動について焦りを感じている学生が多く見られた。

### 〔近畿・大阪〕

- ・2カ月遅くなった分、就活における疲労度が軽減されたように見受けられる。その反面四大生より就職への意識（動機づけ）がやや遅れたようにも見える。
- ・危機感を持った四大生の受験者数が増加しているとすれば、短大生の就職活動にも少なからず影響していると思われる。

### 〔中国・四国・九州〕

- ・就職意識が四大生に比して低い短大生には短期化は著しく不利。
- ・就職活動は1年次の後半からスタートしているが、求人の絶対数の減少により、就職決定の時期が遅くなる現象が見られる。

## 成果を上げている就職支援の取組み (まとめ)

### <設問4>

貴学の就職支援の取組みにおいて成果をあげているものがあればお聞かせください。

標記項目について、回収調査票275件のうち「就職支援の取組みで成果をあげているもの等」についての回答は件数は、記入あり回答206件(74.9%)、記入なし(特になし記載を含む)69件(25.1%)であった。

地域や専攻によっても就職支援の取り組み方に多少の違いはあるものの、一番多かった意見は例年にも増して「教職員によるきめ細やかな個別対応」であった。多くの短大が少人数制を取り入れ、就職支援においても「担任制」や「キャリアセンター(就職課)による個別指導」を積極的に行っている。次に多かったのは「正課の授業を含めた就職・キャリア講座、ガイダンス、セミナー等の充実・強化」である。特に正課科目として位置づける短大が多くなってきた。従前から行っているガイダンス、セミナー等も内容を精査し、より効果の上がる方法を模索している短大も多い。「ハローワーク、ジョブサポーター活用」をあげている短大が多いことも今年の特徴。さらに学生に一番訴求すると考え「内定した先輩や卒業生を活用」し成果をあげている短大も見られる。一方で補助金終了や事業仕分けの影響か「キャリアカウンセラー配置」や「大学教育・学生支援推進事業」については前年より数字を落とした。また、そのことに付帯してか「メール、就職システムの活用」も若干少なくなった。件数としては少ないものの「インターンシップ」、「就活合宿」を上げている短大もいる。特に就活合宿に関しては四年制大学で流行の兆しがあり、次年度はさらに増加するのではないかと推測される。「その他」として、注目すべきは「保護者向けのガイダンス、文書の発送」があげられる。

今後の就職指導において、2年間という短い学生生活の中で「どう就業意欲を醸成し、いかにして就職決定率を向上させていくか」が課題である。単に件数の多い取組みを真似るだけでなく、各短大の実情に合わせた真の就職指導が望まれる。

## 回答のあった主な内容

※複数回答あり

- ・教職員による個別指導の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・90件
- ・授業、就職講座・ガイダンス・セミナーの充実・強化・・・・60件
- ・ハローワーク・ジョブサポーター活用・・・・・・・・・・・・19件
- ・内定した先輩、卒業生活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・11件
- ・キャリアカウンセラー配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・9件
- ・メール、就職システムの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・9件
- ・企業訪問（施設等訪問含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・・9件
- ・大学・学生支援推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件
- ・企業説明会（学内説明会含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件
- ・インターンシップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・4件
- ・就活合宿・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件
- ・その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・20件

1

平成23年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査

整理番号  
記入しないでください

日本私立短期大学協会  
就職問題委員会  
(提出締切期日 平成24年5月28日)

短大名	記入者氏名	就職関係部署直通		TEL	FAX	
		電話番号(代表)		就職関係部署署名 1 職員のみで構成 2 職員・教員で構成 ※該当する番号を○で囲んでください。		
短大所在都道府県						

\* 記入上の注意をご一読のうえ、貴学の平成23年度卒業生の分野別就職希望者数・決定者数・就職以外の進路者数・卒業者数をご記入ください。 ※本調査対象は、本科第1部(昼間)学科のみで、第2部(夜間)、第3部(昼間2交替制)、専攻科は対象外です。

分野別学科名	1.人文	2.社会	3.教養	4.工業	5.農業	6.保健	7.家政	8.教育	9.芸術	10.その他
当該設置学科名(出身学科名) ※専攻分離している場合でも学科単位(合算して)で記入。 (記入上の注意)の3・4参照										
就職希望者数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

就職決定者数 (a)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
自県内就職者数(内数)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

雇用形態	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	
	企業・団体																				
公務員(行政職)																					
(a) 就職決定者数の内訳 専門職	幼稚園教諭	公立																			
		私立・民間																			
	保育士	公立																			
		私立・民間																			
	栄養士	公立																			
		私立・民間																			
	介護福祉士	公立																			
私立・民間																					
その他の国家資格を有する専門職( )																					
( )																					
( )																					

↑ 記入上の注意の「5」4)を参照

就職以外の進路者数	四年制大学への編入学者																			
	短大専攻科への進学者																			
	専修・各種学校等への入学者																			
	一時的な仕事に就いた者																			
その他(上記以外の者)																				
計 (b)		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

卒業者数 a+b	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

設問1 平成23年度の求人件数の増減傾向について、前年度(22年度)と比較しての変化 及びその内訳となる正規・非正規雇用の状況についてお知らせください。(それぞれ該当するものを○で囲んでください。)

◎企業・団体 ※すべての短期大学にてご回答ください。

- \* 求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )  
その内訳として、
  - ・ 正規雇用求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )
  - ・ 非正規雇用求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )

◎専門職(国家資格を必要とする職業) ※貴学において養成している当該専門職についてのみご回答ください。

- 幼稚園教諭
  - \* 求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )  
その内訳として、
    - ・ 正規雇用求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )
    - ・ 非正規雇用求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )
- 保育士
  - \* 求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )  
その内訳として、
    - ・ 正規雇用求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )
    - ・ 非正規雇用求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )
- 栄養士
  - \* 求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )  
その内訳として、
    - ・ 正規雇用求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )
    - ・ 非正規雇用求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )
- 介護福祉士
  - \* 求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )  
その内訳として、
    - ・ 正規雇用求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )
    - ・ 非正規雇用求人件数 ( 減少 変化なし 増加 )

設問2 平成23年度の就職・採用活動について、前年度(22年度)と比較して顕著な変化のあったものを選択肢の中から選び、その具体的内容をお知らせください。 また、雇用者側の対応に苦慮した事例などありましたらお知らせください。

企業・団体	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
専門職		
幼稚園教諭	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
保育士	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
栄養士	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
介護福祉士	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:

設問3 日本経団連による「倫理憲章」において、企業における広報活動開始時期が10月から12月に後ろ倒しされましたが、短期大学生の就職活動に影響がありましたか。 あればお知らせください。

設問4 貴学の就職支援の取組みにおいて成果をあげているものがあればお知らせください。

\*\*\*ご回答ありがとうございました。 お手数ですが、調査票の1と2を重ねて(留めずに)、来る5月28日 までに郵送にてご返送ください。



⑦ 家政関係	⑧ 教育関係	⑨ 芸術関係	⑩ その他
栄養(学)科	医療保育科	アート・デザイン学科	キャリア開発学科
栄養健康学科	健康(・)スポーツ学科	音楽(学)科	キャリア開発総合学科
家政(学)科	健康スポーツコミュニケーション学科	音楽総合科	キャリア・コミュニケーション学科
家政経済科	現代幼児学科	芸術(学)科	キャリアデザイン学科
環境文化学科	子(こ)ども学科	芸術教養学科	キャリアプランニング科
健康栄養学科	子(こ)ども教育学科	芸術表現学科	キャリア創造学科
健康生活学科	こども保育学科	造形学科	経営総合学科
健康文化学科	初等教育(学)科	造形芸術(学)科	現代総合学科
現代生活学科	児童教育(学)科	造形美術科	コミュニティ子ども学科
食生活学科	児童総合学科	デザインアート学科	コミュニティ生活学科
食物(学)科	総合保育学科	デザイン美術(学)科	コミュニティ総合学科
食物栄養(学)科	体育(学)科	メディア・芸術学科	コミュニティ文化学科
食物科学科	地域こども学科	表現芸術学科	生活デザイン総合学科
製菓学科	地域保育学科	美術(学)科	総合キャリア教育学科
生活(学)科	保育(学)科	美術(・)デザイン(学)科	総合文化学科
調理製菓学科	保育創造学科	美容芸術学科	地域総合科学科
生活科学(学)科	保健体育学科	美容ファッションビジネス学科	地域総合文化学科
生活環境学科	養護教育(学)科	デザイン(学)科	人間総合学科
生活芸術科	幼児教育(学)科		ライフデザイン総合学科
生活創造学科	幼児教育(・)保育(学)科		ライフプランニング総合学科
生活総合学科	幼児・児童教育学科		
生活造形学科	幼児保育学科		
生活デザイン学科	乳幼児保育学科		
生活ナビゲーション学科			
生活福祉(学)科			
生活福祉情報科			
生活文化(学)科			
生活プロデュース学科			
生活未来学科			
総合生活学科			
総合生活デザイン学科			
人間環境学科			
人間健康科			
人間生活学科			
被服学科			
美容生活文化学科			
ファッション総合学科			
ファッションデザイン学科			
ファッション表現学科			
服飾学科			
服飾芸術科			
服飾造形学科			
服飾美術(学)科			
服装学科			
フードデザイン学科			
ヘルスケア栄養学科			
ライフデザイン学科			
くらし環境学科			
住居学科			
服飾デザイン学科			

## 〈調査票1への記入上の注意〉

下記の内容をご確認のうえ、ご記入ください。

1. 各項目・各分野における人数は、平成24年5月1日現在の本科 **第1部(昼間部)** の状況をご記入ください。 **専攻科は対象外です。**
2. 分野別学科名については、同封別紙「分野別学科一覧」表を参照してください。
3. 当該設置学科名については、卒業生の出身学科名をご記入(タテ書きでも結構です。)ください。(学科名称のみで、専攻名は不要。)
4. 各欄に記入する人数は、同一分野で2学科以上を開設している場合、その合計数をご記入ください。  
(例:食物栄養科と生活科学科を開設の場合は、「家政」欄の「当該設置学科名」欄にそれぞれの名称を記入し、以下の欄に合計人数を記入。)  
また、1つの学科に複数の専攻を開設している場合は、当該学科の分野を確認し、すべての専攻の人数を合計してご記入ください。  
(例:生活学科に食物栄養専攻、介護福祉専攻、幼児教育専攻を開設している場合、「家政」欄に学科名称を記入し、以下の欄に3専攻の合計人数を記入。)
5. 各分野別の就職決定者数(a)の内訳として、企業・団体、公務員(行政職)、専門職の別に、正規雇用/非正規雇用の人数をご記入ください。  
注1)「公務員(行政職)」欄には、一般行政職、公立学校事務、消防士、自衛官、警察官等の職に就いた者の人数をご記入ください。  
なお、公立の資格免許職として、幼稚園教諭、保育士、栄養士、介護福祉士の職に就いた場合は、各専門職の公立の欄にご記入ください。  
2) 専門職については、資格を生かして就職した人数をご記入ください。  
専門職の有資格者であっても、資格を生かした職業に就いていない場合は、雇用主の状況に応じて、企業・団体もしくは公務員欄にご記入ください。  
また、例えば、保育士として企業・団体に就職した場合は、専門職・保育士の私立・民間の欄にご記入ください。  
3) 介護福祉士以外の介護・福祉に関する専門職として、介護員や支援員などの名目で、介護施設や福祉施設に就職した場合は、企業・団体の欄に含めて記入してください。  
4) その他の専門職とは、国家資格を必要とする職業《小学校教諭、中学校教諭、養護教諭、栄養教諭、特別支援学校教諭、図書館司書、司書補、看護師、准看護師、臨床検査技師、臨床工学技師、理学療法士、診療放射線技師、歯科衛生士、歯科技工士、美容師、調理師、製菓衛生師、自動車整備師》等を示します。( )内に具体的職名を記して、当該人数をご記入ください。  
5) 短期大学では取得できない国家資格を有する者が貴学に入学し、就職する際、すでに取得していた資格を生かして就職した場合には、雇用主の状況に応じて、企業・団体もしくは公務員欄にご記入ください。
6. 自県内就職者数は、就職決定者(a)のうち、貴短期大学が所在する都道府県内において就職した人数をご記入ください。  
なお、就職地が不明の場合は、採用された雇用主の所在地により判断してください。
7. 非正規雇用は、派遣社員・契約社員・臨時採用等で、雇用期間が一年以上(一年未満であっても、継続により1年以上雇用されることが確実な者を含みます。)であり、かつ勤務形態が正社員に準ずるものの人数をご記入ください。
8. 就職以外の進路者数の中の「一時的な仕事に就いた者」とは、主にアルバイト・パートの臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者をいいます。  
なお、派遣社員・契約社員などでも、契約内容が不明な場合には、この欄にご記入ください。
9. 「その他」は、どの項目にも該当しない者(就職未決定者、進路未決定者を含む)の人数をご記入ください。
10. 卒業者数は、就職決定者数の合計(a)と就職以外の進路者数等の合計(b)を足し合わせた数になります。

### 〈お願い〉

○調査票 **1** の集計に際し、不明な点が確認された場合には、ご記入いただいた方あてにお問合せをさせていただくことがありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。(回答票の控え(コピー)を残していただければ幸いです。)

○お手数をおかけいたしますが、本調査票の **1** と **2** を重ねて(留めずに)、来る5月28日までに郵送にてご返送ください。

(送付先: 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 日本私立短期大学協会「就職問題委員会」係)

## 就職問題委員会委員一覧

日本私立短期大学協会  
(平成24年6月現在)

1	委員長	内田 鎧一	東北文教大学短期大学部 理事長
2	副委員長	高田 茂	千葉敬愛短期大学 キャリアセンター長
3	委員	長堀 一之	北翔大学短期大学部キャリア支援センター担当課長
4	委員	田中 敬一	八戸短期大学 准教授
5	〃	梅山 文秀	群馬医療福祉大学短期大学部 キャリアサポートセンター長
6	〃	菊入 哲夫	聖徳大学短期大学部 キャリア支援室長
7	〃	小倉 定枝	千葉経済大学短期大学部 専任講師
8	〃	杉田 穂子	青山学院女子短期大学 教授
9	〃	石川 昌宏	共立女子短期大学 就職進路課担当課長
10	〃	岩井 絹江	東京家政大学短期大学部 進路支援センター事務部長
11	〃	吉田 和代	文化学園大学短期大学部 就職相談室室長
12	〃	林 真己	目白大学短期大学部 キャリア支援グループマネージャー
13	〃	加藤 博	金城大学短期大学部 法人本部長
14	〃	田中 康司	北陸学院大学短期大学部 副参事
15	〃	奥田 隆	大手前短期大学 キャリアサポート室長
16	〃	渡邊 亮太	山口短期大学 准教授
17	〃	福井 清二	四国大学短期大学部 就職キャリア支援部長
18	〃	澤田 小百合	九州女子短期大学 学生支援課長
19	〃	姫野 隆行	西南女学院大学短期大学部 就職課長

(順不同・敬称略)

